

守山市
人権・同和問題に関する市民意識調査
報告書

令和（ ）年 月

守山市

目 次

I. 調査概要.....	1
1 調査の概要.....	1
2. 回答者の属性.....	2
II. 調査の結果.....	11
1 家庭生活について.....	11
2 さまざまな人権問題について.....	30
3 同和問題（部落差別問題）について.....	47
4 人権侵害の経験について.....	59
5 人権を守るために大切なことについて.....	69
III. 自由回答記述について.....	84
IV. 考察.....	87

付録 調査票

I. 調査概要

1 調査の概要

1.1 調査の目的

本調査は、人権・同和に対する市民意識やこれまでの人権教育・啓発活動に対する成果や課題を把握し、今後の人権教育・啓発活動を検討する基礎資料とすることを目的として行った。

1.2 調査の方法

- (1)調査地域：守山市全域
- (2)調査対象：令和6年4月1日現在、住民基本台帳に登録のある満18歳以上の市民
- (3)標本数：上記対象から無作為に抽出した2,000人
- (4)調査方法：郵送による配布、郵送・インターネット回答の併用、無記名方式
- (5)調査期間：令和6年7月1日（月）～7月20日（月）

1.3 発送・回収状況

市域全域に、18歳以上の住民の約3%である2,000票（男性1,000人、女性1,000人）を発送した。そのうち回答が寄せられたのは423票（郵送:272票、インターネット回答は151票）、回収率は21.2%であった。

1.4 アンケート調査結果集計時の留意事項

- ①設問ごとの有効回答数は「n=〇」と表示しており、回答比率はこれを100%として算出している。
- ②本報告書の数表における比率は百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- ③複数回答の設問については、回答数を母数として算出している。
- ④学区別や職業別に集計結果を考察する場合、構成比が小さくなっている学区や職業に関しては、統計的に誤差が大きくなることを考慮しなければならない。
- ⑤調査は「男女共同参画および人権・同和問題に関する市民意識調査」として実施したが、本報告書は人権・同和問題に関する調査の結果について取りまとめたものである。

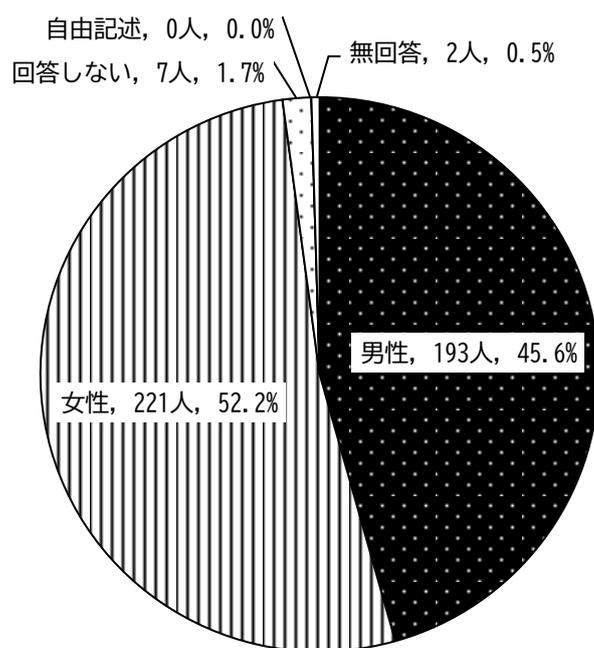
2. 回答者の属性

2.1 性別

回答者の性別は、男性 193人（45.6%）、女性 221人（52.2%）で女性が多くなっている。

表 2.1 性別構成

	回答数	構成比
男性	193人	45.6%
女性	221人	52.2%
回答しない	7人	1.7%
自由記述	0人	0.0%
無回答	2人	0.5%
合計	423人	100.0%



(n=423)

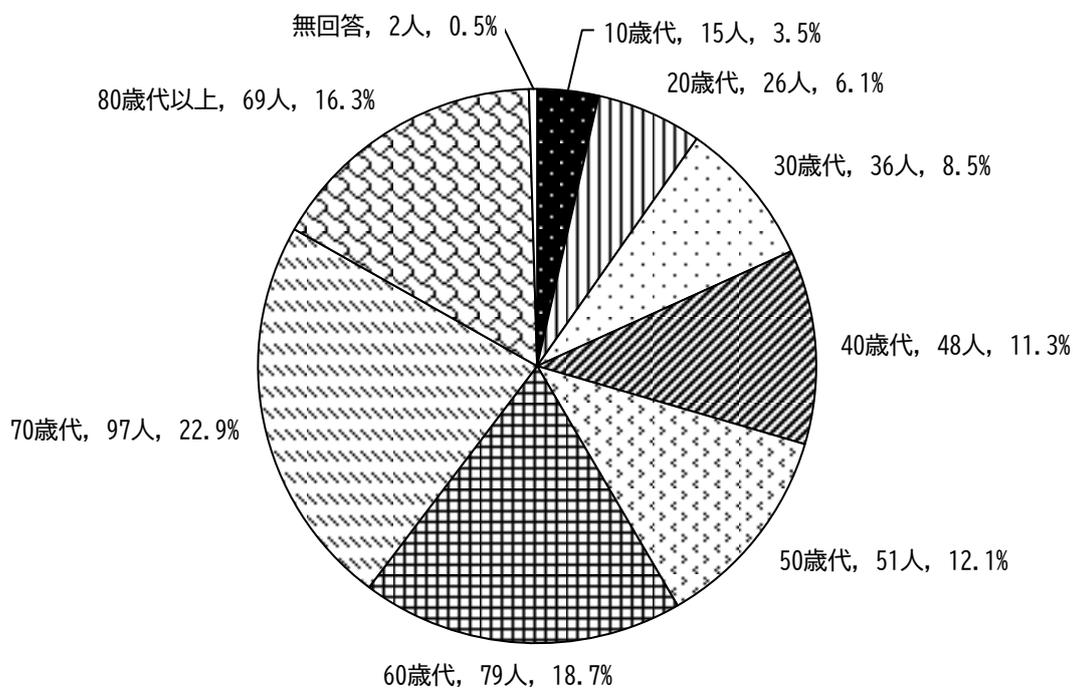
図 2.1 性別構成

2.2 年齢

回答者の年齢は「70歳代」が 22.9%と最も多く、次に「60歳代」が 18.7%、「80歳代以上」が 16.3%、「50歳代」が 12.1%、「40歳代」が 11.3%、「30歳代」が 8.5%となっている。

表 2.2 年齢構成

	回答数	構成比
10歳代	15人	3.5%
20歳代	26人	6.1%
30歳代	36人	8.5%
40歳代	48人	11.3%
50歳代	51人	12.1%
60歳代	79人	18.7%
70歳代	97人	22.9%
80歳代以上	69人	16.3%
無回答	2人	0.5%
合計	423人	100.0%



(n=423)

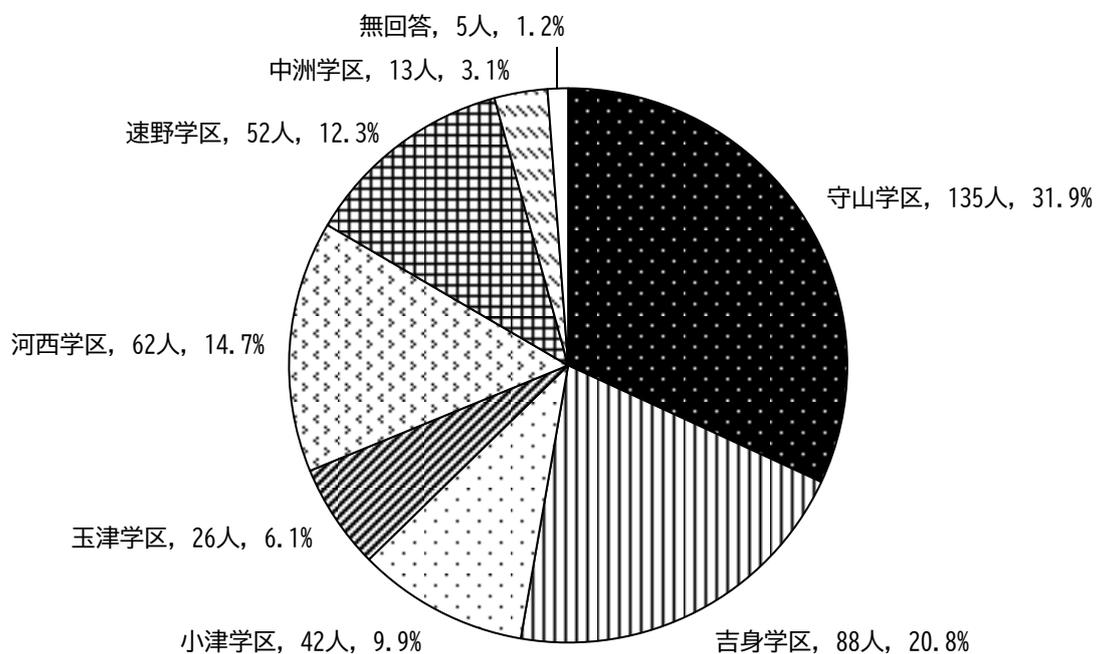
図 2.2 年齢構成

2.3 居住学区

回答者の居住学区は「守山学区」が最も多く 31.9%、次に「吉身学区」が 20.8%、「河西学区」が 14.7%、「速野学区」が 12.3%であった。概ね学区ごとの人口比率に応じた回答数であった。

表 2.3 居住学区構成

	回答数	構成比
守山学区	135人	31.9%
吉身学区	88人	20.8%
小津学区	42人	9.9%
玉津学区	26人	6.1%
河西学区	62人	14.7%
速野学区	52人	12.3%
中洲学区	13人	3.1%
無回答	5人	1.2%
合計	423人	100.0%



(n=423)

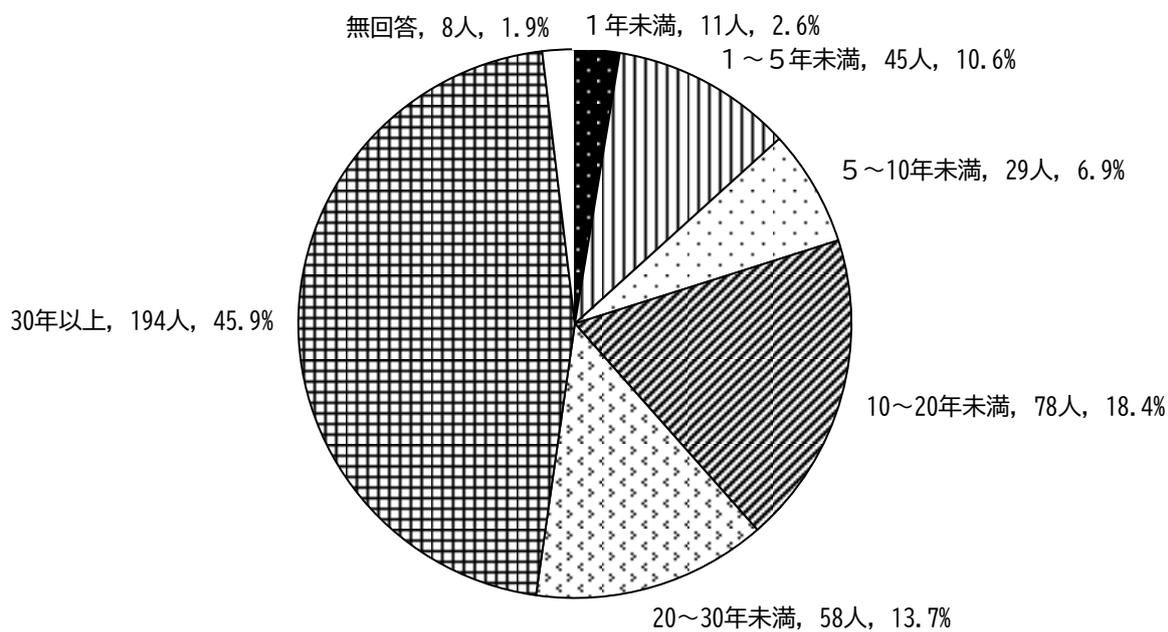
図 2.3 居住学区構成

2.4 居住年数

回答者の居住年数は「30年以上」が最も多く 45.9%、次に「10～20年未満」が 18.4%、「20～30年未満」が 13.7%であった。

表 2.4 居住年数構成

	回答数	構成比
1年未満	11人	2.6%
1～5年未満	45人	10.6%
5～10年未満	29人	6.9%
10～20年未満	78人	18.4%
20～30年未満	58人	13.7%
30年以上	194人	45.9%
無回答	8人	1.9%
合計	423人	100.0%



(n=423)

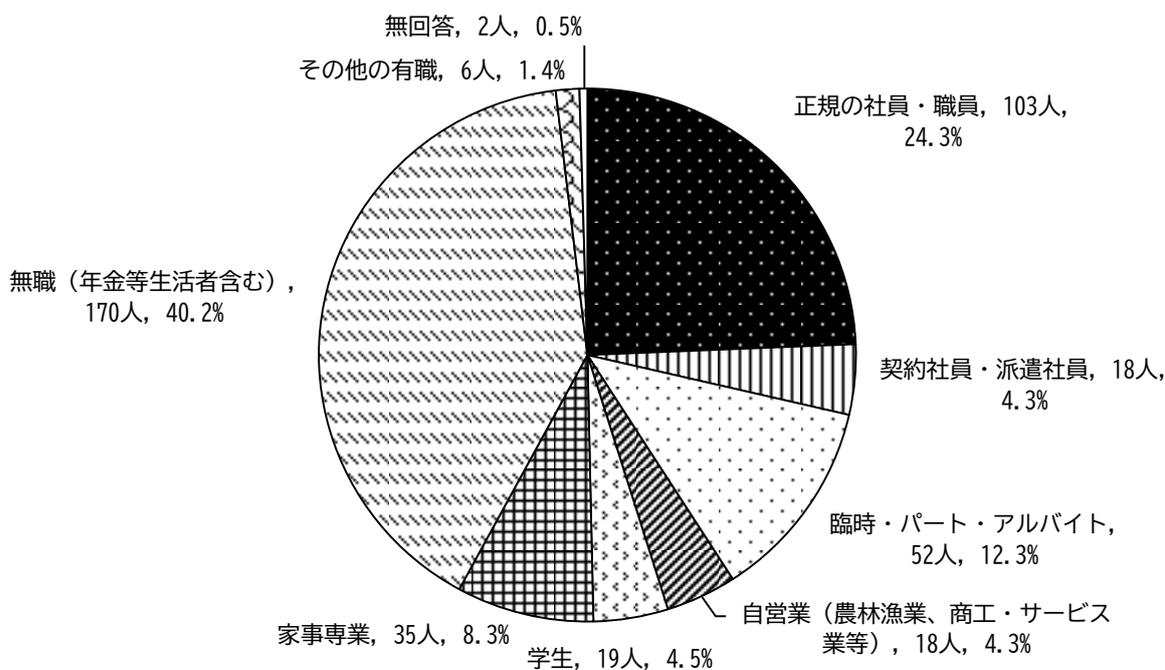
図 2.4 居住年数構成

2.5 職業

回答者の職業は「無職（年金等生活者含む）」が最も多く 40.2%、次に「正規の社員・職員」が 24.3%、「臨時・パート・アルバイト」が 12.3%、「家事専業」が 8.3%であった。「無職」の割合が高いのは、60歳代以上の回答者の割合が 58.4%と半数以上を占めているのが要因の一つと考えられる。

表 2.5 職業構成

	回答数	構成比
正規の社員・職員	103人	24.3%
契約社員・派遣社員	18人	4.3%
臨時・パート・アルバイト	52人	12.3%
自営業（農林漁業、商工・サービス業等）	18人	4.3%
学生	19人	4.5%
家事専業	35人	8.3%
無職（年金等生活者含む）	170人	40.2%
その他の有職	6人	1.4%
無回答	2人	0.5%
合計	423人	100.0%



(n=423)

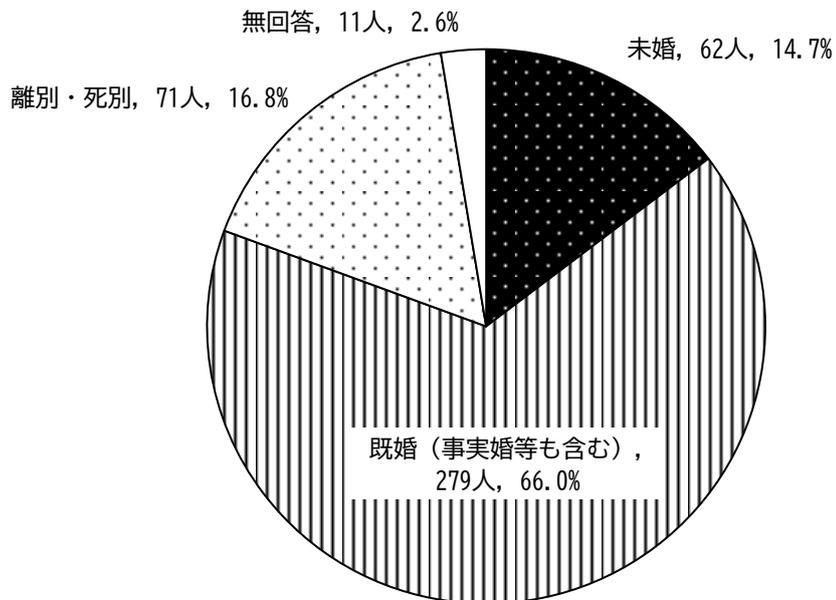
図 2.5 職業構成

2.6 未婚・既婚別

「未婚」は 14.7%、「既婚（事実婚等も含む）」は 66.0%、「離別・死別」は 16.8%であった。

表 2.6 未婚・既婚別構成

	回答数	構成比
未婚	62人	14.7%
既婚（事実婚等も含む）	279人	66.0%
離別・死別	71人	16.8%
無回答	11人	2.6%
合計	423人	100.0%



(n=423)

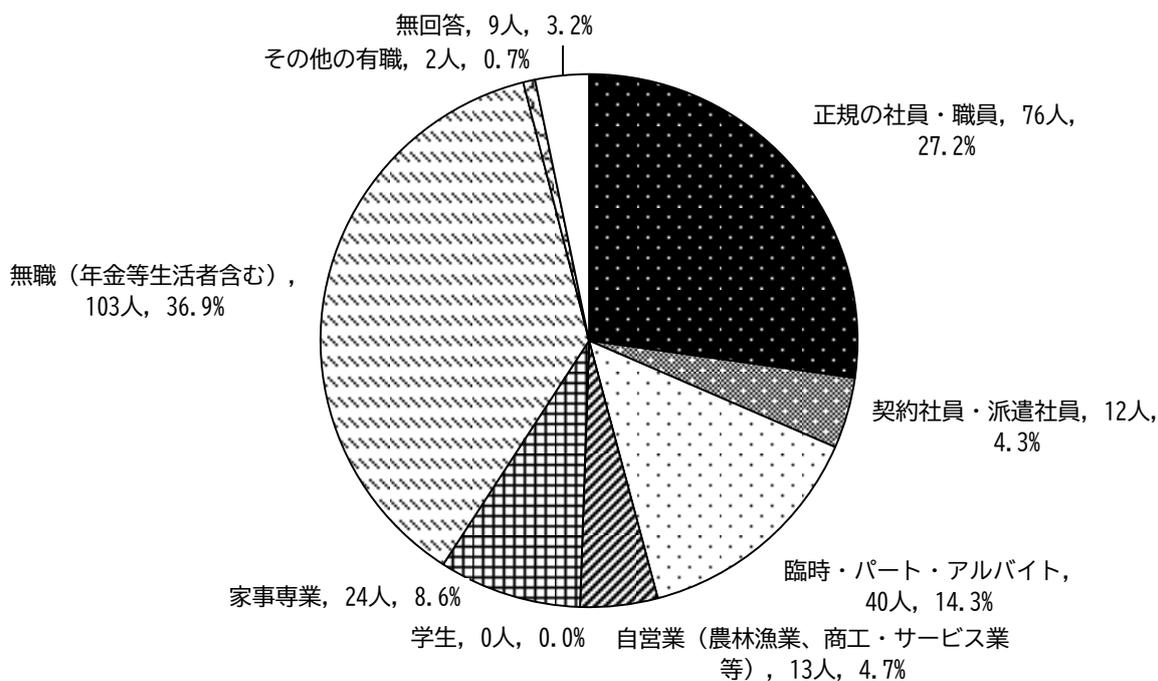
図 2.6 未婚・既婚別構成

2.7 配偶者・パートナーの職業

回答者の配偶者・パートナー（「既婚」と答えた方のみ）の職業は「無職（年金等生活者含む）」が最も多く 36.9%、次に「正規の社員・職員」が 27.2%、「臨時・パート・アルバイト」が 14.3%、「家事専業」が 8.6%であった。

表 2.7 配偶者・パートナーの職業構成

	回答数	構成比
正規の社員・職員	76人	27.2%
契約社員・派遣社員	12人	4.3%
臨時・パート・アルバイト	40人	14.3%
自営業（農林漁業、商工・サービス業等）	13人	4.7%
学生	0人	0.0%
家事専業	24人	8.6%
無職（年金等生活者含む）	103人	36.9%
その他の有職	2人	0.7%
無回答	9人	3.2%
合計	279人	100.0%



(n=279)

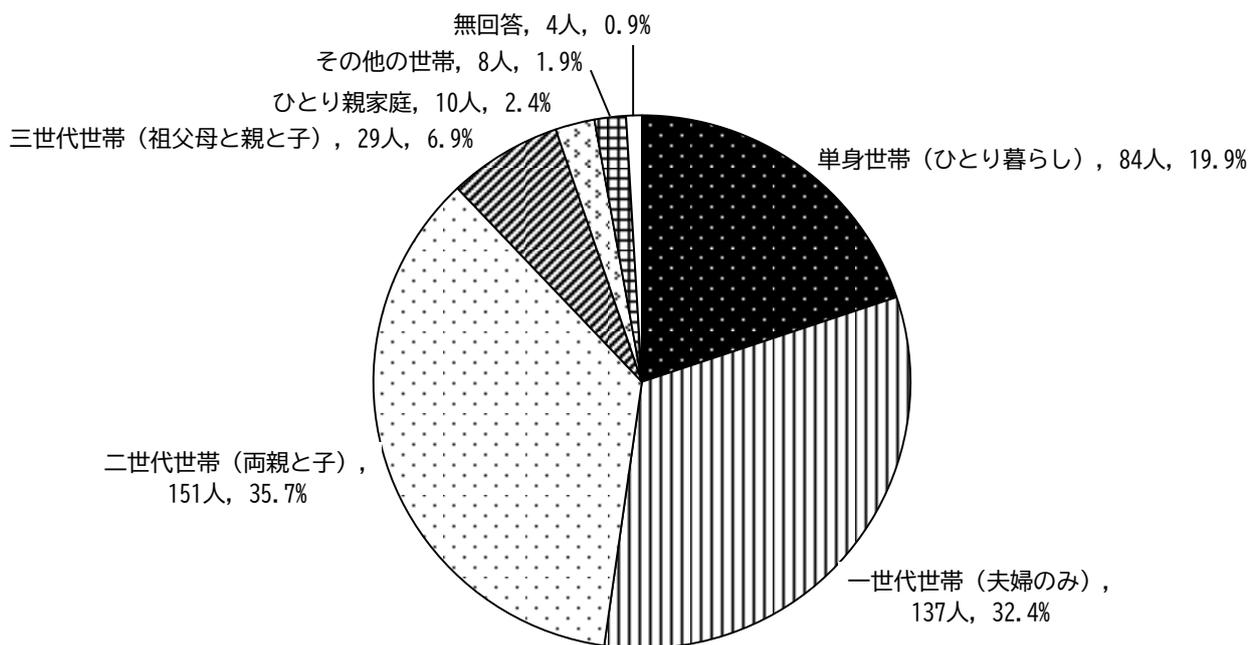
図 2.7 配偶者・パートナーの職業構成

2.8 家族構成

回答者の家族構成は「二世世代世帯（両親と子）」が最も多く 35.7%、次に「一世代世帯（夫婦のみ）」が 32.4%、「単身世帯（ひとり暮らし）」が 19.9%であった。

表 2.8 家族構成

	回答数	構成比
単身世帯（ひとり暮らし）	84人	19.9%
一世代世帯（夫婦のみ）	137人	32.4%
二世世代世帯（両親と子）	151人	35.7%
三世世代世帯（祖父母と親と子）	29人	6.9%
ひとり親家庭	10人	2.4%
その他の世帯	8人	1.9%
無回答	4人	0.9%
合計	423人	100.0%



(n=423)

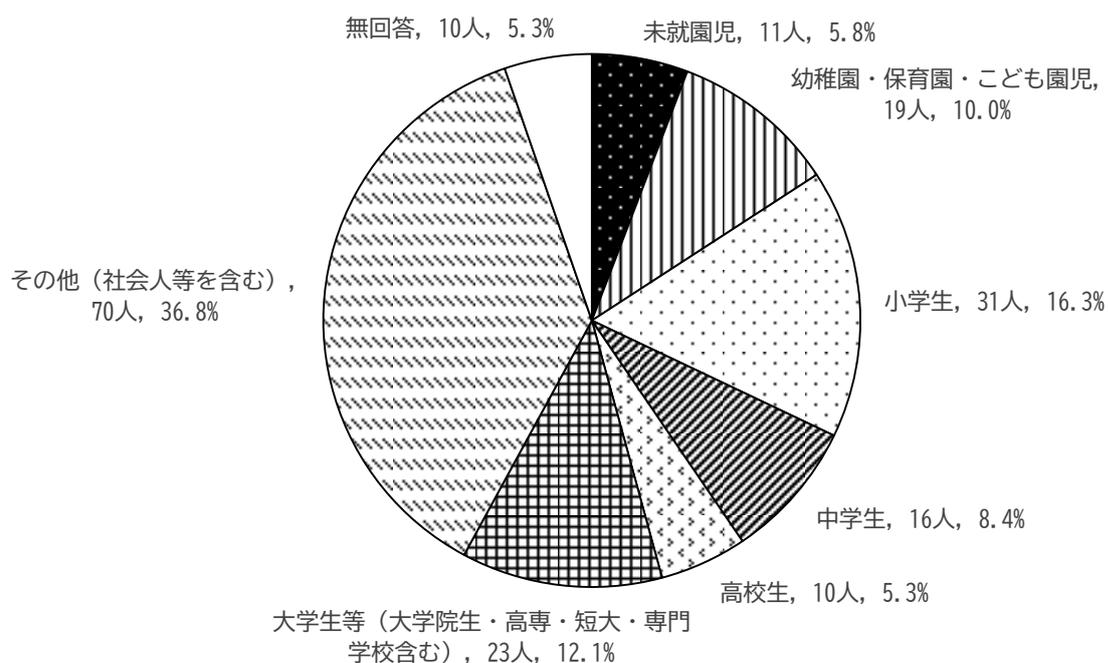
図 2.8 家族構成

2.9 最年少の子ども

回答者の最年少の子ども（「二世帯世帯（両親と子）」、「三世帯世帯（祖父母と親と子）」、「ひとり親家庭」と答えた方のみ）は「その他（社会人等を含む）」が最も多く 36.8%、次に「小学生」が 16.3%、「大学生等（大学院生・高専・短大・専門学校含む）」が 12.1%、「幼稚園・保育園・こども園児」が 10.0%であった。

表 2.9 一番下の子どもの構成

	回答数	構成比
未就園児	11人	5.8%
幼稚園・保育園・こども園児	19人	10.0%
小学生	31人	16.3%
中学生	16人	8.4%
高校生	10人	5.3%
大学生等（大学院生・高専・短大・専門学校含む）	23人	12.1%
その他（社会人等を含む）	70人	36.8%
無回答	10人	5.3%
合計	190人	100.0%



(n=190)

図 2.9 一番下の子どもの構成

II. 調査の結果

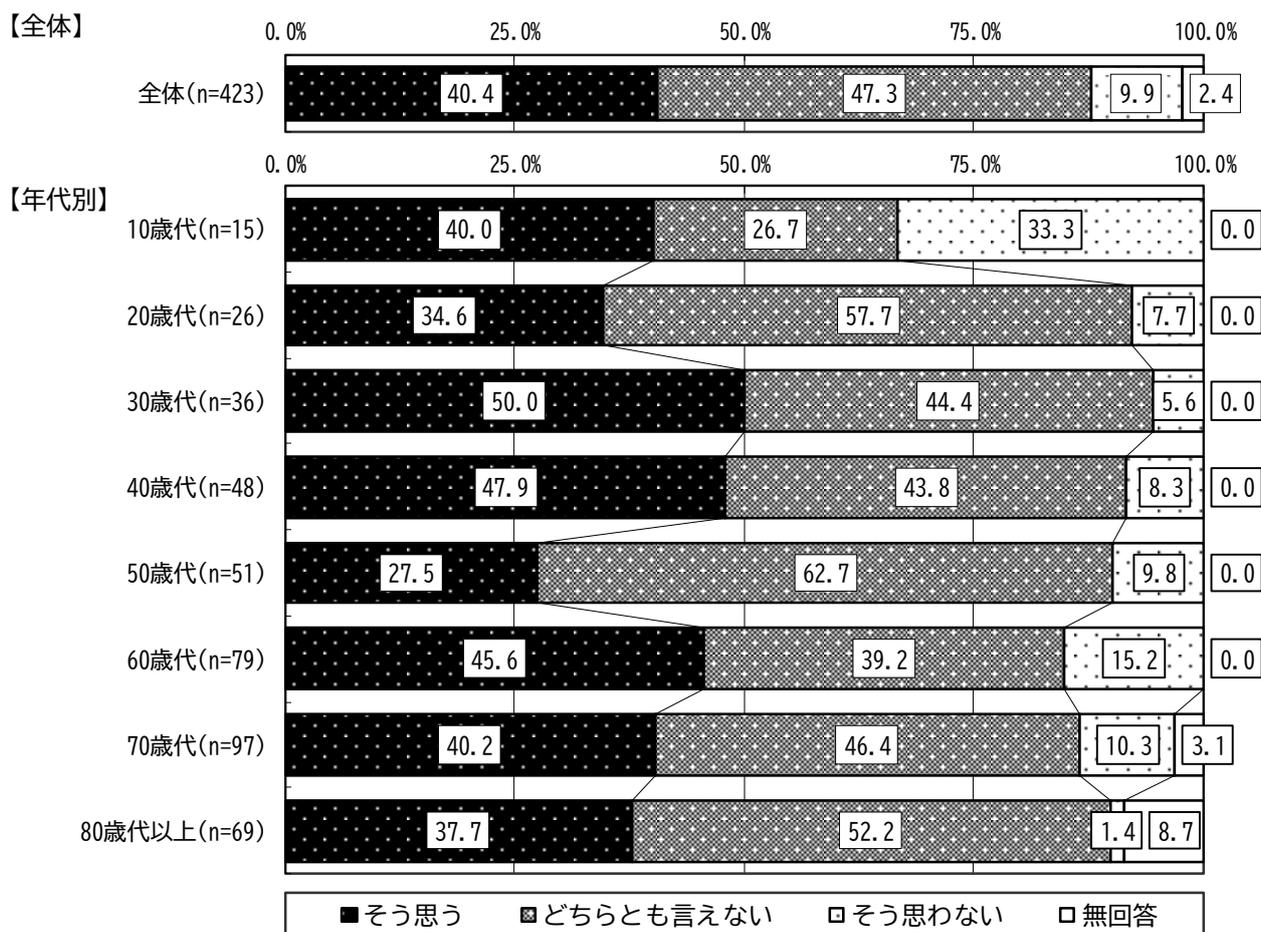
1 家庭生活について

問1 あなたは、人権に関する次のような意見について、どう思いますか。(○はそれぞれ1つ)

① 今の社会では、個人の考え方や生き方が大切にされている

「どちらとも言えない」と答えた割合が47.3%と最も高く、次いで「そう思う」が40.4%、「そう思わない」が9.9%となっている。

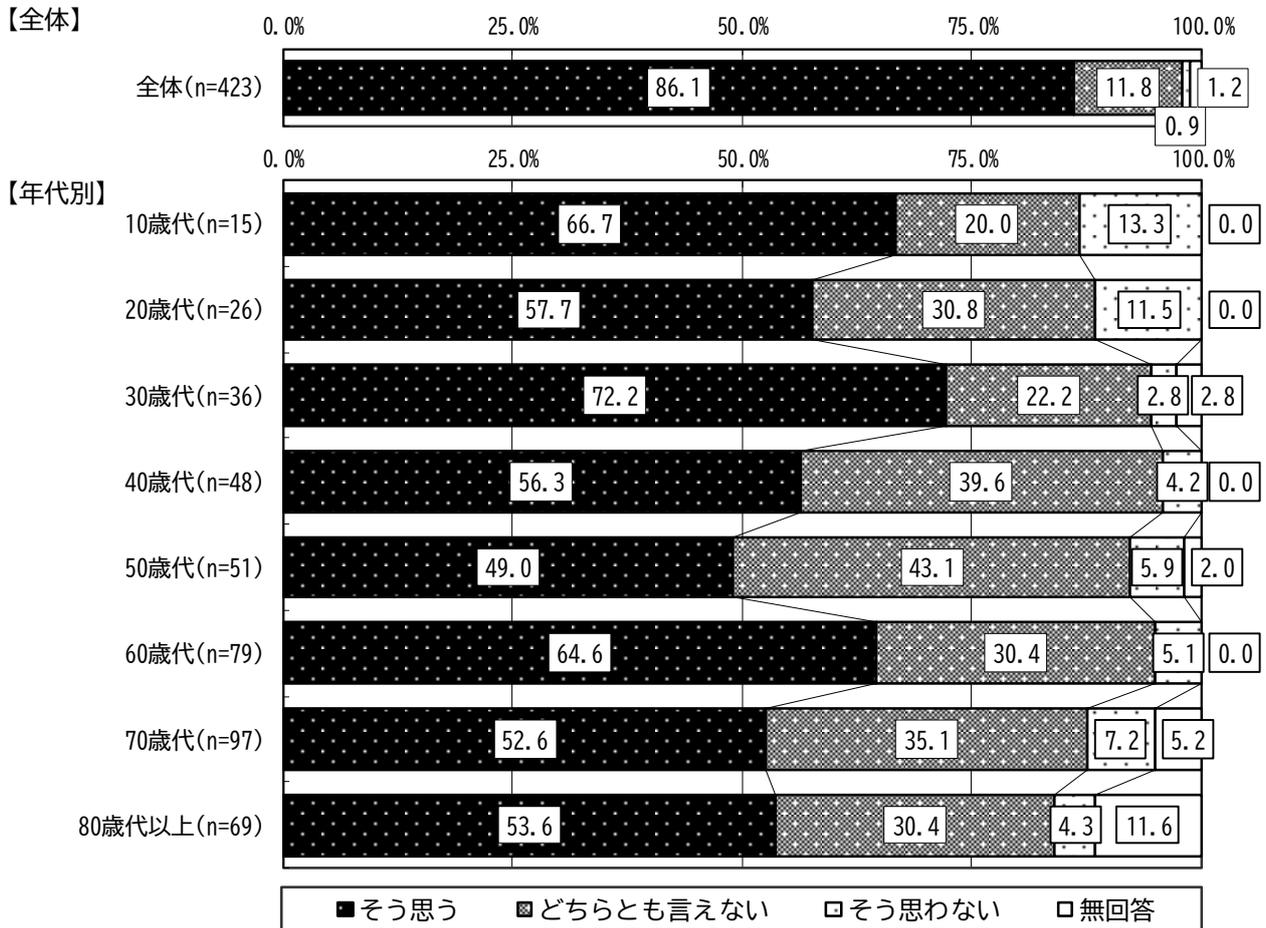
年代別では、10歳代、30歳代、40歳代、60歳代は「そう思う」と答えた割合が高くなっている。



② 人権問題は一部の人の問題ではなく、すべての市民の問題である

「そう思う」と答えた割合が 86.1%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が 11.8%、「そう思わない」が 0.9%となっている。

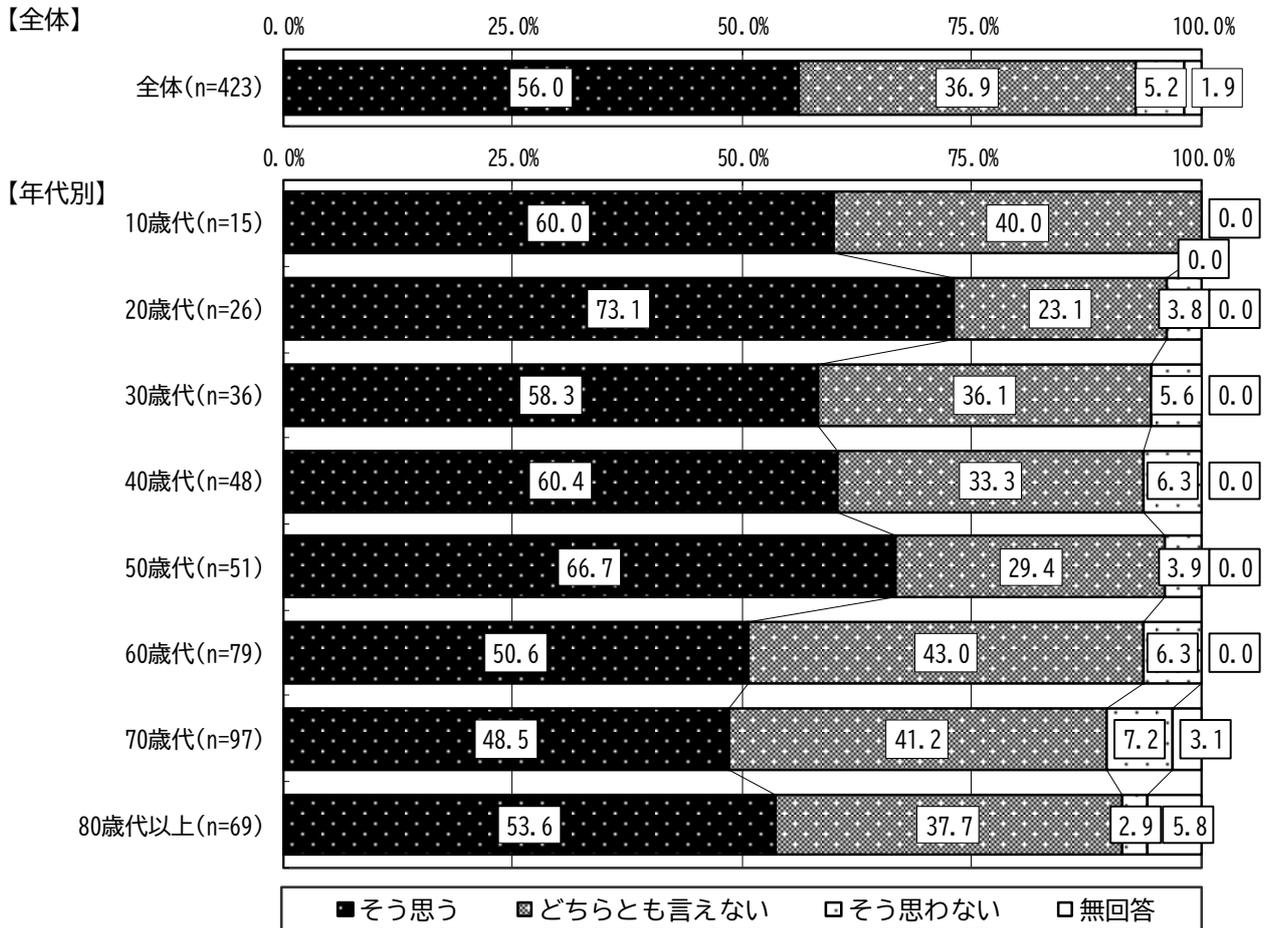
年代別では、「そう思う」と答えた割合は 30 歳代が 72.2%と最も高く、10 歳代が 66.7%、60 歳代が 64.6%と続いている。



③ 自分の権利を主張して、他人の迷惑を考えない人が増えている

「そう思う」と答えた割合が 56.0%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が 36.9%、「そう思わない」が 5.2%となっている。

年代別では、概ね全体と同様の傾向となっており、「そう思う」と答えた割合は 20 歳代が 73.1%と最も高く、50 歳代が 66.7%、40 歳代が 60.4%と続いている。



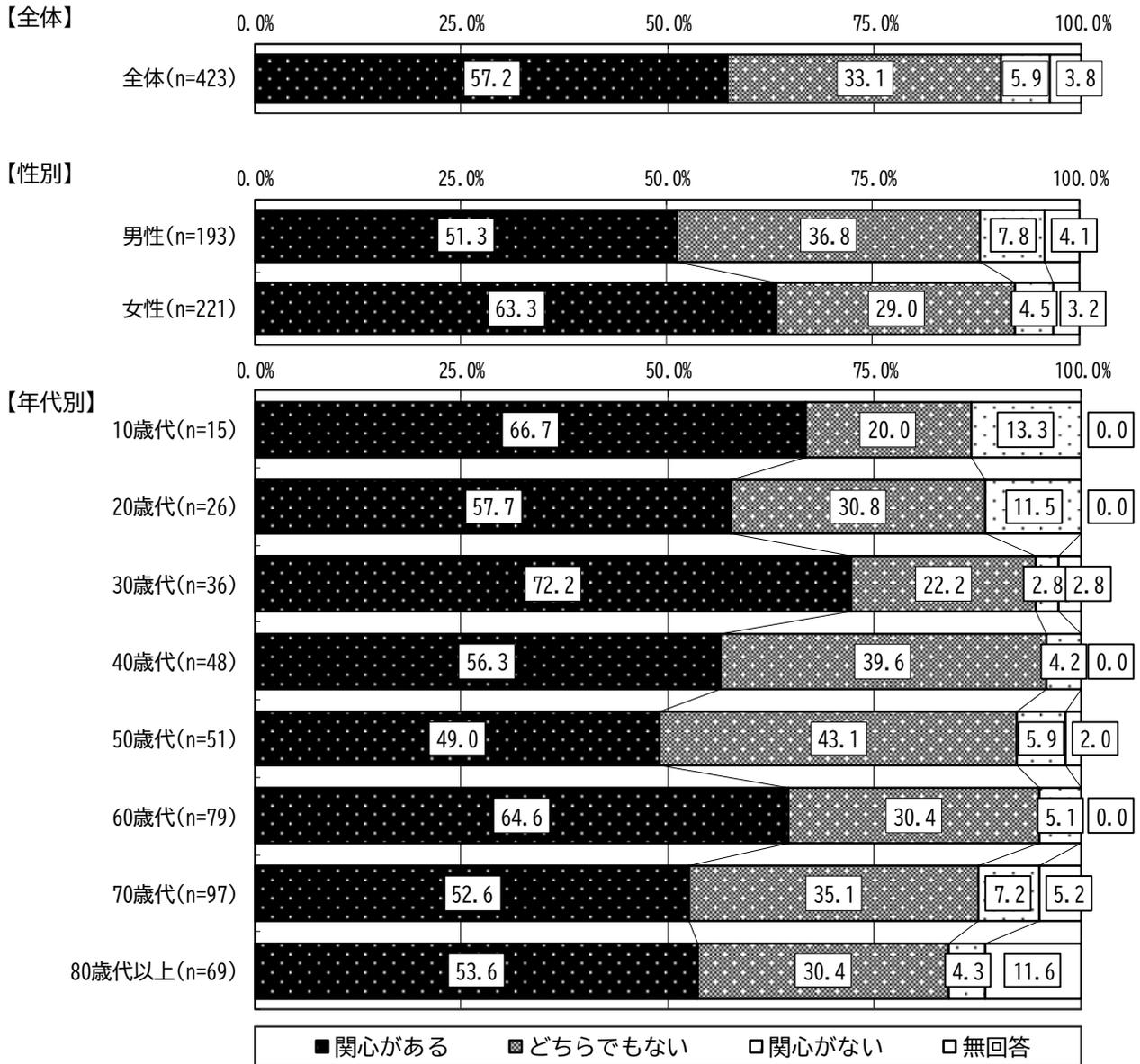
問2 あなたは、人権問題として次の項目に関心がありますか。(○はそれぞれ1つ)

① 女性にかかわる問題^(※1)

「関心がある」と答えた割合が 57.2%と最も高く、次いで「どちらでもない」が 33.1%、「関心がない」が 5.9%となっている。

性別では、女性は男性よりも「関心がある」と答えた割合が高くなっている。

年代別では、「関心がある」と答えた割合は 30 歳代が 72.2%と最も高く、一方で、「関心がない」と答えた割合は 10 歳代が 13.3%と最も高くなっている。



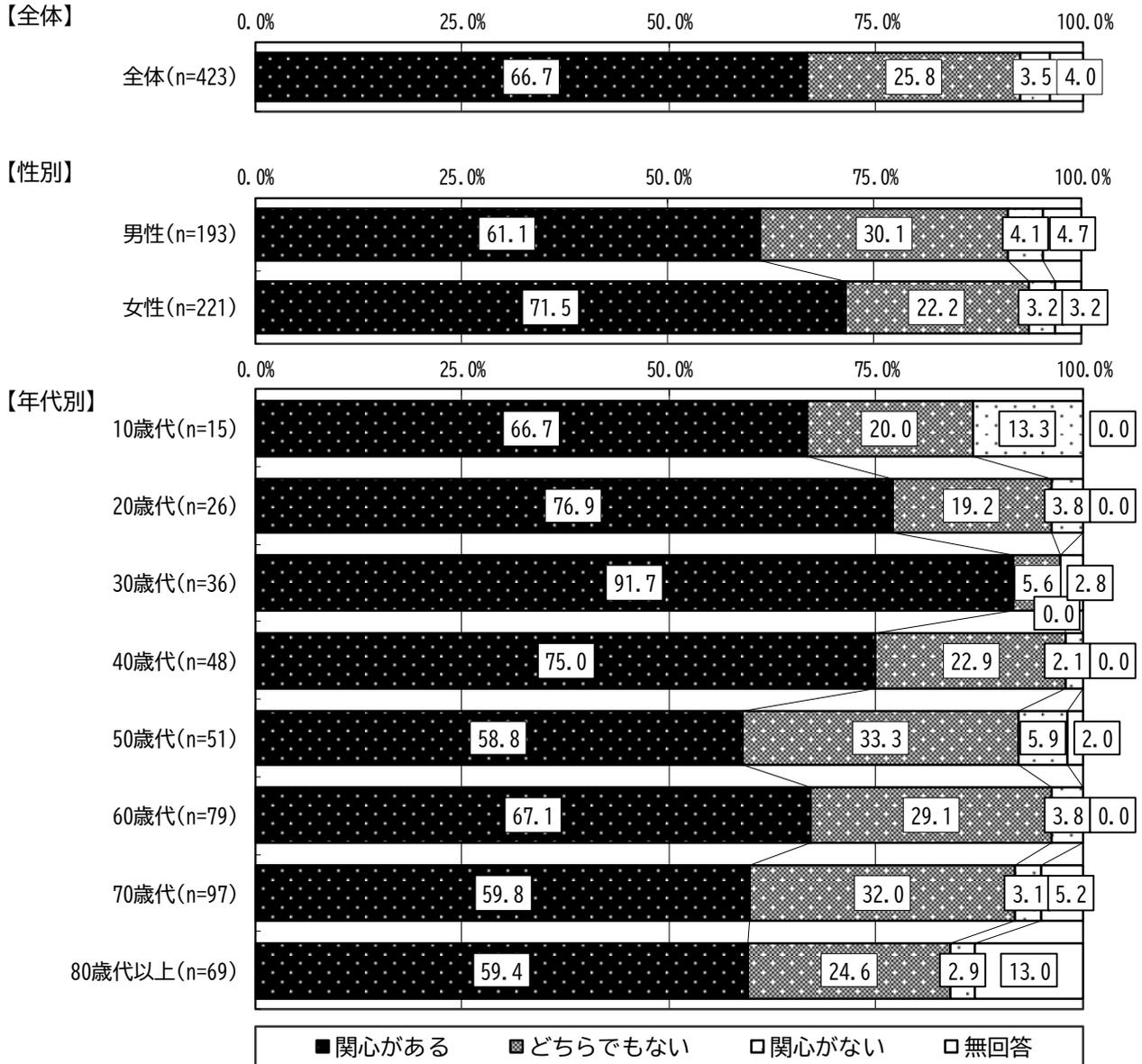
※1 女性にかかわる問題…夫から妻へのドメスティック・バイオレンス(DV)、男性から女性への性的嫌がらせ、賃金格差など女性であることを理由として受ける人権上の不利益のこと。

② 子どもにかかわる問題^(※2)

「関心がある」と答えた割合が 66.7%と最も高く、次いで「どちらでもない」が 25.8%、「関心がない」が 3.5%となっている。

性別では、女性は男性よりも「関心がある」と答えた割合が高くなっている。

年代別では、「関心がある」と答えた割合は 30 歳代が 91.7%と最も高く、一方で、「関心がない」と答えた割合は 10 歳代が 13.3%と最も高くなっている。



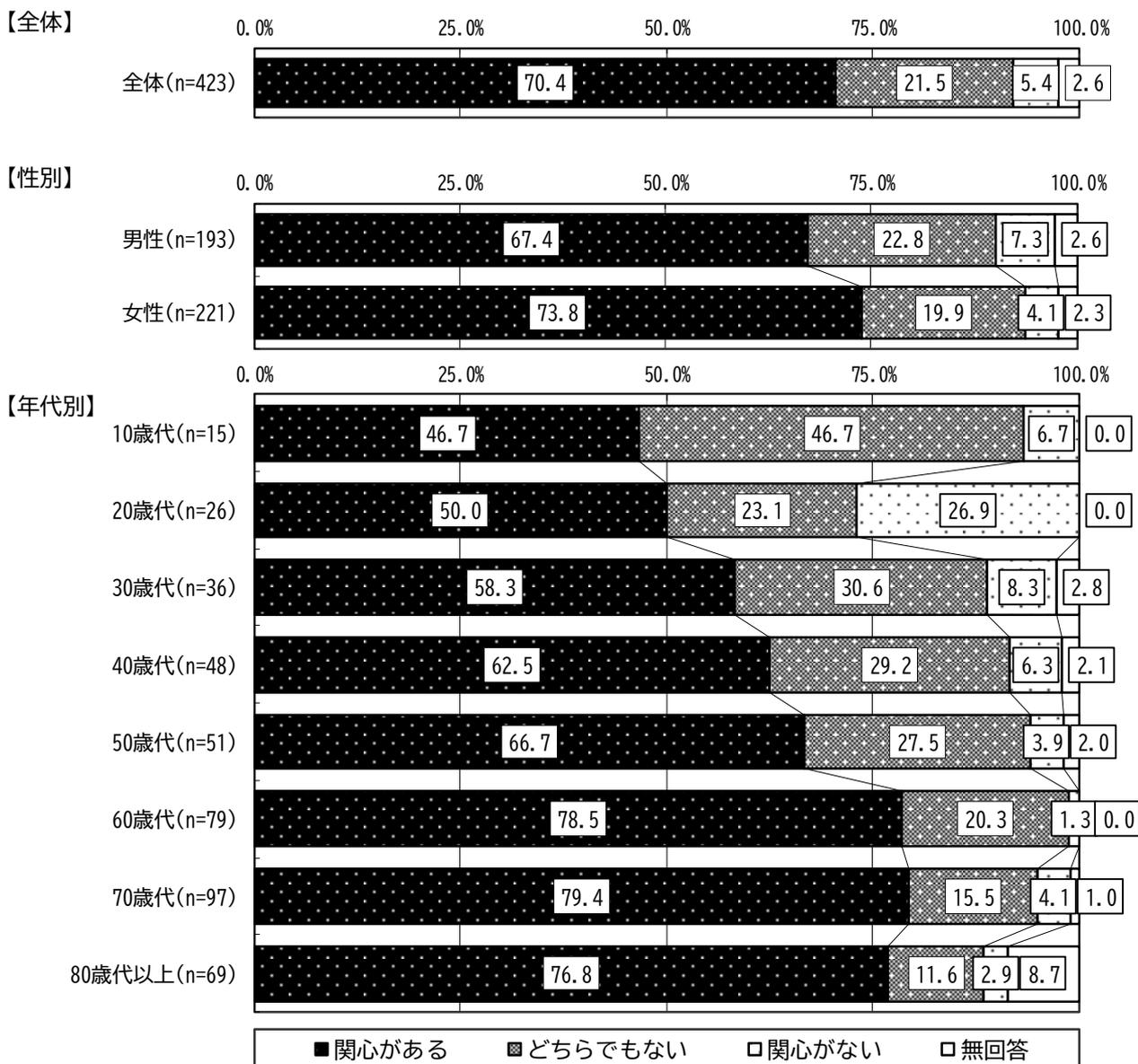
※2 子どもにかかわる問題…いじめ、体罰、児童虐待、児童ポルノの横行などのこと。この調査の「子ども」とは 18 歳未満の者全てを指す。

③ 高齢者にかかわる問題^(※3)

「関心がある」と答えた割合が 70.4%と最も高く、次いで「どちらでもない」が 21.5%、「関心がない」が 5.4%となっている。

性別では、女性は男性よりも「関心がある」と答えた割合が高くなっている。

年代別では、「関心がある」と答えた割合は 70 歳代が 79.4%と最も高く、一方で、「関心がない」と答えた割合は 20 歳代が 26.9%と最も高くなっている。



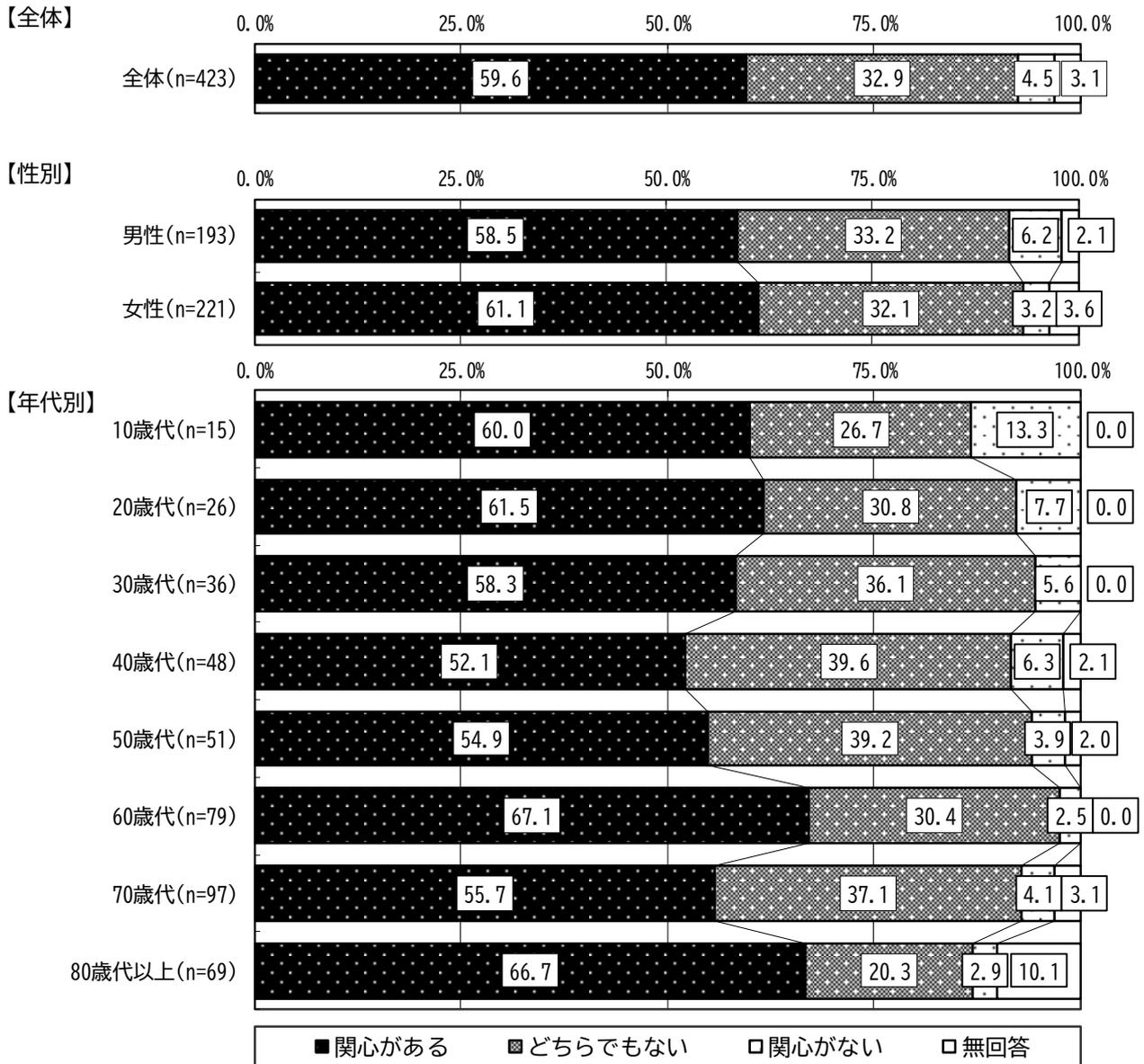
※3 高齢者にかかわる問題…高齢者虐待、介護放棄、高齢者を狙った悪徳商法などのこと。

④ 障害者にかかわる問題※4

「関心がある」と答えた割合が 59.6%と最も高く、次いで「どちらでもない」が 32.9%、「関心がない」が 4.5%となっている。

性別では、女性は男性よりも「関心がある」と答えた割合が高くなっている。

年代別では、「関心がある」と答えた割合は 60 歳代が 67.1%と最も高く、一方で、「関心がない」と答えた割合は 10 歳代が 13.3%と最も高くなっている。



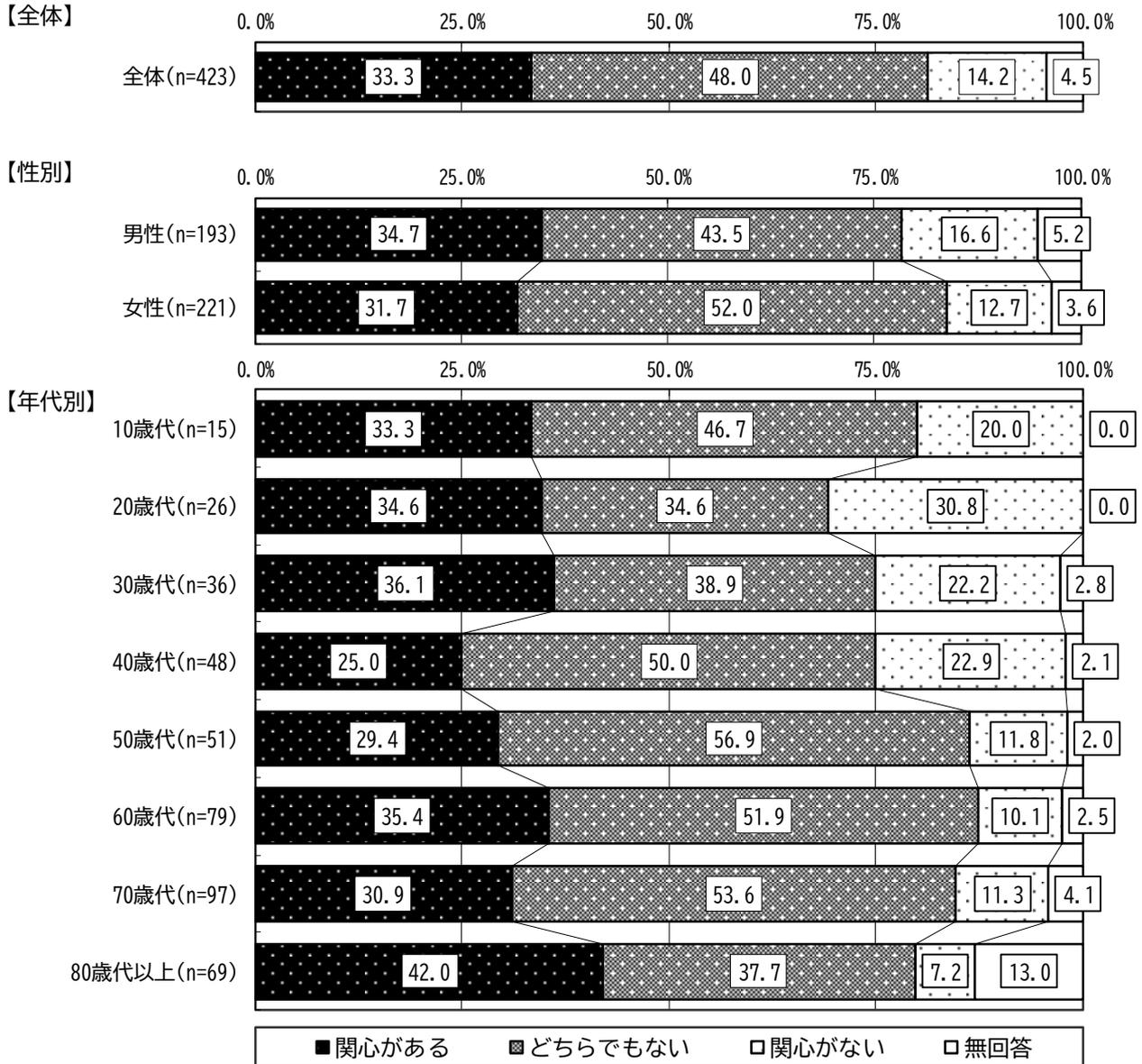
※4 障害者にかかわる問題…虐待、誤った偏見、物理的な障壁のみならず障害のある人の社会参加を制約しうる制度・慣行・観念その他一切のこと。

⑤ 同和問題（部落差別問題）（※5）

「どちらでもない」と答えた割合が 48.0%と最も高く、次いで「関心がある」が 33.3%、「関心がない」が 14.2%となっている。

性別では、男女とも同様の傾向となっている。

年代別では、「関心がある」と答えた割合は 80 歳代以上が 42.0%と最も高く、一方で、「関心がない」と答えた割合は 40 歳代以下で 2 割を超えており、20 歳代が 30.8%と最も高くなっている。



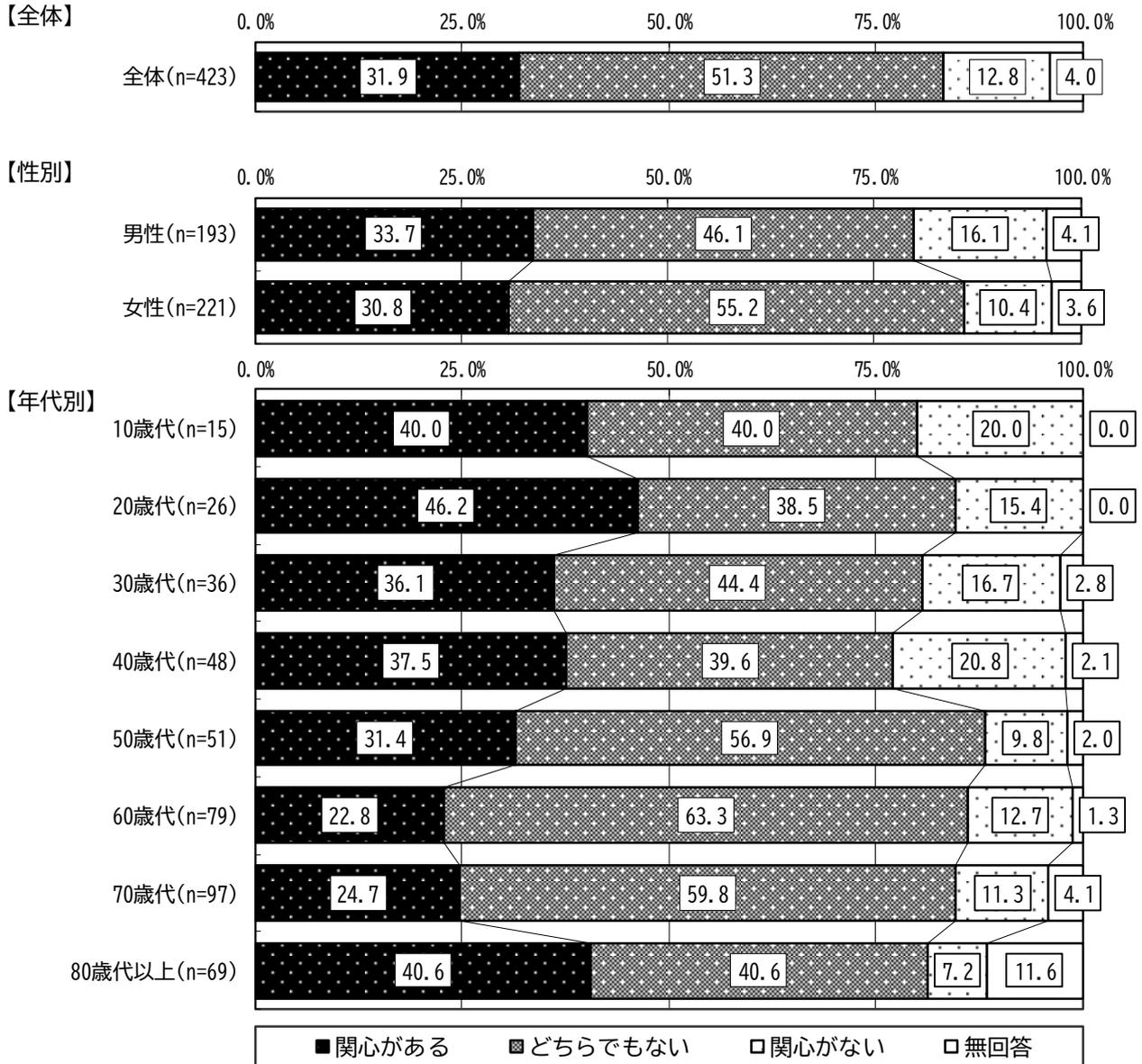
※5 同和問題（部落差別問題）…インターネット上での差別的な書き込み、戸籍不正取得、身元調査など。

⑥ 外国人、外国籍市民にかかわる問題^(※6)

「どちらでもない」と答えた割合が 51.3%と最も多く、次いで「関心がある」が 31.9%、「関心がない」が 12.8%となっている。

性別では、男性は女性よりも「関心がある」と答えた割合が僅かに高い。

年代別では、「関心がある」と答えた割合は 20 歳代が 46.2%と最も高く、一方で、「関心がない」と答えた割合は 40 歳代が 20.8%と最も高くなっている。



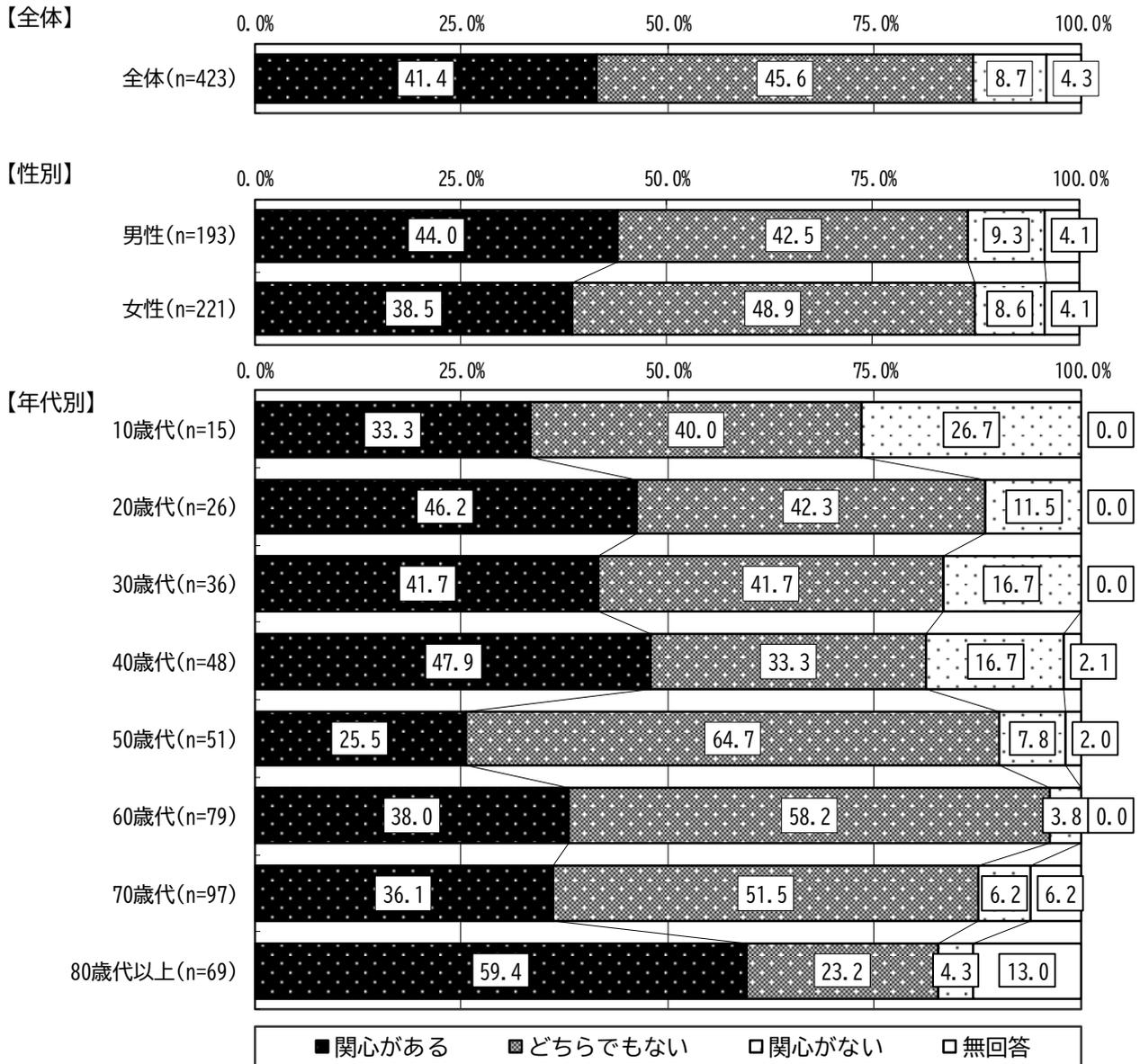
※6 外国人、外国籍市民にかかわる問題…賃金格差、アパートなどへの入居拒否、誤った偏見など。

⑦ 感染症患者にかかわる問題 (※7)

「どちらでもない」と答えた割合が 45.6%と最も高く、次いで「関心がある」が 41.4%、「関心がない」が 8.7%となっている。

性別では、男性は女性よりも「関心がある」と答えた割合が僅かに高い。

年代別では、「関心がある」と答えた割合は 80 歳代以上が 59.4%と最も高く、一方で、「関心がない」と答えた割合は 10 歳代が 26.7%と最も高くなっている。



※7 感染症患者にかかわる問題…診察拒否、採用拒否、誤った偏見など。

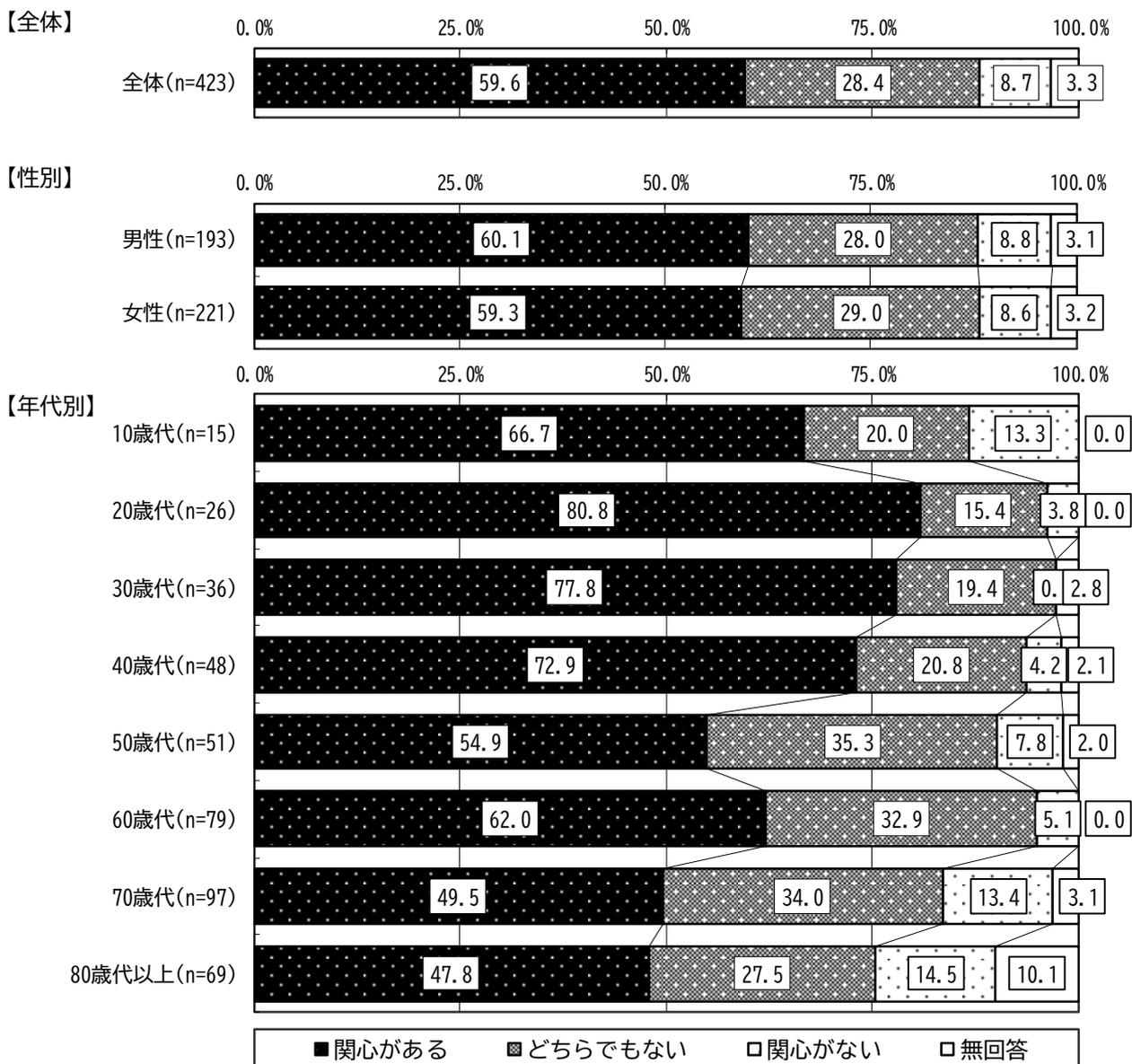
⑧ インターネットによる人権侵害にかかわる問題 ^(※8)

「関心がある」と答えた割合が 59.6%と最も高く、次いで「どちらでもない」が 28.4%、「関心がない」が 8.7%となっている。

性別では、男性は女性よりも「関心がある」と答えた割合が僅かに高い。

年代別では、「関心がある」と答えた割合は 20 歳代が 80.8%と最も高く、一方で、「関心がない」と答えた割合は 80 歳代以上が 14.5%と最も高くなっている。

概ね年代が上がるにつれて、関心度が低くなっている。



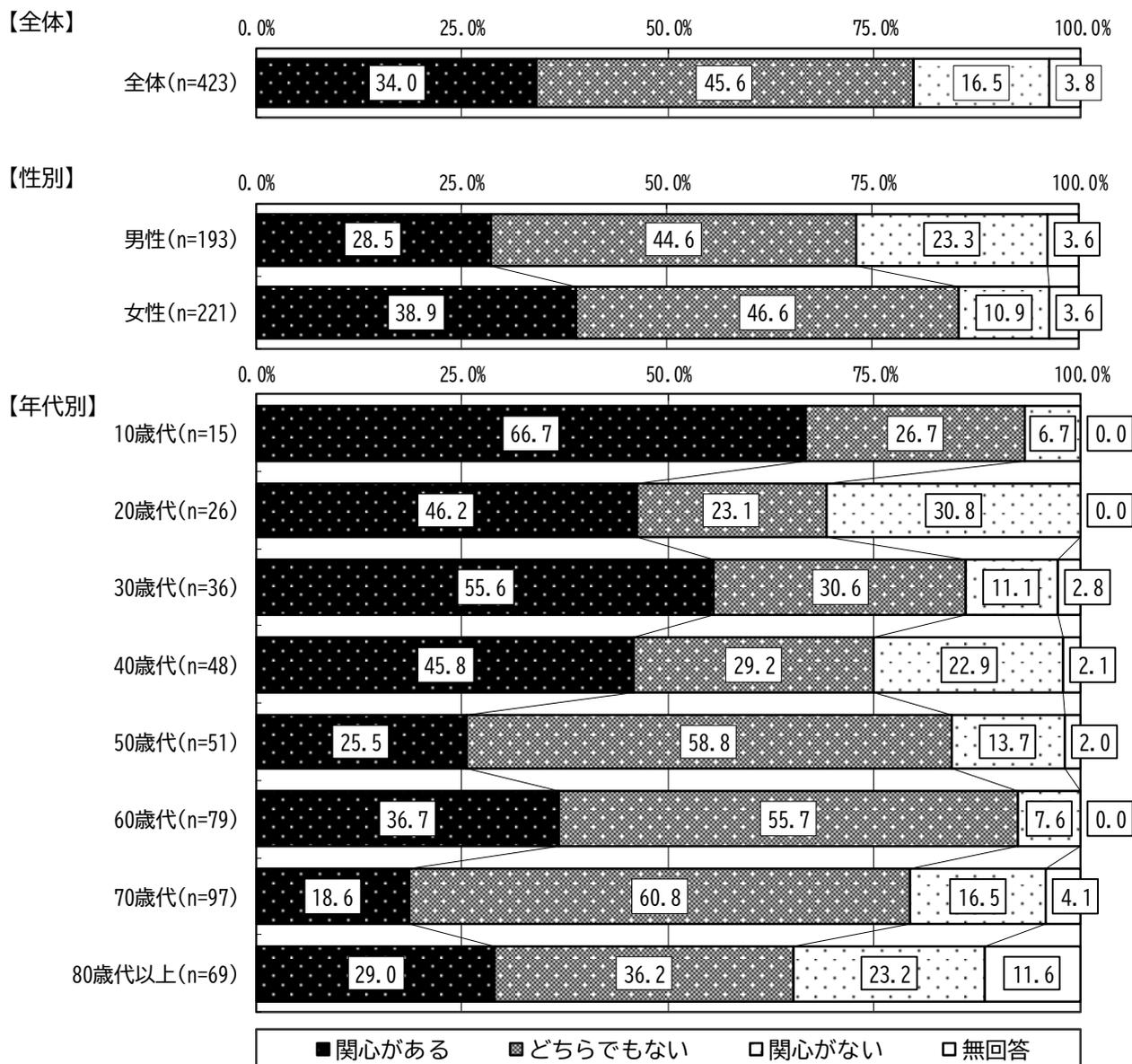
※8 インターネットによる人権侵害にかかわる問題…他人への誹謗中傷、差別的な書き込み、個人のプライバシーの侵害など。

⑨ LGBTQ（性的マイノリティ）にかかわる問題（※9）

「どちらでもない」と答えた割合が 45.6%と最も高く、次いで「関心がある」が 34.0%、「関心がない」が 16.5%となっている。

性別では、女性は男性よりも「関心がある」と答えた割合が高くなっている。

年代別では、若い世代ほど「関心がある」と答えた割合が高く、特に 40 歳代以下では 4 割を超えており、10 歳代が 66.7%と最も高くなっている。



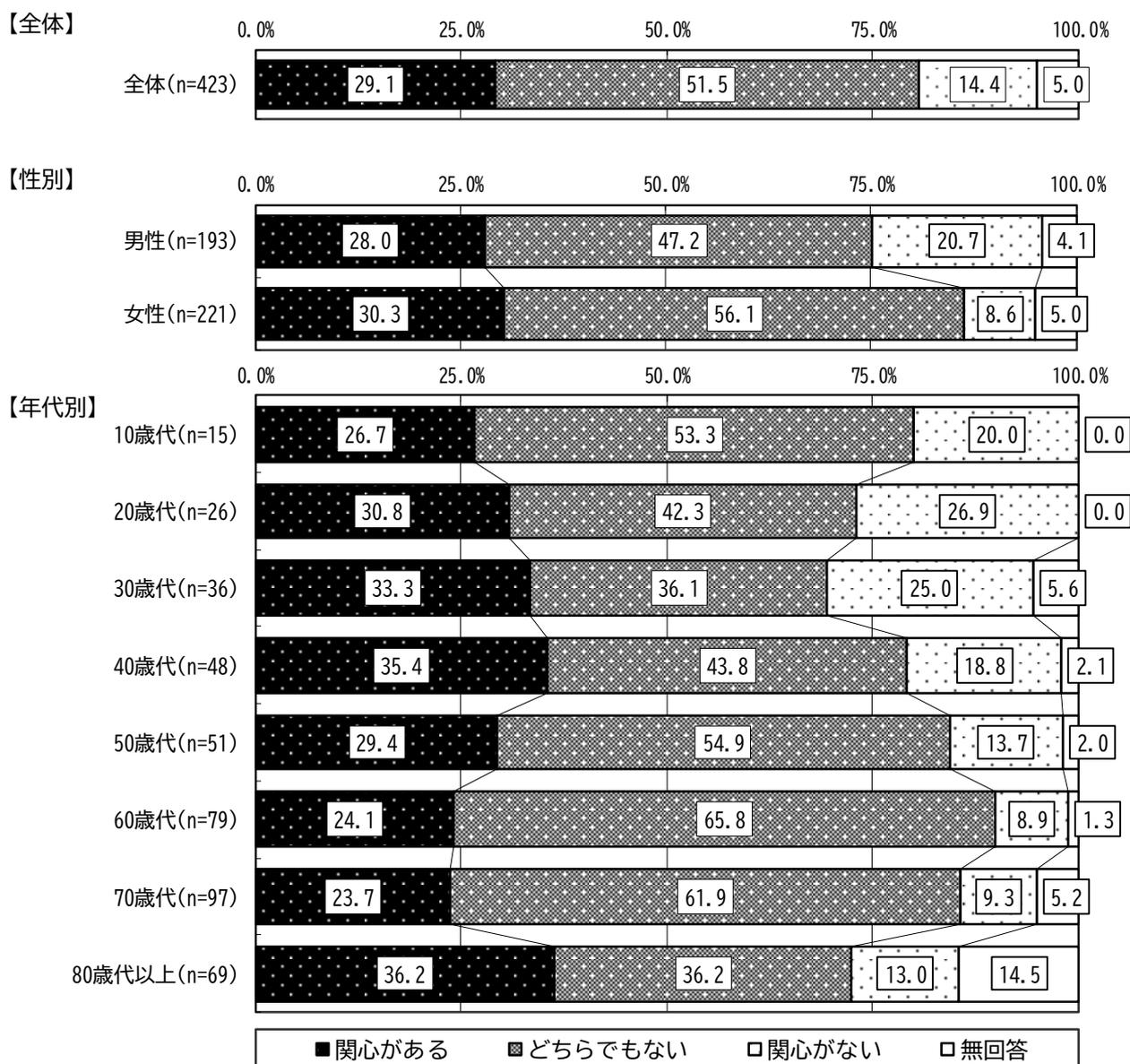
※9 LGBTQ（性的マイノリティ）にかかわる問題…レズビアン（女性の同性愛者）、ゲイ（男性の同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー（生まれたときの法的・社会的性別とは違う性別で生きる人、生きたいと思う人）、クエスチョニング（自分の性別や性的指向を探している状態の人）のこと。それぞれの頭文字をとって LGBTQ という。

⑩ 刑を終えた出所者等にかかわる問題 ※10

「どちらでもない」と答えた割合が 51.5%と最も高く、次いで「関心がある」が 29.1%、「関心がない」が 14.4%となっている。

性別では、女性は男性よりも「関心がある」と答えた割合が僅かに高い。

年代別では、「関心がある」と答えた割合は 80 歳代が 36.2%と最も高く、一方で、「関心がない」と答えた割合は 20 歳代が 26.9%と最も高くなっている。



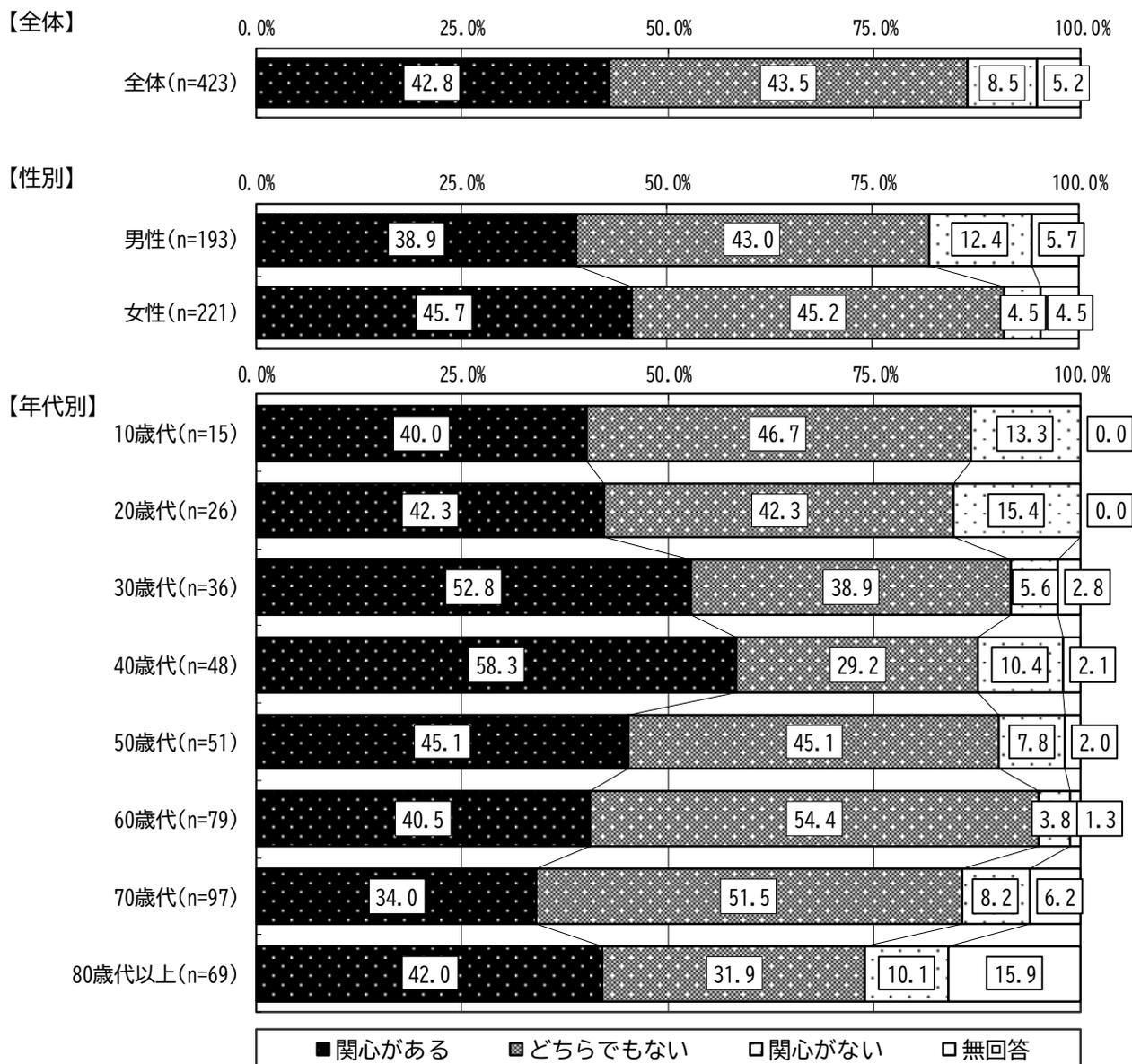
※10 刑を終えた出所者等にかかわる問題…地域社会からの拒否的な感情による社会復帰が厳しい状況にあること。

⑪ 犯罪被害者等にかかわる問題 (※11)

「どちらでもない」と答えた割合が 43.5%と最も高く、次いで「関心がある」が 42.8%、「関心がない」が 8.5%となっている。

性別では、女性は男性よりも「関心がある」と答えた割合が高くなっている。

年代別では、「関心がある」と答えた割合は 40 歳代が 58.3%と最も高く、一方で、「関心がない」と答えた割合は 20 歳代が 15.4%と最も高くなっている。



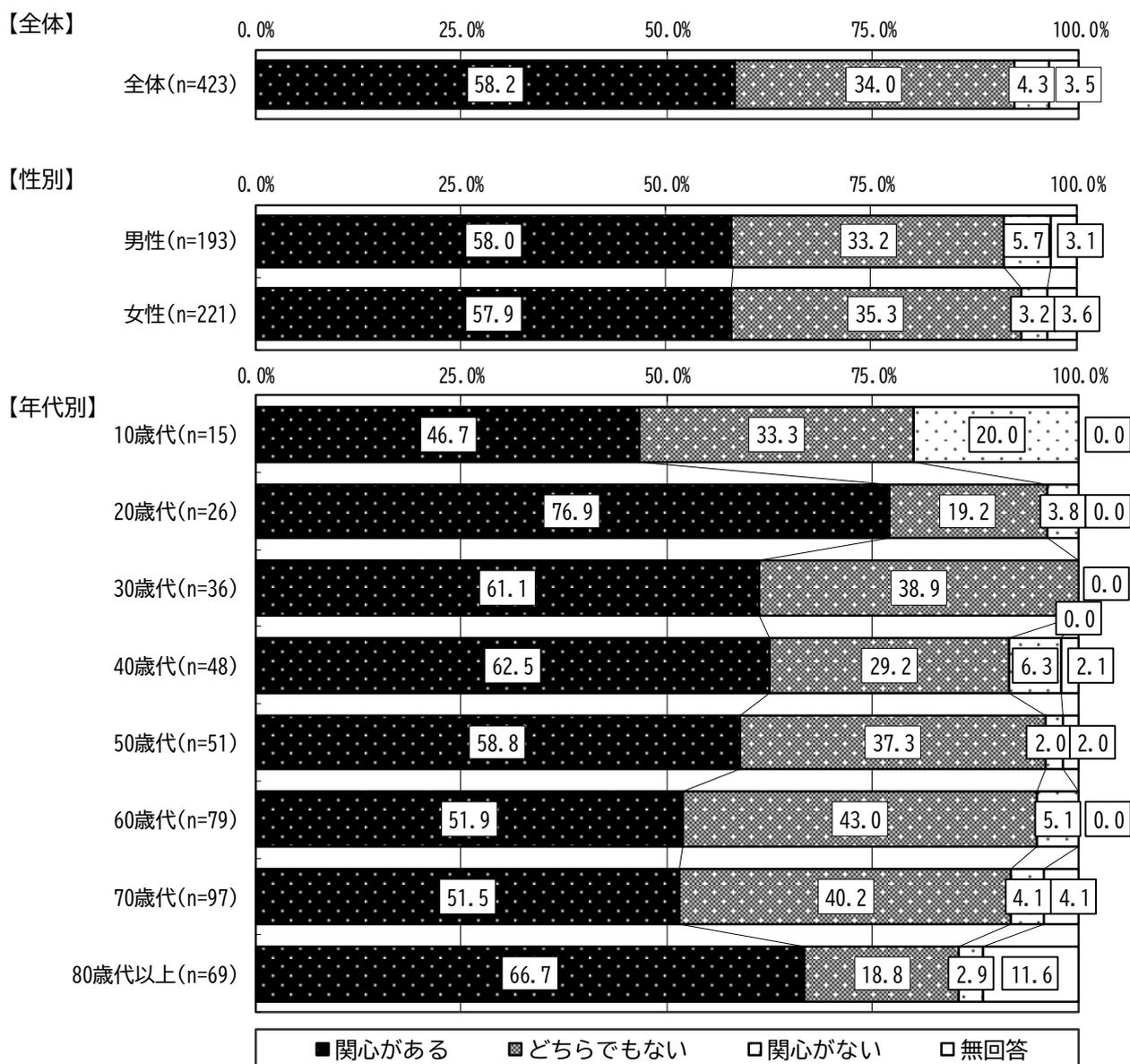
※11 犯罪被害者等にかかわる問題…生命、身体、財産上の直接的な被害に加え、精神的ショックや失業・転職などの経済的困窮、裁判・証人出廷などの精神的・時間的負担、無責任なうわさやプライバシー侵害にもつながる執拗な取材・報道など。

⑫ 震災等の災害に起因する人権にかかわる問題 ※12

「関心がある」と答えた割合が 58.2%と最も高く、次いで「どちらでもない」が 34.0%、「関心がない」が 4.3%となっている。

性別では、男性は女性よりも「関心がある」と答えた割合が僅かに高い。

年代別では、「関心がある」と答えた割合は 20 歳代が 76.9%と最も高く、一方で、「関心がない」と答えた割合は 10 歳代が 20.0%と最も高くなっている。



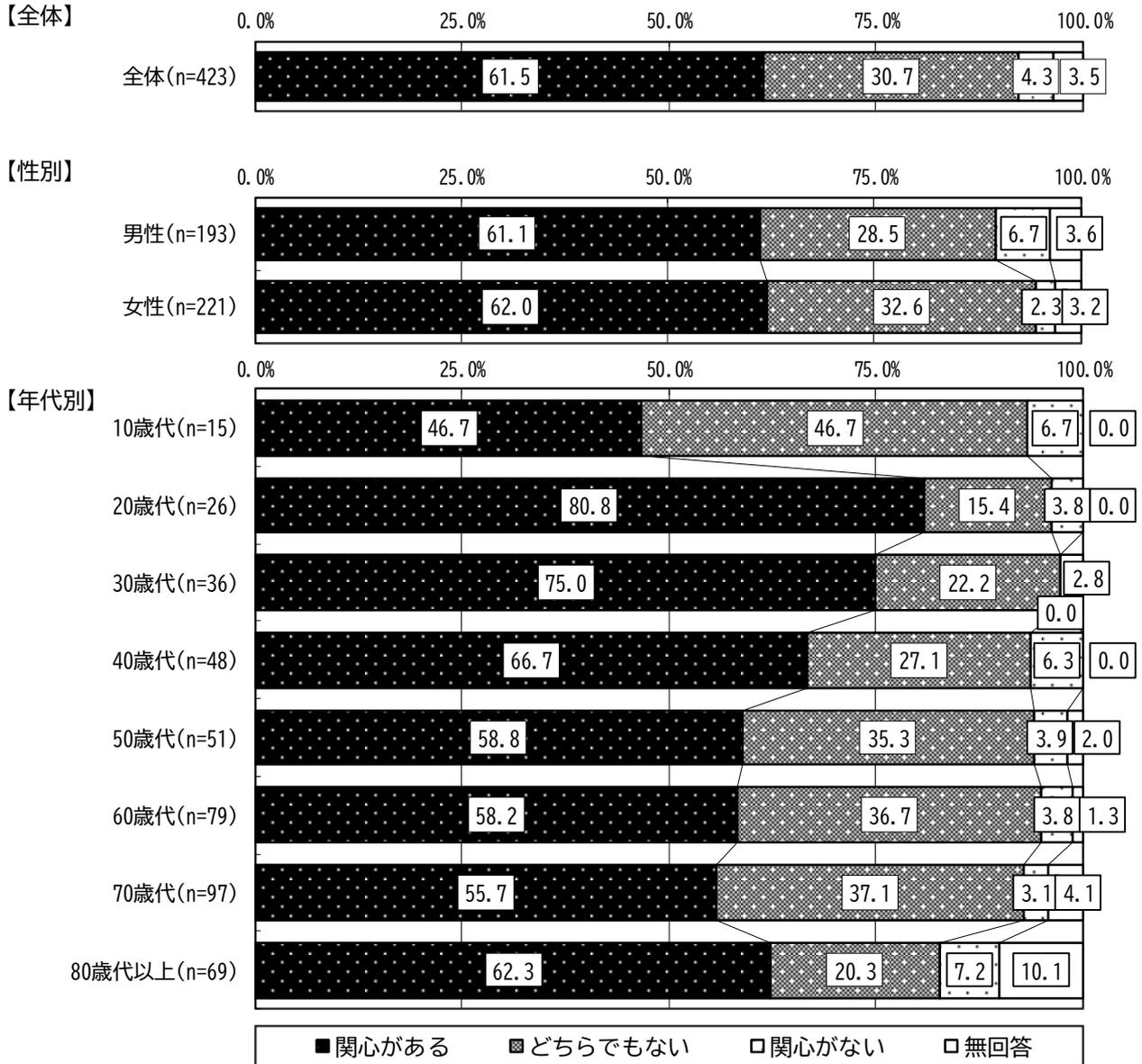
※12 震災等の災害に起因する人権にかかわる問題…災害発生時において、不確かな情報により他人を不当に取り扱ったり、偏見・差別や SNS・インターネット等による風評被害等を助長するような情報を発信したりすること。

⑬ ハラスメントにかかわる問題（パワーハラスメント、セクシュアルハラスメント）（※13）

「関心がある」と答えた割合が 61.5%と最も高く、次いで「どちらでもない」が 30.7%、「関心がない」が 4.3%となっている。

性別では、女性は男性よりも「関心がある」と答えた割合が僅かに高い。

年代別では、「関心がある」と答えた割合は 20 歳代が 80.8%と最も高く、一方で、「関心がない」と答えた割合はどの年代も 1 割以下となっている。

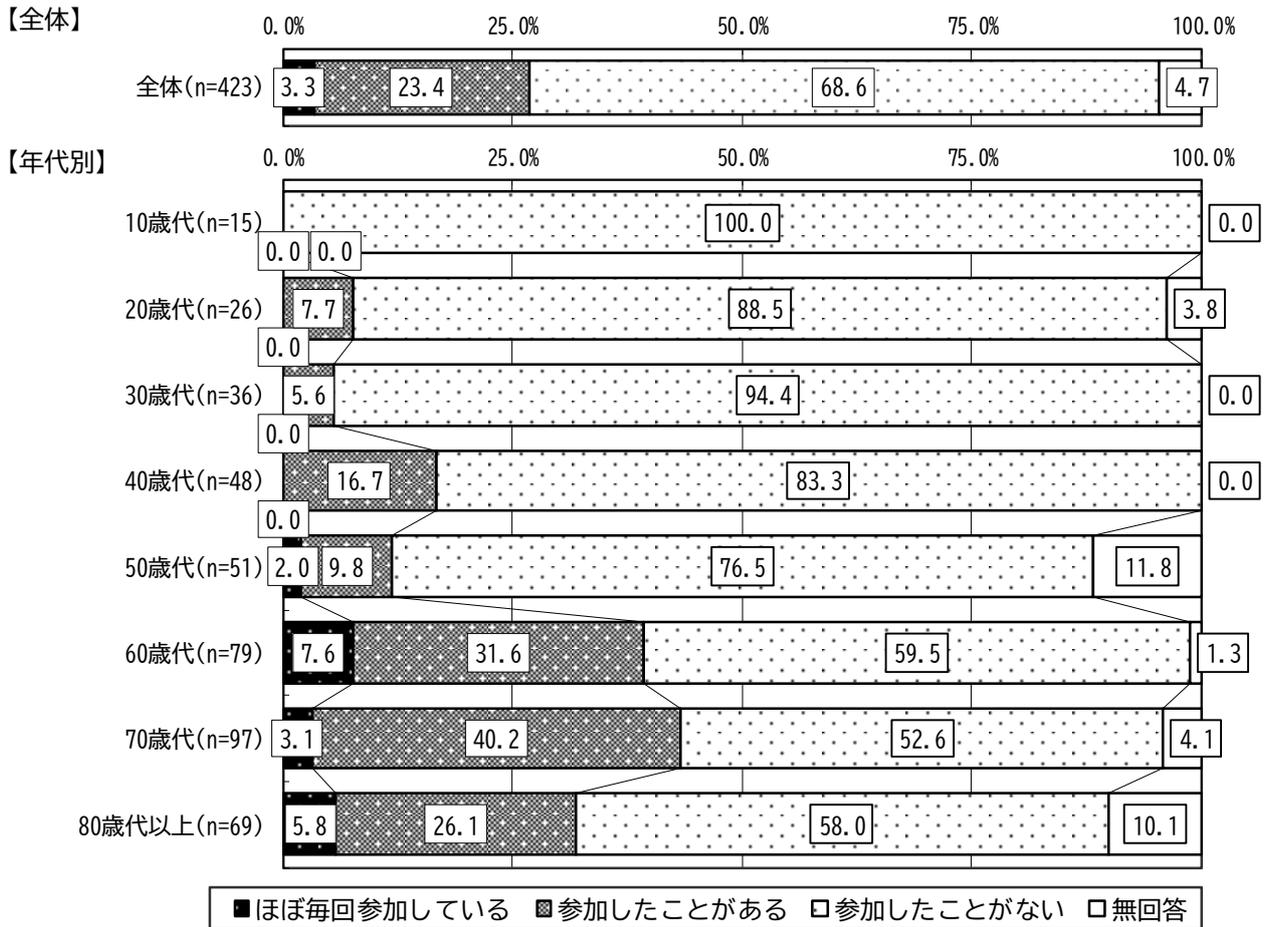


※13 ハラスメントにかかわる問題…相手に対して言葉や行動などでいやがらせを行うこと。
 パワーハラスメント…社会的な地位の高いものによる、自らの権力や立場を利用した嫌がらせのこと。
 セクシュアルハラスメント…相手の意に反する性的言動により、相手方に不快感や苦痛を与える行為。

問3 人権についての研修会への参加についておたずねします。あなたは、この3年以内で市役所、自治会等で行われる講演会や研修会（市人権・同和教育研究大会、自治会人権学習会、地域総合センター人権講座等）に参加したことはありますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください

「参加したことがない」と答えた割合が68.6%と最も高く、次いで「参加したことがある」が23.4%、「ほぼ毎回参加している」が3.3%となっている。

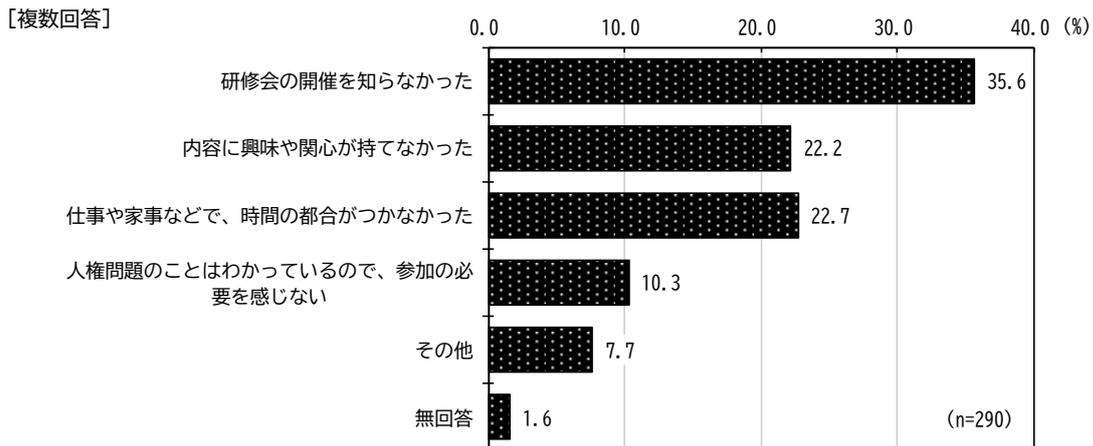
年代別では、50歳代以下で「参加したことがない」と答えた割合が7割を超えている。また、「ほぼ毎回参加している」「参加したことがある」と合わせた割合は60歳代以上で3割を超えている。



問3-1 問3で、「参加したことがない」に○をつけた方のみお答えください。その理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「研修会の開催を知らなかった」が35.6%（135件）と最も多く、次いで「仕事や家事などで、時間の都合がつかなかった」が22.7%（86件）、「内容に興味や関心が持てなかった」が22.2%（84件）、「人権問題のことはわかっているのに、参加の必要を感じない」が10.3%（39件）と続いている。

【全体】



回答数：379

年代別では、60歳代以下は「研修会の開催を知らなかった」が、70歳代は「内容に興味や関心が持てなかった」が、80歳代以上は「人権問題のことはわかっているのに、参加の必要を感じない」が最も多くなっている。（50歳代は「内容に興味や関心が持てなかった」「仕事や家事などで、時間の都合がつかなかった」、60歳代は「仕事や家事などで、時間の都合がつかなかった」と同率）

【年代別】

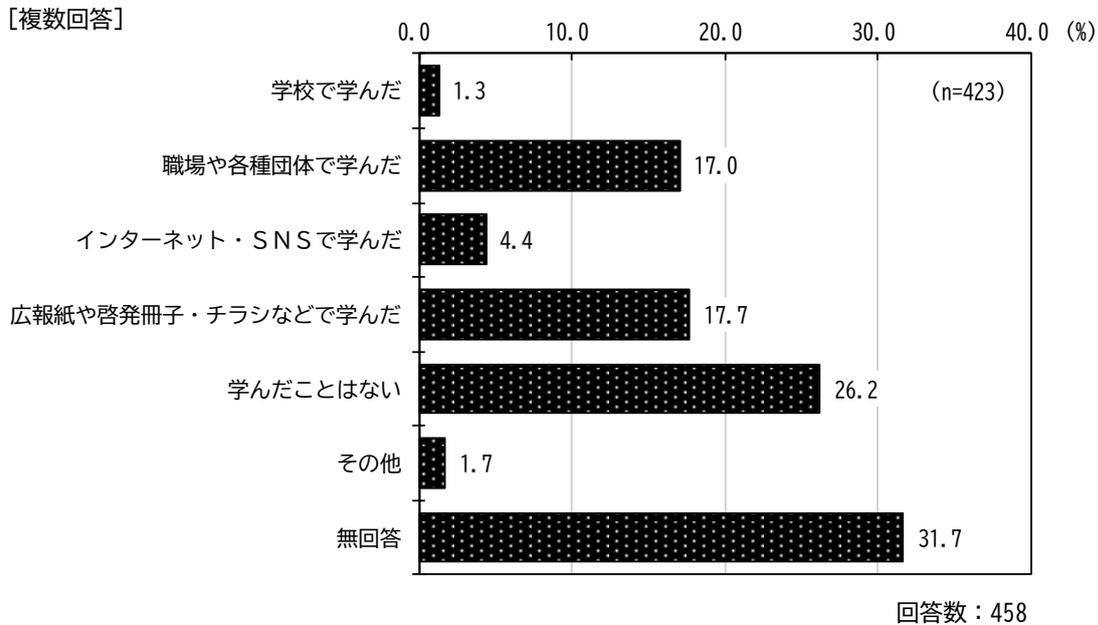
(): 回答数 ※太字は上位3つ（「その他」・「無回答」を除く）、下線は最上位

理由	全体 (379)	10歳代 (18)	20歳代 (35)	30歳代 (54)	40歳代 (57)	50歳代 (45)	60歳代 (63)	70歳代 (57)	80歳代以上 (49)
研修会の開催を知らなかった	35.6	72.2	51.4	35.2	40.4	28.9	34.9	28.1	22.4
内容に興味や関心が持てなかった	22.2	16.7	17.1	25.9	15.8	28.9	14.3	38.6	16.3
仕事や家事などで、時間の都合がつかなかった	22.7	0.0	28.6	22.2	31.6	28.9	34.9	12.3	8.2
人権問題のことはわかっているのに、参加の必要を感じない	10.3	5.6	0.0	7.4	8.8	2.2	6.3	10.5	34.7
その他	7.7	0.0	2.9	7.4	3.5	8.9	9.5	8.8	14.3
無回答	1.6	5.6	0.0	1.9	0.0	2.2	0.0	1.8	4.1

問3-2 あなたは、この3年以内で市役所、自治会等で行われる講演会や研修会以外にも人権について学んだことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「学んだことはない」が26.2%（120件）と最も多く、次いで「広報紙や啓発冊子・チラシなどで学んだ」が17.7%（81件）、「職場や各種団体に学んだ」が17.0%（78件）と続いている。

【全体】



年代別では、10歳代、20歳代は「学校で学んだ」が、40歳代は「職場や各種団体に学んだ」が、その他の年代は「学んだことはない」が最も多くなっている。

【年代別】

(): 回答数 ※太字は上位3つ（「その他」・「無回答」を除く）、下線は最上位

[複数回答]	全体 (458)	10歳代 (16)	20歳代 (28)	30歳代 (36)	40歳代 (50)	50歳代 (58)	60歳代 (86)	70歳代 (106)	80歳代以上 (76)
学校で学んだ	1.3	12.5	10.7	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
職場や各種団体に学んだ	17.0	0.0	7.1	8.3	18.0	20.7	23.3	19.8	14.5
インターネット・SNSで学んだ	4.4	6.3	3.6	2.8	2.0	8.6	4.7	3.8	3.9
広報紙や啓発冊子・チラシなどで学んだ	17.7	0.0	3.6	0.0	10.0	8.6	20.9	26.4	30.3
学んだことはない	26.2	6.3	7.1	16.7	14.0	25.9	31.4	34.9	32.9
その他	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	2.3	3.8	1.3
無回答	31.7	75.0	67.9	72.2	54.0	34.5	17.4	11.3	17.1

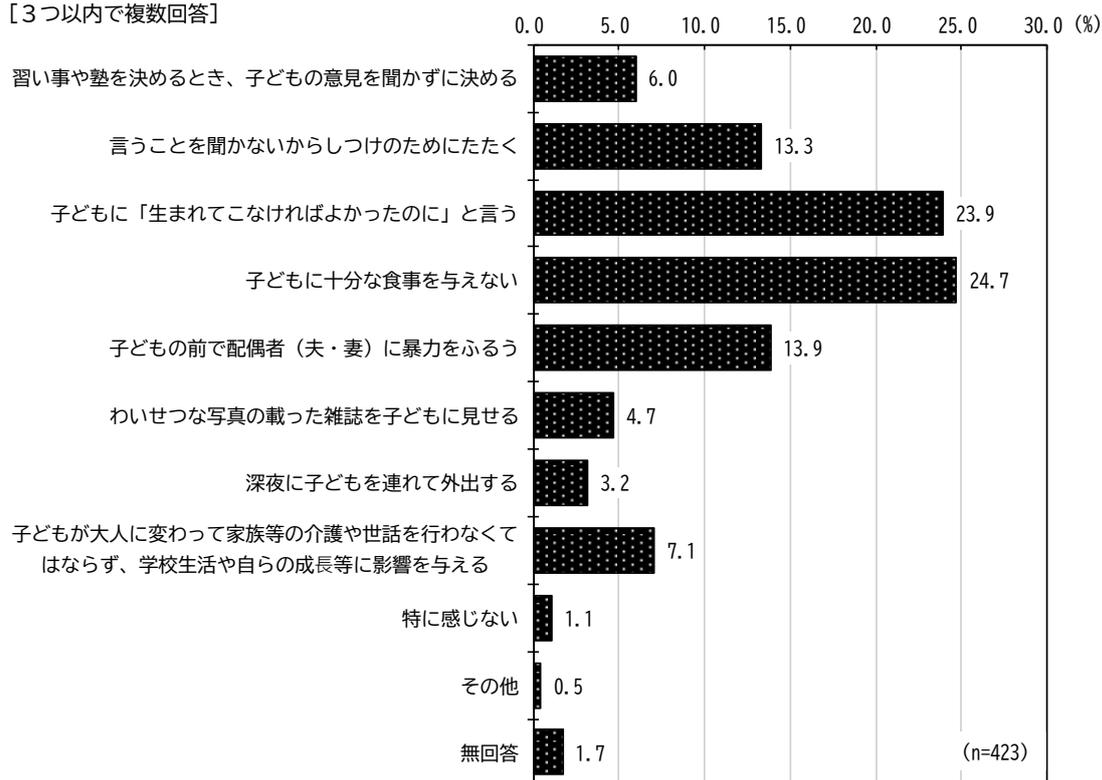
2 さまざまな人権問題について

問4 子どもに関する事柄で、あなたが人権尊重の観点から問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

「子どもに十分な食事を与えない」が24.7%（273件）と最も多く、次いで「子どもに「生まれてこなければよかったのに」と言う」が23.9%（264件）、「子どもの前で配偶者（夫・妻）に暴力をふるう」が13.9%（153件）と続いている。

【全体】

[3つ以内で複数回答]



回答数：1,104

年代別では、概ねどの年代も「子どもに「生まれてこなければよかったのに」と言う」「子どもに十分な食事を与えない」の割合が高くなっている。

【年代別】

():回答数 ※太字は上位3つ(「その他」・「無回答」を除く)、下線は最上位

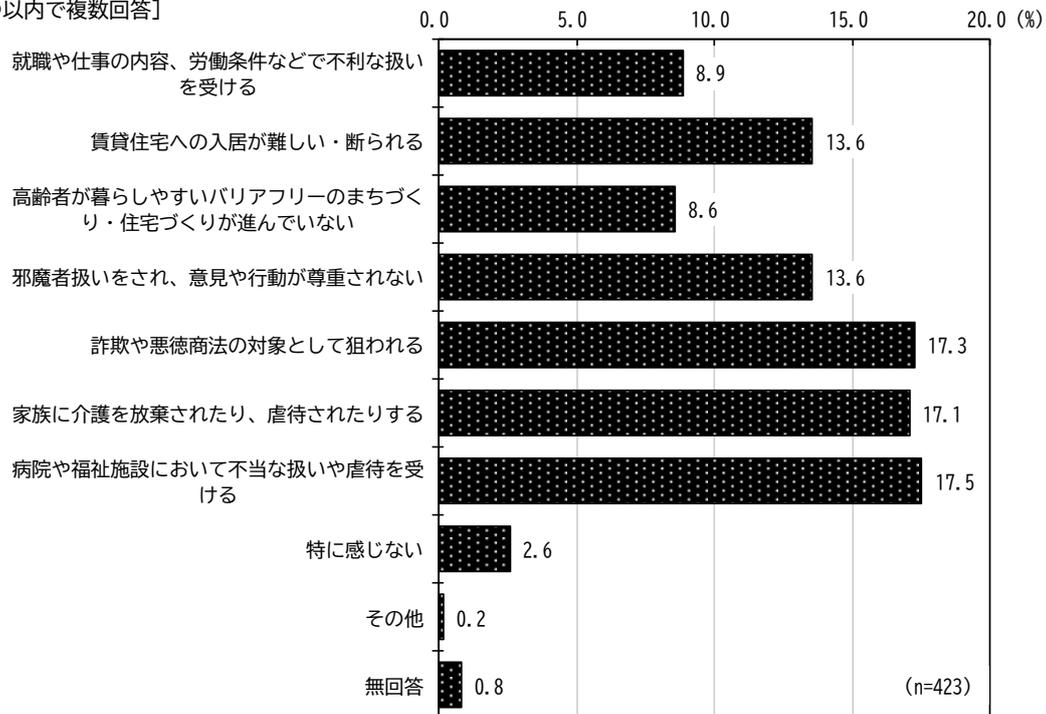
[3つ以内で複数回答]	全体 (1,104)	10歳代 (37)	20歳代 (68)	30歳代 (92)	40歳代 (132)	50歳代 (144)	60歳代 (211)	70歳代 (261)	80歳代 以上 (157)
習い事や塾を決めるとき、子どもの意見を聞かずに決める	6.0	5.4	5.9	4.3	3.0	6.3	2.8	6.9	11.5
言うことを聞かないからしつけのためにたく	13.3	18.9	8.8	9.8	12.1	11.8	17.1	14.9	10.8
子どもに「生まれてこなければよかったのに」と言う	23.9	32.4	29.4	29.3	23.5	24.3	23.7	<u>23.0</u>	18.5
子どもに十分な食事を与えない	24.7	29.7	27.9	26.1	28.0	26.4	26.1	21.5	21.0
子どもの前で配偶者(夫・妻)に暴力をふるう	13.9	5.4	16.2	16.3	15.9	16.7	12.3	12.3	14.0
わいせつな写真の載った雑誌を子どもに見せる	4.7	2.7	4.4	4.3	6.1	5.6	4.3	4.6	4.5
深夜に子どもを連れて外出する	3.2	0.0	2.9	3.3	4.5	3.5	3.8	3.8	0.6
子どもが大人が変わって家族等の介護や世話を行わなくてはならず、学校生活や自らの成長等に影響を与える	7.1	5.4	1.5	4.3	4.5	4.9	9.0	9.6	8.9
特に感じない	1.1	0.0	2.9	0.0	1.5	0.0	0.5	0.8	3.2
その他	0.5	0.0	0.0	2.2	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0
無回答	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.5	1.9	7.0

問5 高齢者に関する事柄で、あなたが人権尊重の観点から問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」が17.5%（190件）と最も多く、次いで「詐欺や悪徳商法の対象として狙われる」が17.3%（187件）、「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」が17.1%（185件）と続いている。

【全体】

[3つ以内で複数回答]



回答数：1,084

年代別では、70歳代は「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」が、80歳代以上は「邪魔者扱いをされ、意見や行動が尊重されない」「詐欺や悪徳商法の対象として狙われる」が最も多く、その他の年代は全体と概ね同様の傾向となっている。

【年代別】

(): 回答数 ※太字は上位3つ(「その他」・「無回答」を除く)、下線は最上位

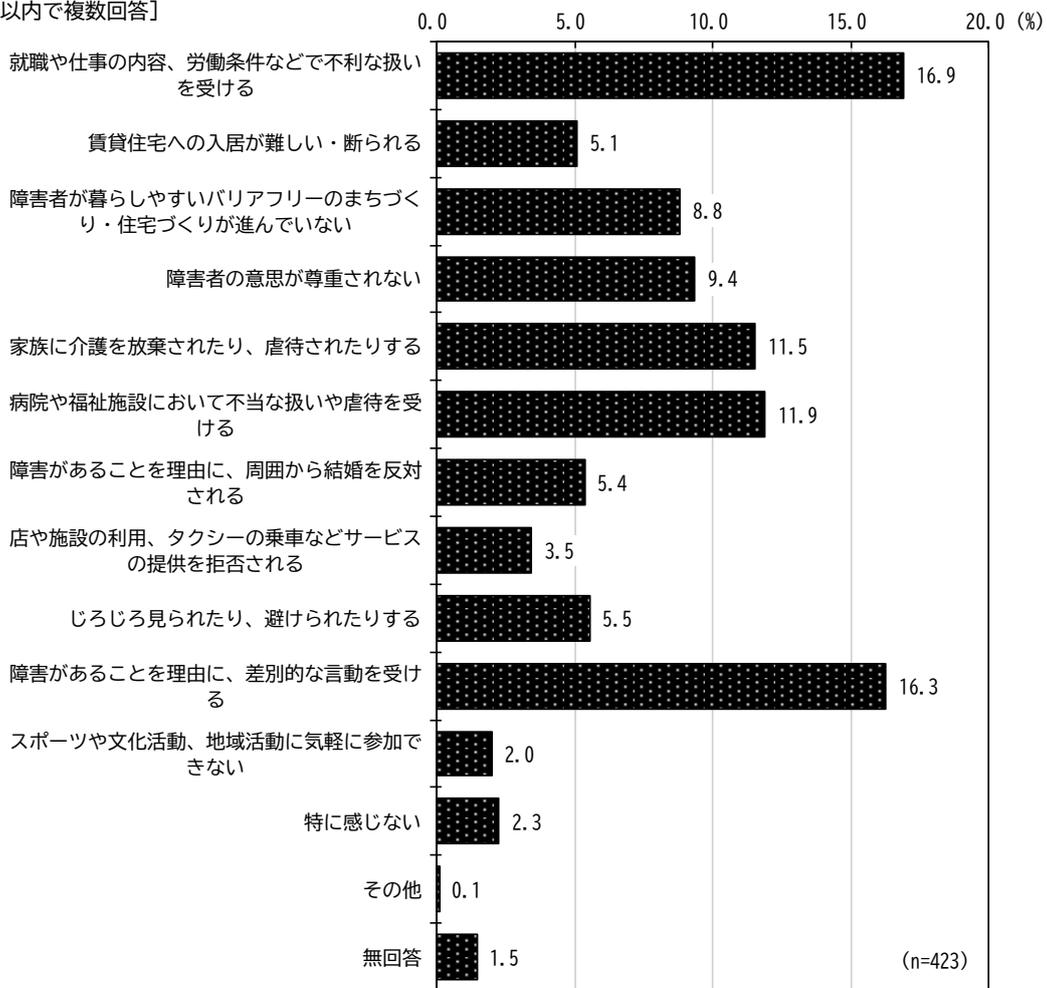
[3つ以内で複数回答]	全体 (1,084)	10歳代 (42)	20歳代 (71)	30歳代 (93)	40歳代 (127)	50歳代 (137)	60歳代 (205)	70歳代 (246)	80歳代 以上 (159)
就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける	8.9	14.3	8.5	8.6	11.0	13.9	7.8	6.9	6.3
賃貸住宅への入居が難しい・断られる	13.6	4.8	9.9	7.5	16.5	18.2	16.6	13.0	11.9
高齢者が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり・住宅づくりが進んでいない	8.6	4.8	7.0	5.4	6.3	10.2	7.8	10.2	10.7
邪魔者扱いをされ、意見や行動が尊重されない	13.6	16.7	14.1	12.9	5.5	10.2	13.7	15.4	<u>18.9</u>
詐欺や悪徳商法の対象として狙われる	17.3	<u>21.4</u>	18.3	14.0	18.9	16.8	17.1	16.3	<u>18.9</u>
家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする	17.1	16.7	<u>19.7</u>	<u>24.7</u>	18.1	10.9	17.1	<u>17.5</u>	15.7
病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける	<u>17.5</u>	<u>21.4</u>	<u>19.7</u>	22.6	<u>21.3</u>	<u>19.0</u>	<u>18.5</u>	15.4	10.1
特に感じない	2.6	0.0	2.8	4.3	2.4	0.7	1.5	3.3	3.8
その他	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0
無回答	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	3.8

問6 障害者に関する事柄で、あなたが人権尊重の観点から問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

「就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける」が16.9%（186件）と最も多く、次いで「障害があることを理由に、差別的な言動を受ける」が16.3%（179件）、「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」が11.9%（131件）と続いている。

【全体】

[3つ以内で複数回答]



回答数：1,101

年代別では、10歳代、50歳代以上は「就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける」が、その他の年代は「障害があることを理由に、差別的な言動を受ける」が最も多くなっている。

【年代別】

(): 回答数 ※太字は上位3つ(「その他」・「無回答」を除く)、下線は最上位

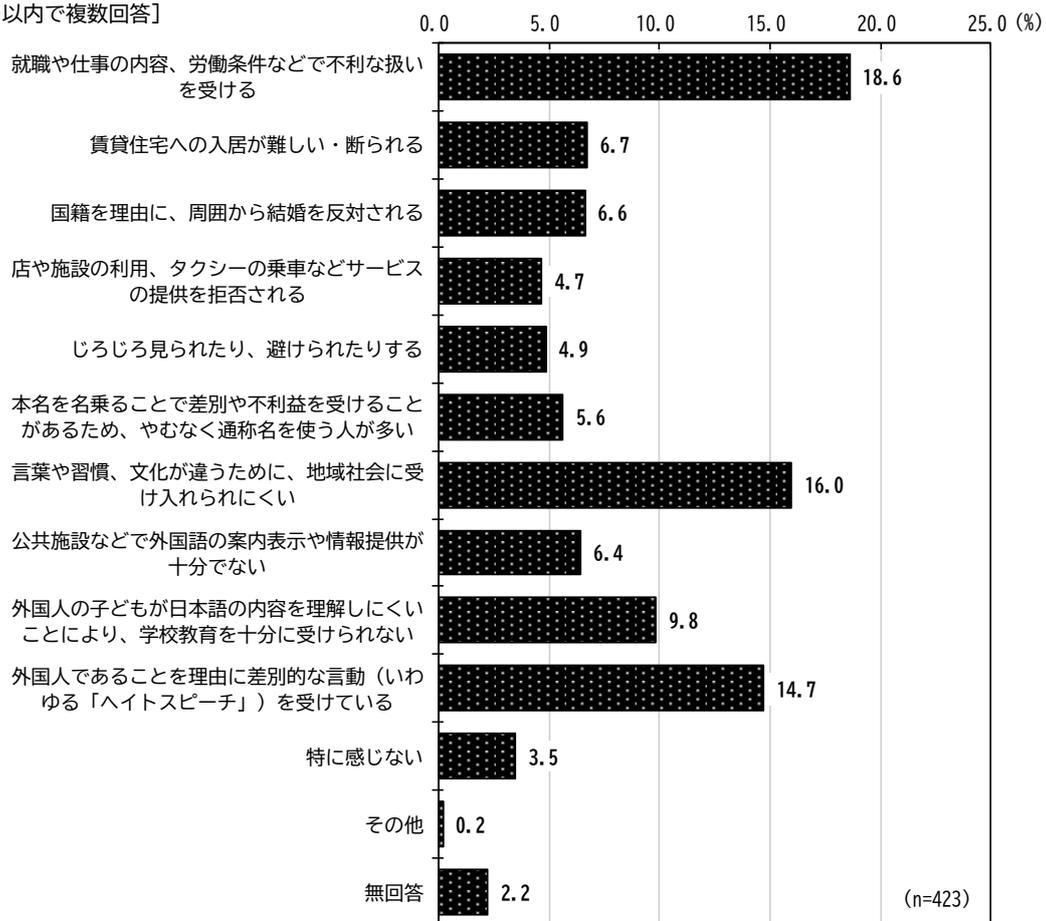
[3つ以内で複数回答]	全体 (1,101)	10歳代 (44)	20歳代 (73)	30歳代 (99)	40歳代 (128)	50歳代 (136)	60歳代 (211)	70歳代 (249)	80歳代 以上 (157)
就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける	16.9	18.2	12.3	15.2	16.4	19.1	19.4	16.9	15.3
賃貸住宅への入居が難しい・断られる	5.1	2.3	1.4	7.1	5.5	8.1	4.3	4.4	5.7
障害者が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり・住宅づくりが進んでいない	8.8	9.1	8.2	7.1	4.7	8.8	10.4	10.0	9.6
障害者の意思が尊重されない	9.4	6.8	9.6	5.1	5.5	8.8	10.0	10.8	13.4
家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする	11.5	6.8	12.3	16.2	14.1	11.8	7.6	13.3	10.2
病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける	11.9	15.9	11.0	12.1	10.9	13.2	14.2	10.4	9.6
障害があることを理由に、周囲から結婚を反対される	5.4	4.5	8.2	6.1	8.6	4.4	2.8	4.8	6.4
店や施設の利用、タクシーの乗車などサービスの提供を拒否される	3.5	4.5	4.1	7.1	3.1	2.9	3.8	2.8	1.9
じろじろ見られたり、避けられたりする	5.5	11.4	11.0	3.0	3.9	4.4	5.2	5.6	5.1
障害があることを理由に、差別的な言動を受ける	16.3	15.9	17.8	18.2	21.9	16.2	18.0	15.3	8.9
スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できない	2.0	4.5	2.7	0.0	2.3	0.7	2.4	1.6	3.2
特に感じない	2.3	0.0	1.4	3.0	3.1	0.7	1.4	2.8	3.8
その他	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
無回答	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.5	1.2	6.4

問7 外国人・外国籍市民に関する事柄で、あなたが人権尊重の観点から問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

「就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける」が18.6%（191件）と最も多く、次いで「言葉や習慣、文化が違うために、地域社会に受け入れられにくい」が16.0%（164件）、「外国人であることを理由に差別的な言動（いわゆる「ヘイトスピーチ」）を受けている」が14.7%（151件）と続いている。

【全体】

[3つ以内で複数回答]



回答数：1,027

年代別では、10歳代、40歳代、50歳代、70歳代以上は「就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける」が、60歳代は「言葉や習慣、文化が違うために、地域社会に受け入れられにくい」が、20歳代、30歳代は「外国人であることを理由に差別的な言動（いわゆる「ヘイトスピーチ」）を受けている」が最も多くなっている。

【年代別】

(): 回答数 ※太字は上位3つ（「その他」・「無回答」を除く）、下線は最上位

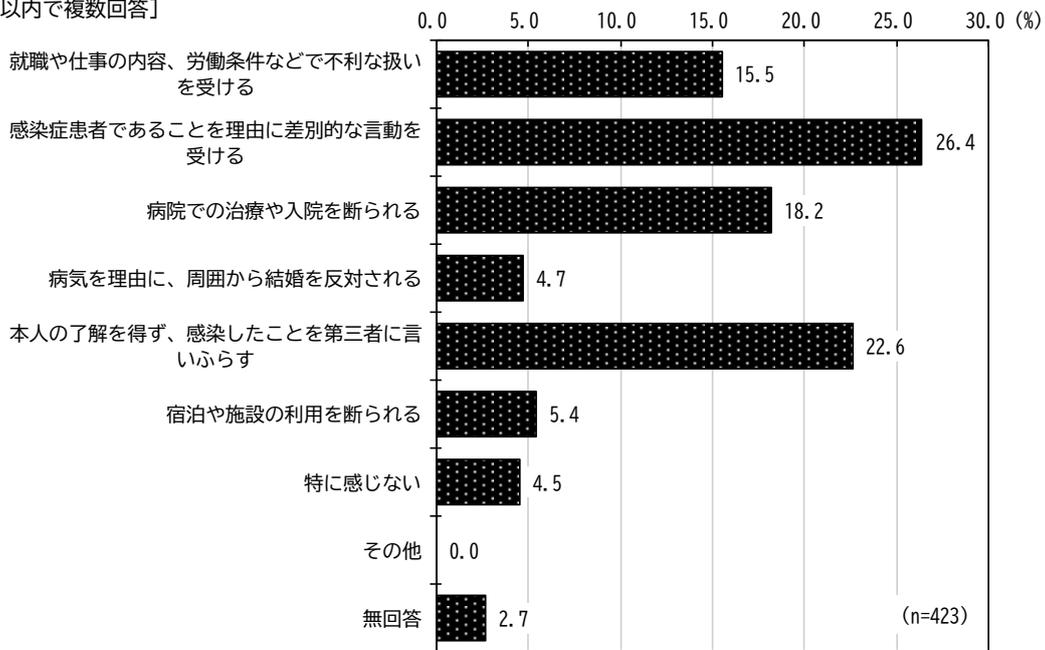
[3つ以内で複数回答]	全体 (1,027)	10歳代 (42)	20歳代 (68)	30歳代 (90)	40歳代 (118)	50歳代 (132)	60歳代 (198)	70歳代 (226)	80歳代 以上 (149)
就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける	18.6	23.8	17.6	21.1	16.1	18.9	16.7	19.0	20.1
賃貸住宅への入居が難しい・断られる	6.7	4.8	4.4	6.7	6.8	9.8	7.1	5.8	6.7
国籍を理由に、周囲から結婚を反対される	6.6	7.1	7.4	6.7	7.6	6.1	5.1	7.5	6.7
店や施設の利用、タクシーの乗車などサービスの提供を拒否される	4.7	4.8	4.4	7.8	6.8	6.1	3.0	4.4	2.0
じろじろ見られたり、避けられたりする	4.9	9.5	5.9	3.3	3.4	5.3	3.5	5.8	5.4
本名を名乗ることで差別や不利益を受けることがあるため、やむなく通称名を使う人が多い	5.6	4.8	7.4	3.3	5.1	9.8	6.6	4.9	3.4
言葉や習慣、文化が違うために、地域社会に受け入れられにくい	16.0	14.3	14.7	7.8	12.7	14.4	19.2	17.3	19.5
公共施設などで外国語の案内表示や情報提供が十分でない	6.4	2.4	7.4	3.3	7.6	7.6	7.6	6.6	4.7
外国人の子どもが日本語の内容を理解しにくいことにより、学校教育を十分に受けられない	9.8	9.5	8.8	11.1	11.0	6.8	10.6	11.5	8.1
外国人であることを理由に差別的な言動（いわゆる「ヘイトスピーチ」）を受けている	14.7	19.0	22.1	24.4	15.3	12.9	18.2	10.6	7.4
特に感じない	3.5	0.0	0.0	3.3	7.6	2.3	1.5	4.4	5.4
その他	0.2	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0
無回答	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	2.2	10.7

問8 感染症患者に関する事柄で、あなたが人権尊重の観点から問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

「感染症患者であることを理由に差別的な言動を受ける」が26.4%（257件）と最も多く、次いで「本人の了解を得ず、感染したことを第三者に言いふらす」が22.6%（220件）、「病院での治療や入院を断られる」が18.2%（177件）と続いている。

【全体】

[3つ以内で複数回答]



回答数：974

年代別では、10歳代は「本人の了解を得ず、感染したことを第三者に言いふらす」が、50歳代は「病院での治療や入院を断られる」が、その他の年代は「感染症患者であることを理由に差別的な言動を受ける」が最も多くなっている。

【年代別】

(): 回答数 ※太字は上位3つ(「その他」・「無回答」を除く)、下線は最上位

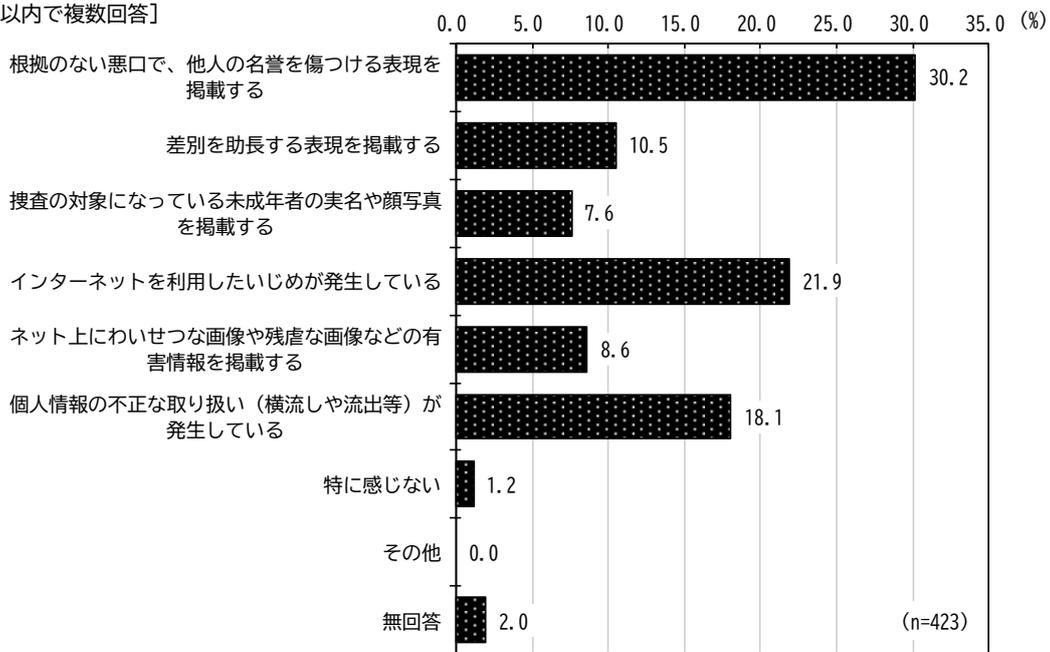
[3つ以内で複数回答]	全体 (974)	10歳代 (45)	20歳代 (90)	30歳代 (122)	40歳代 (168)	50歳代 (176)	60歳代 (253)	70歳代 (323)	80歳代 以上 (214)
就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける	15.5	6.7	10.0	6.6	11.3	12.5	10.3	13.3	9.8
感染症患者であることを理由に差別的な言動を受ける	26.4	20.0	22.2	21.3	19.0	15.9	20.6	18.3	14.0
病院での治療や入院を断られる	18.2	8.9	13.3	11.5	13.1	17.0	13.0	11.8	10.7
病気を理由に、周囲から結婚を反対される	4.7	6.7	6.7	5.7	2.4	3.4	2.0	2.5	3.3
本人の了解を得ず、感染したことを第三者に言いふらす	22.6	22.2	13.3	18.0	17.3	15.3	17.0	15.8	11.7
宿泊や施設の利用を断られる	5.4	0.0	2.2	4.1	4.2	4.5	2.0	4.0	6.1
特に感じない	4.5	2.2	3.3	2.5	4.2	1.7	2.8	2.8	5.1
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2.7	0.0	0.0	0.8	0.0	0.6	1.2	1.5	7.0

問9 インターネット（「SNS」含む）に関する事柄で、あなたが人権尊重の観点から問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

「根拠のない悪口で、他人の名誉を傷つける表現を掲載する」が30.2%（339件）と最も多く、次いで「インターネットを利用したいじめが発生している」が21.9%（246件）、「個人情報の不正な取り扱い（横流しや流出等）が発生している」が18.1%（203件）と続いている。

【全体】

[3つ以内で複数回答]



回答数：1,123

年代別では、どの年代も「根拠のない悪口で、他人の名誉を傷つける表現を掲載する」が最も多く、全体と同様の傾向となっている。

【年代別】

(): 回答数 ※太字は上位3つ(「その他」・「無回答」を除く)、下線は最上位

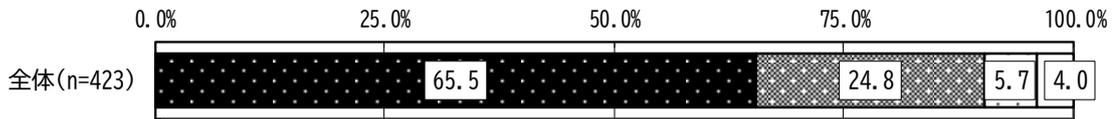
[3つ以内で複数回答]	全体 (1,123)	10歳代 (57)	20歳代 (97)	30歳代 (137)	40歳代 (184)	50歳代 (196)	60歳代 (292)	70歳代 (346)	80歳代 以上 (231)
根拠のない悪口で、他人の名誉を傷つける表現を掲載する	30.2	26.3	21.6	21.2	21.2	21.4	24.0	22.3	19.5
差別を助長する表現を掲載する	10.5	5.3	5.2	8.8	5.4	10.2	8.9	7.8	6.1
捜査の対象になっている未成年者の実名や顔写真を掲載する	7.6	1.8	6.2	5.8	5.4	5.1	5.5	4.9	6.9
インターネットを利用したいじめが発生している	21.9	19.3	15.5	16.1	16.3	18.4	17.1	15.6	12.1
ネット上にわいせつな画像や残虐な画像などの有害情報を掲載する	8.6	1.8	7.2	8.0	7.6	4.6	4.8	7.2	6.9
個人情報の不正な取り扱い(横流しや流出等)が発生している	18.1	19.3	16.5	13.1	17.4	14.3	11.3	11.0	11.7
特に感じない	1.2	0.0	1.0	0.7	0.5	0.0	1.0	0.6	1.7
その他	0.0	26.3	26.8	26.3	26.1	26.0	27.1	28.0	29.9
無回答	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	2.6	5.2

問10 あなたは、LGBTQ（性的マイノリティ）ということばを知っていますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

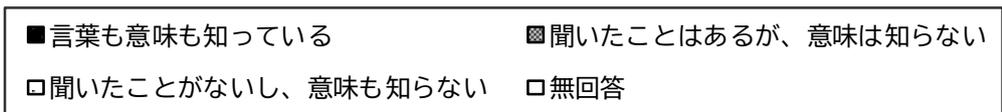
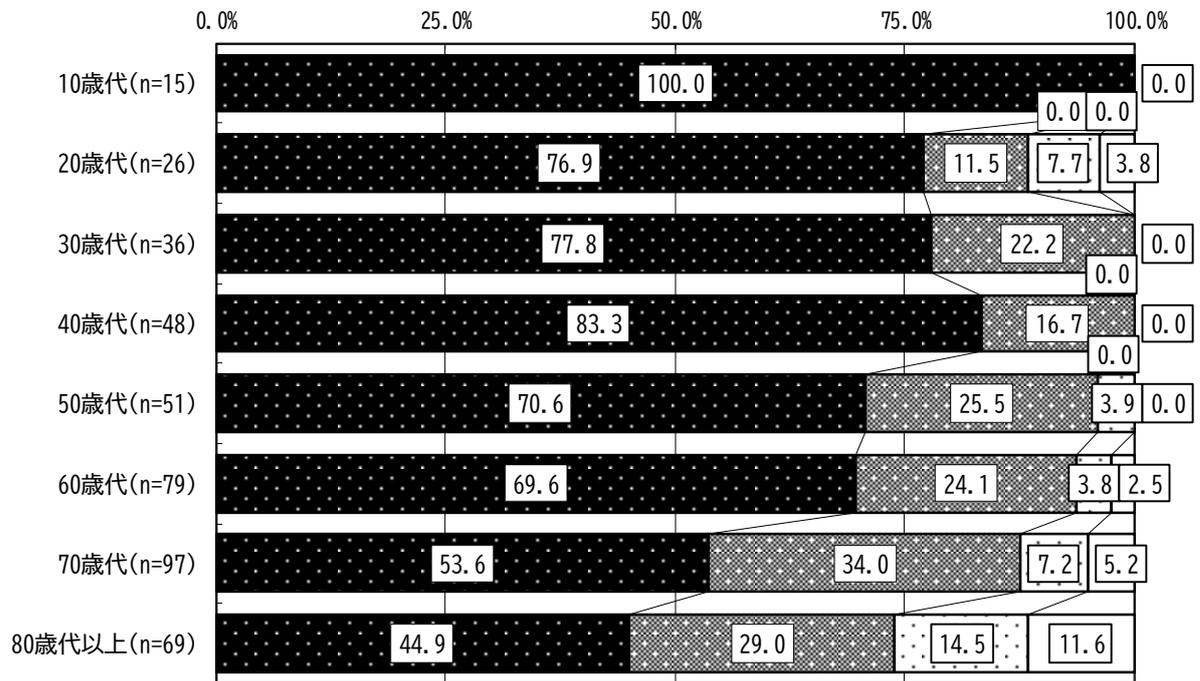
「言葉も意味も知っている」が65.5%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、意味は知らない」が24.8%、「聞いたことがないし、意味も知らない」が5.7%となっている。

年代別では、どの年代も「言葉も意味も知っている」が最も多く、50歳代以下は7割を超えている。

【全体】



【年代別】

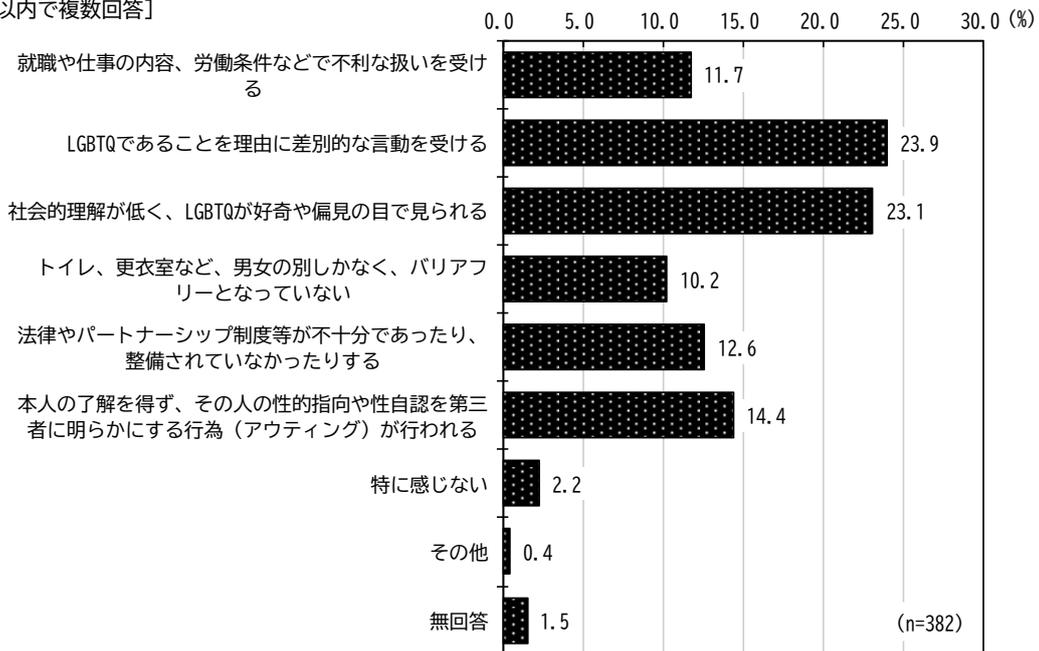


問10-1 問10で、「言葉も意味も知っている」または「聞いたことはあるが、意味は知らない」に○をつけた方のみお答えください。LGBTQ（性的マイノリティ）に関する事柄で、人権尊重の観点から問題があると思うのはどのようなことですか。あなたが特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

「LGBTQであることを理由に差別的な言動を受ける」が23.9%（225件）と最も多く、次いで「社会的理解が低く、LGBTQが好奇や偏見の目で見られる」が23.1%（217件）、「本人の了解を得ず、その人の性的指向や性自認を第三者に明らかにする行為（アウティング）が行われる」が14.4%（135件）と続いている。

【全体】

[3つ以内で複数回答]



回答数：940

年代別では、10歳代、80歳代は「社会的理解が低く、LGBTQが好奇や偏見の目で見られる」が、その他の年代は「LGBTQであることを理由に差別的な言動を受ける」が最も多くなっている。

【年代別】

(): 回答数 ※太字は上位3つ(「その他」・「無回答」を除く)、下線は最上位

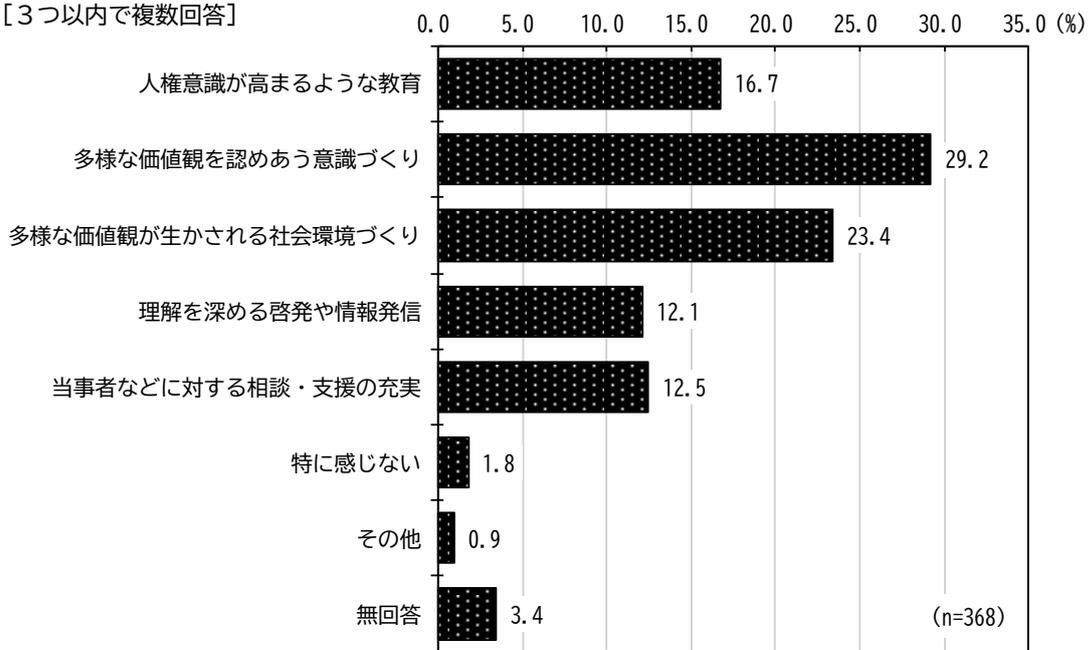
[3つ以内で複数回答]	全体 (940)	10歳代 (40)	20歳代 (60)	30歳代 (88)	40歳代 (121)	50歳代 (126)	60歳代 (183)	70歳代 (206)	80歳代 以上 (115)
就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける	11.7	2.5	5.0	9.1	9.1	13.5	14.2	12.1	16.5
LGBTQであることを理由に差別的な言動を受ける	23.9	22.5	25.0	27.3	23.1	26.2	23.5	24.8	19.1
社会的理解が低く、LGBTQが好奇や偏見の目で見られる	23.1	30.0	20.0	19.3	19.8	23.8	23.0	23.8	27.0
トイレ、更衣室など、男女の別がなく、バリアフリーとなっていない	10.2	5.0	6.7	5.7	14.0	7.1	13.1	9.7	13.0
法律やパートナーシップ制度等が不十分であったり、整備されていなかったりする	12.6	22.5	23.3	12.5	14.9	9.5	13.1	11.7	5.2
本人の了解を得ず、その人の性的指向や性自認を第三者に明らかにする行為(アウトティング)が行われる	14.4	17.5	18.3	19.3	14.9	16.7	12.0	11.7	13.0
特に感じない	2.2	0.0	1.7	4.5	2.5	0.8	1.1	3.9	1.7
その他	0.4	0.0	0.0	1.1	0.0	1.6	0.0	0.5	0.0
無回答	1.5	0.0	0.0	1.1	1.7	0.8	0.0	1.9	4.3

問10-2 問10-1 を回答いただいた方のみお答えください。LGBTQ（性的マイノリティ）などの人が住みやすい社会にするためには、あなたが特に必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

「多様な価値観を認めあう意識づくり」が29.2%（246件）と最も多く、次いで「多様な価値観が活かされる社会環境づくり」が23.4%（197件）、「人権意識が高まるような教育」が16.7%（141件）と続いている。

【全体】

[3つ以内で複数回答]



回答数：843

年代別では、どの年代も「多様な価値観を認めあう意識づくり」が最も多く、次いで「多様な価値観が生かされる社会環境づくり」が多くなっている。

【年代別】

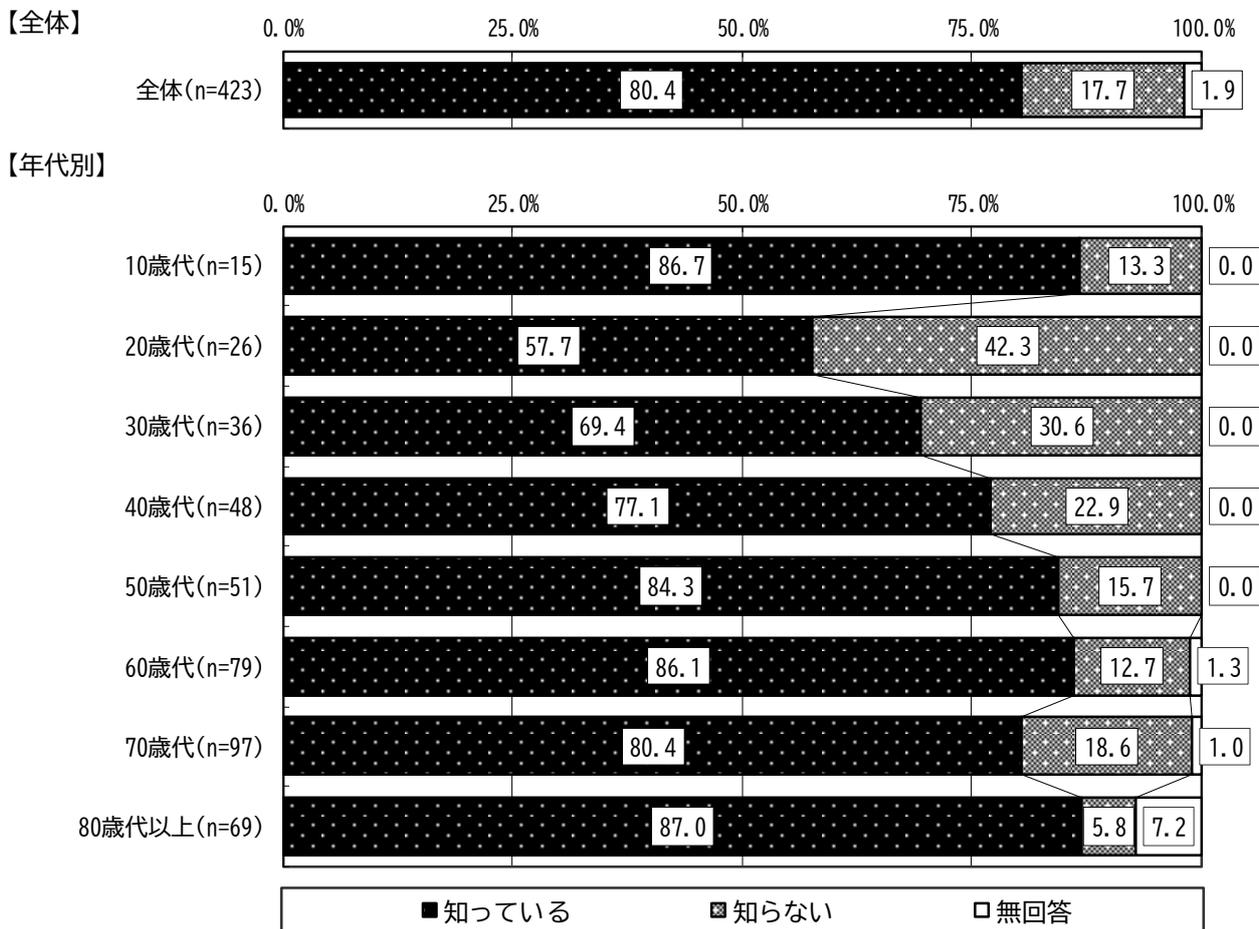
(): 回答数 ※太字は上位3つ(「その他」・「無回答」を除く)、下線は最上位

[3つ以内で複数回答]	全体 (843)	10歳代 (41)	20歳代 (47)	30歳代 (81)	40歳代 (109)	50歳代 (111)	60歳代 (170)	70歳代 (182)	80歳代 以上 (102)
人権意識が高まるような教育	16.7	17.1	12.8	13.6	13.8	18.9	19.4	15.4	19.6
多様な価値観を認めあう意識づくり	29.2	29.3	36.2	29.6	29.4	27.0	30.6	28.6	26.5
多様な価値観が生かされる社会環境づくり	23.4	19.5	27.7	25.9	22.0	22.5	22.4	25.3	21.6
理解を深める啓発や情報発信	12.1	17.1	10.6	14.8	16.5	10.8	9.4	11.0	11.8
当事者などに対する相談・支援の充実	12.5	14.6	12.8	7.4	13.8	14.4	13.5	11.0	12.7
特に感じない	1.8	0.0	0.0	4.9	4.6	0.9	1.2	1.1	1.0
その他	0.9	2.4	0.0	2.5	0.0	1.8	0.6	1.1	0.0
無回答	3.4	0.0	0.0	1.2	0.0	3.6	2.9	6.6	6.9

3 同和問題（部落差別問題）について

問11 あなたは、現在でも、同和問題（部落差別問題）があることを知っていますか。

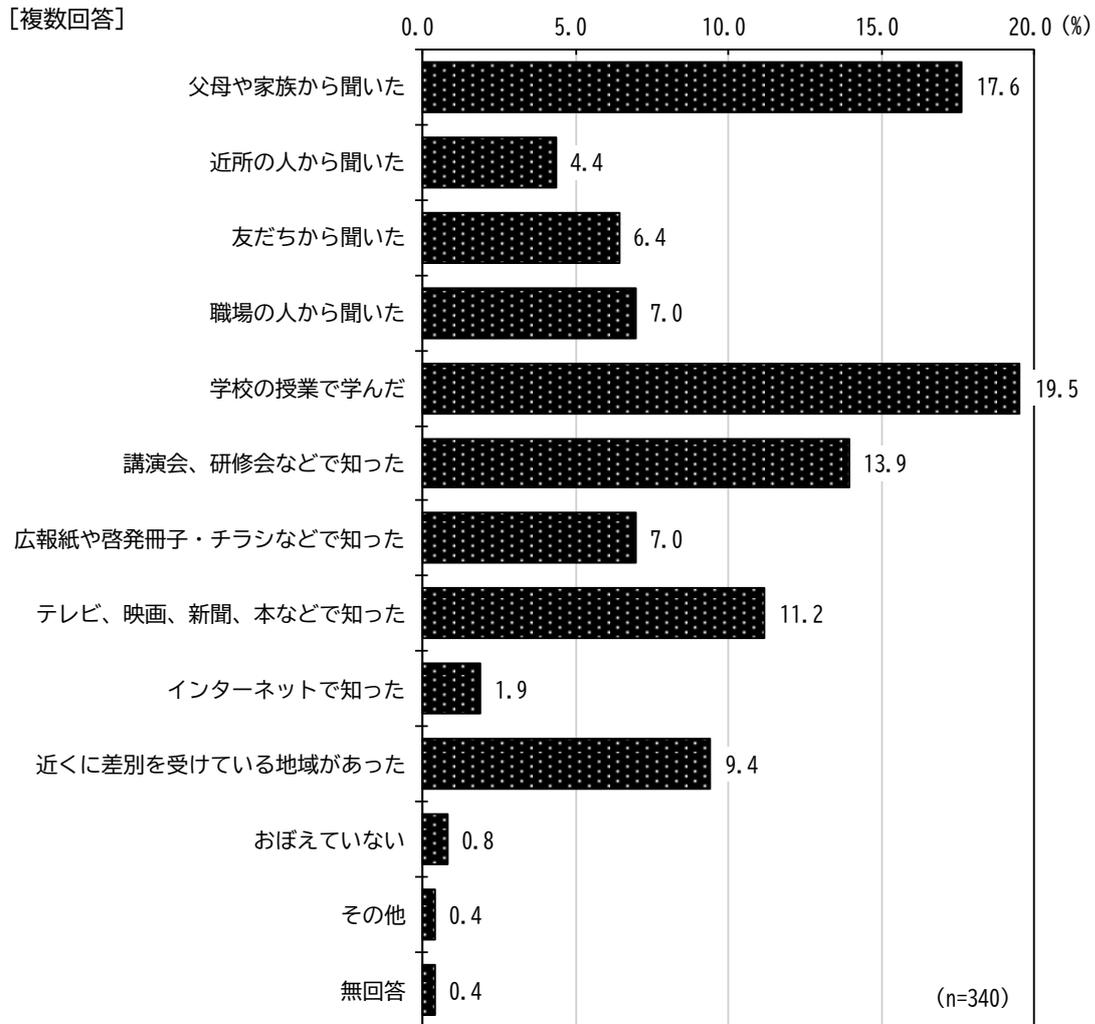
「知っている」が 80.4%、「知らない」が 17.7%となっている。
 年代別では、「知っている」と答えた割合は 20 歳代、30 歳代、40 歳代を除いて 8 割以上と高く、一方で、「知らない」と答えた割合は 20 歳代が 42.3%と最も高くなっている。



問11-1 問11で「知っている」に○をつけた方のみお答えください。あなたは、同和問題（部落差別問題）があることを知ったきっかけはどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「学校の授業で学んだ」が19.5%（143件）と最も多く、次いで「父母や家族から聞いた」が17.6%（129件）、「講演会、研修会などで知った」が13.9%（102件）と続いている。

【全体】



回答数：732

年代別では、60歳代以下は「学校の授業で学んだ」が、70歳代以上は「父母や家族から聞いた」が最も多くなっている。

【年代別】

(): 回答数 ※太字は上位3つ（「その他」・「無回答」を除く）、下線は最上位

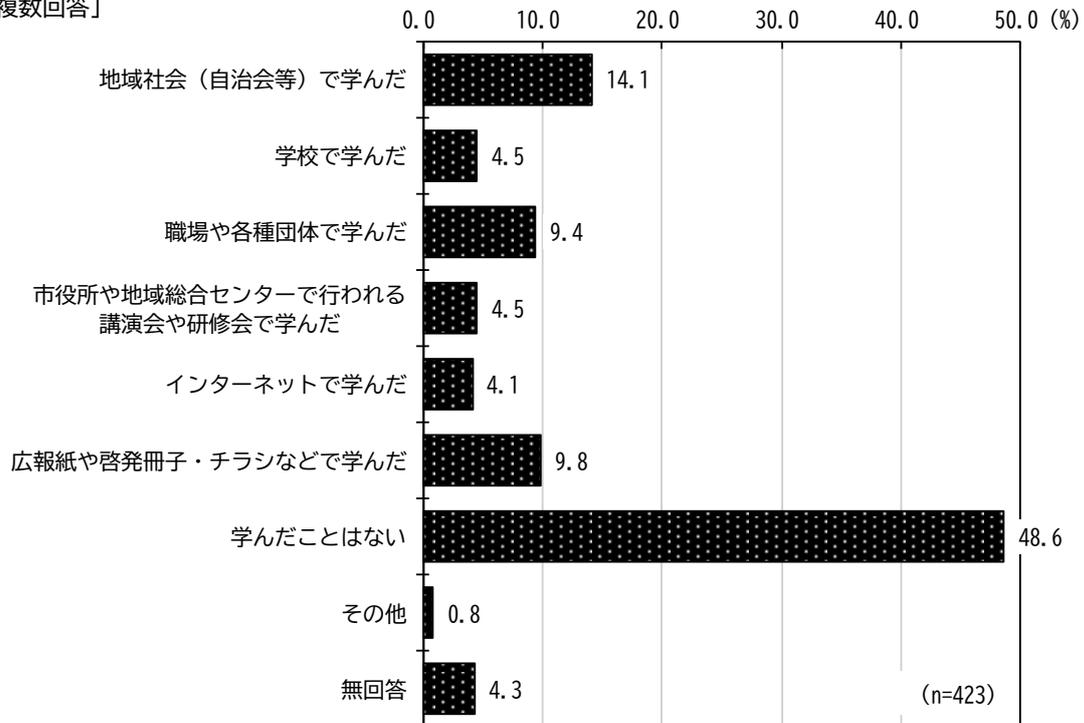
【複数回答】	全体 (732)	10歳代 (19)	20歳代 (21)	30歳代 (41)	40歳代 (72)	50歳代 (111)	60歳代 (141)	70歳代 (185)	80歳代 以上 (141)
父母や家族から聞いた	17.6	10.5	33.3	12.2	15.3	16.2	19.9	<u>18.9</u>	16.3
近所の人から聞いた	4.4	5.3	0.0	0.0	4.2	3.6	5.0	4.3	6.4
友だちから聞いた	6.4	5.3	4.8	4.9	6.9	4.5	5.0	8.1	7.8
職場の人から聞いた	7.0	0.0	9.5	7.3	8.3	7.2	5.0	8.6	6.4
学校の授業で学んだ	<u>19.5</u>	63.2	38.1	36.6	30.6	27.9	20.6	8.1	7.8
講演会、研修会などで知った	13.9	10.5	0.0	9.8	6.9	11.7	16.3	17.8	15.6
広報紙や啓発冊子・チラシなどで知った	7.0	0.0	0.0	0.0	6.9	4.5	5.7	9.2	10.6
テレビ、映画、新聞、本などで知った	11.2	5.3	9.5	7.3	6.9	11.7	11.3	11.4	14.9
インターネットで知った	1.9	0.0	4.8	7.3	4.2	2.7	2.1	0.0	0.7
近くに差別を受けている地域があった	9.4	0.0	0.0	9.8	9.7	8.1	8.5	10.8	12.1
おぼえていない	0.8	0.0	0.0	2.4	0.0	1.8	0.7	0.5	0.7
その他	0.4	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0
無回答	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.7

問12 あなたは、この3年以内に同和問題（部落差別問題）について学んだことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「学んだことはない」が48.6%（238件）と最も多く、次いで「地域社会（自治会等）で学んだ」が14.1%（69件）、「広報紙や啓発冊子・チラシなどで学んだ」が9.8%（48件）と続いている。

【全体】

〔複数回答〕



回答数：490

年代別では、10歳代は「学校の授業で学んだ」が、その他の年代は「学んだことはない」が最も多くなっている。

【年代別】

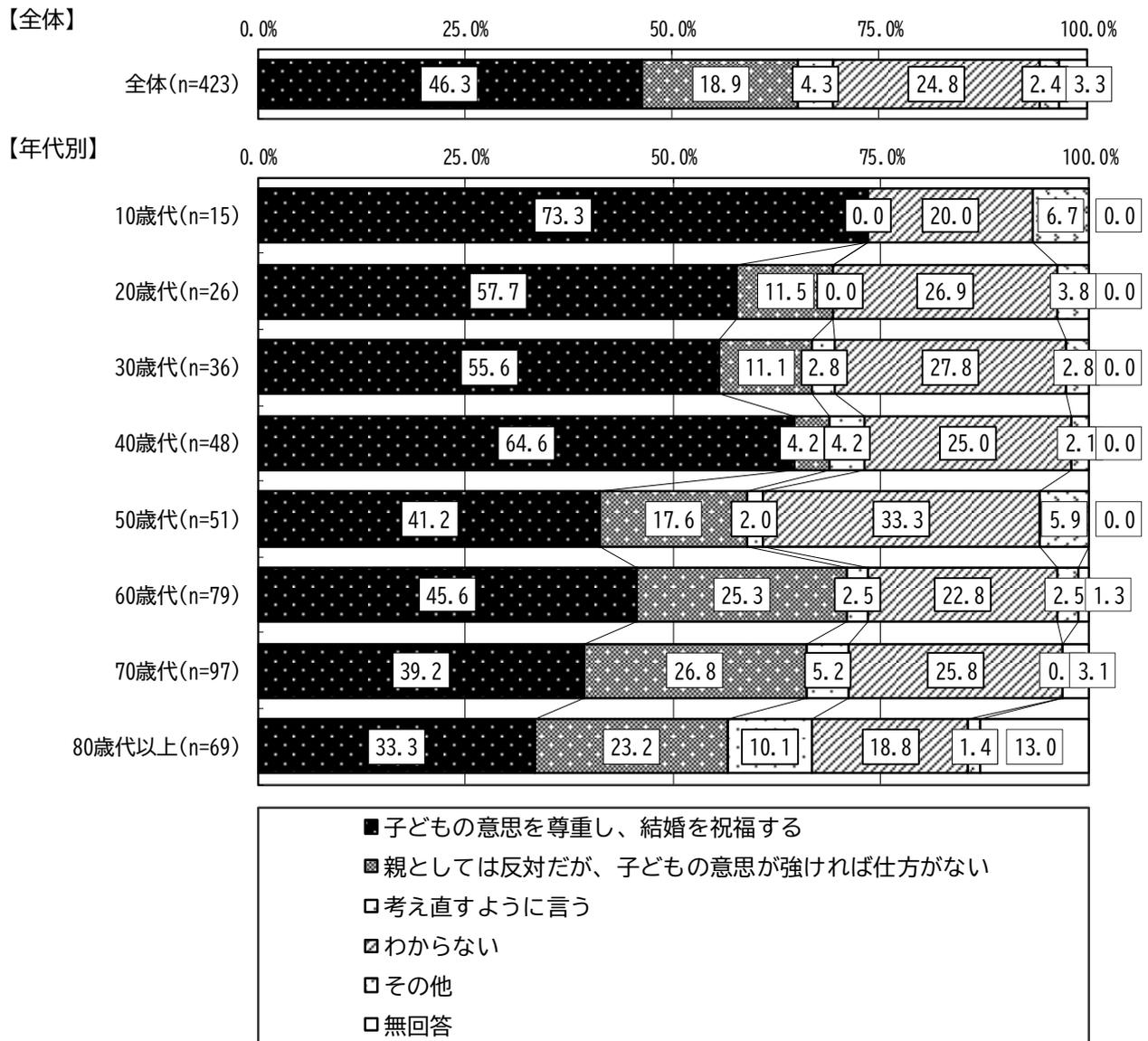
(): 回答数 ※太字は上位3つ(「その他」・「無回答」を除く)、下線は最上位

【複数回答】	全体 (490)	10歳代 (15)	20歳代 (28)	30歳代 (36)	40歳代 (54)	50歳代 (62)	60歳代 (93)	70歳代 (110)	80歳代 以上 (90)
地域社会(自治会等)で学んだ	14.1	0.0	0.0	2.8	3.7	11.3	14.0	23.6	22.2
学校で学んだ	4.5	<u>73.3</u>	10.7	0.0	3.7	3.2	0.0	0.0	4.4
職場や各種団体で学んだ	9.4	0.0	7.1	11.1	14.8	11.3	14.0	9.1	2.2
市役所や地域総合センターで行われる講演会や研修会で学んだ	4.5	0.0	0.0	0.0	3.7	3.2	5.4	3.6	10.0
インターネットで学んだ	4.1	0.0	7.1	0.0	7.4	8.1	5.4	1.8	2.2
広報紙や啓発冊子・チラシなどで学んだ	9.8	0.0	7.1	0.0	9.3	9.7	9.7	13.6	12.2
学んだことはない	<u>48.6</u>	20.0	<u>64.3</u>	<u>86.1</u>	<u>57.4</u>	<u>51.6</u>	<u>47.3</u>	<u>41.8</u>	<u>35.6</u>
その他	0.8	6.7	3.6	0.0	0.0	1.6	0.0	0.9	0.0
無回答	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	5.5	11.1

問13 あなたのお子さんの結婚しようとする相手が同和地区の人と分かった場合、あなたはどうしますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

「子どもの意思を尊重し、結婚を祝福する」が46.3%と最も多く、次いで「わからない」が24.8%、「親としては反対だが、子どもの意思が強ければ仕方がない」が18.9%となっている。

年代別では、どの年代も「子どもの意思を尊重し、結婚を祝福する」が最も多く、40歳代以下で5割を超えている。



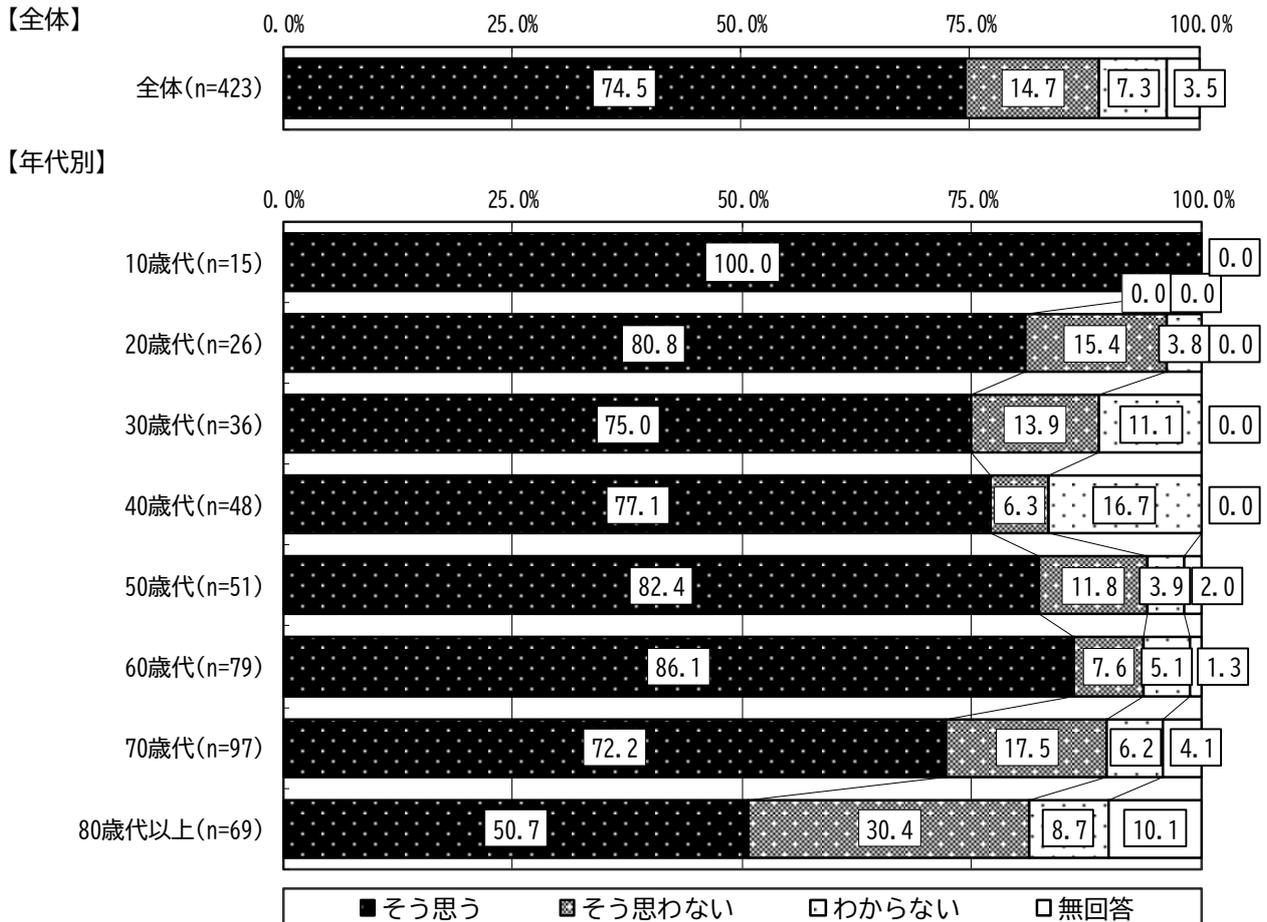
問14 あなたは、次の話を読んで、Aさん、Bさんそれぞれの発言についてどう思いましたか。(○はそれぞれ1つ)

ふだん仲のよい近所の人たちが数人、なごやかに立ち話をしていました。そんな時、Aさんが「昨日、うちの子どもが遊びに連れてきた子、とてもいい子でね。住んでいるところを聞くと、同和地区なの。とてもあの地区の子とは思えなかったわ。」と言いました。するとBさんが「でも、あの地区には、遊びに行かせないほうが、いいわよ。なにかトラブルがあったら、たいへんよ。」と言い、ほかの人も「ほんとにねえ。」とあいづちをうっていました。

① Aさんの発言は差別である

「そう思う」が74.5%と最も多く、次いで「そう思わない」が14.7%、「わからない」が7.3%となっている。

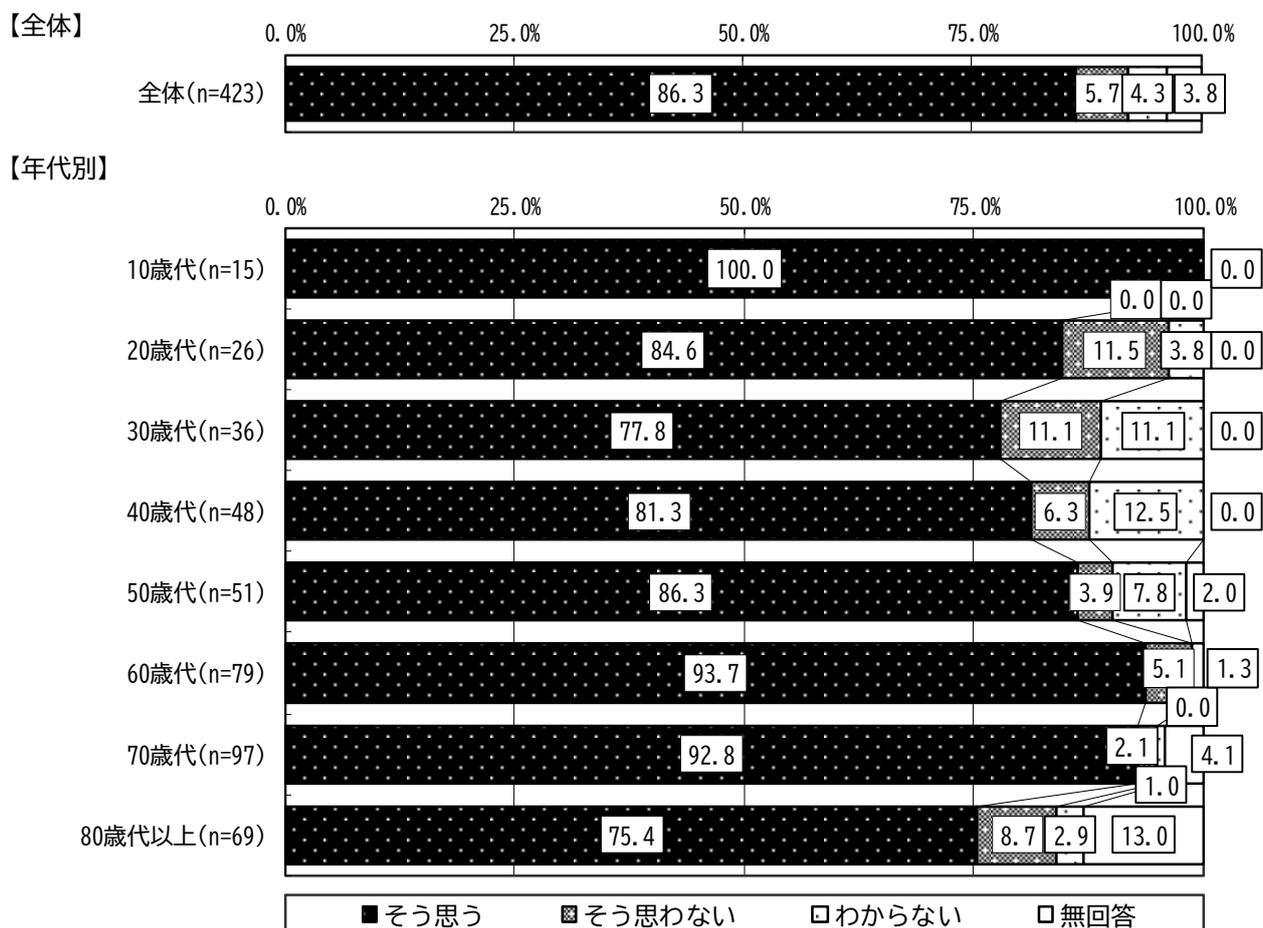
年代別では、70歳代以下は「そう思う」が最も多く7割を超えている。



② Bさんの発言は差別である

「そう思う」が86.3%と最も多く、次いで「そう思わない」が5.7%、「わからない」が4.3%となっている。

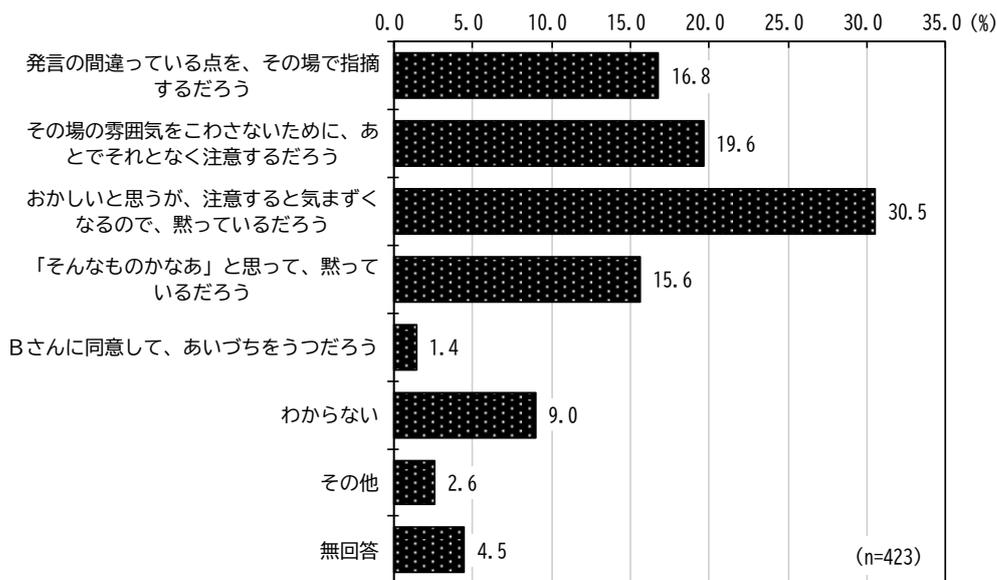
年代別では、どの年代も「そう思う」が最も多く約8割、10歳代、60歳代、70歳代で9割を超えている。



③ あなたがもし、その場にいたとすると、どういう態度をとると思いますか。
 もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

「おかしいと思うが、注意すると気まづくなるので、黙っているだろう」が30.5%（129件）と最も多く、次いで「その場の雰囲気をごわさないために、あとでそれとなく注意するだろう」が19.6%（83件）、「発言の間違っている点を、その場で指摘するだろう」が16.8%（71件）と続いている。

【全体】



回答数：423

年代別では、20歳代は「そんなものかなあ」と思って、黙っているだろう」が最も多く、その他年代は概ね全体と同様の傾向となっている。

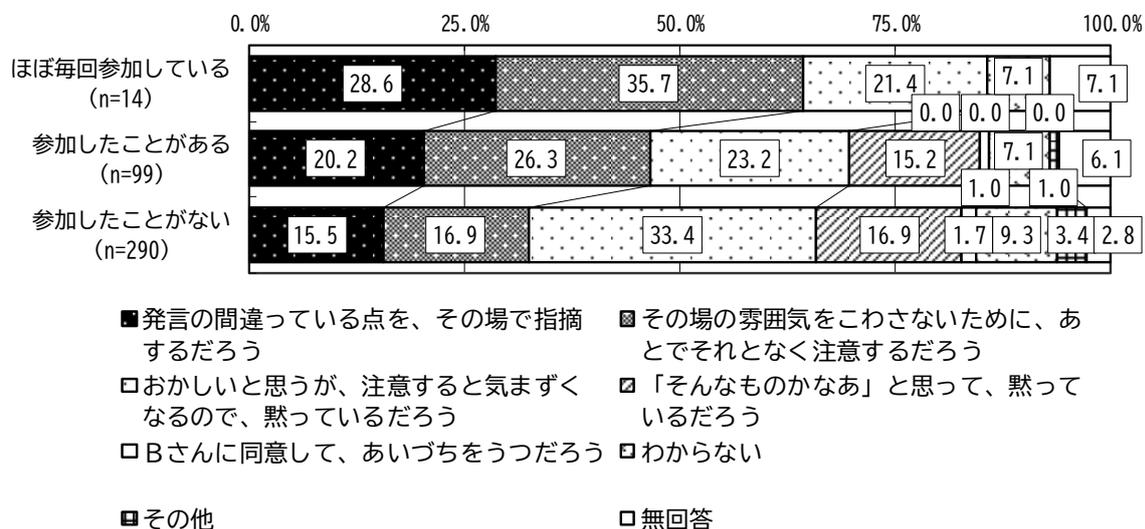
【年代別】

(): 回答数 ※太字は上位3つ（「その他」・「無回答」を除く）、下線は最上位

	全体 (423)	10歳代 (15)	20歳代 (26)	30歳代 (36)	40歳代 (48)	50歳代 (51)	60歳代 (79)	70歳代 (97)	80歳代以上 (69)
発言の間違っている点を、その場で指摘するだろう	16.8	26.7	3.8	5.6	18.8	9.8	19.0	23.7	15.9
その場の雰囲気をごわさないために、あとでそれとなく注意するだろう	19.6	20.0	15.4	8.3	10.4	27.5	15.2	20.6	31.9
おかしいと思うが、注意すると気まづくなるので、黙っているだろう	30.5	26.7	30.8	38.9	33.3	25.5	40.5	28.9	20.3
「そんなものかなあ」と思って、黙っているだろう	15.6	6.7	34.6	16.7	29.2	19.6	8.9	11.3	11.6
Bさんに同意して、あいづちをうつだろう	1.4	0.0	0.0	8.3	2.1	0.0	1.3	1.0	0.0
わからない	9.0	6.7	15.4	11.1	6.3	11.8	7.6	8.2	8.7
その他	2.6	13.3	0.0	8.3	0.0	3.9	3.8	1.0	0.0
無回答	4.5	0.0	0.0	2.8	0.0	2.0	3.8	5.2	11.6

人権研修会の参加状況別では、人権研修会へよく参加している人は「発言の間違っている点を、その場で指摘するだろう」「その場の雰囲気をこわさないために、あとでそれとなく注意するだろう」の割合が高くなっている。参加したことがない人は「おかしいと思うが、注意すると気まずくなるので、黙っているだろう」が33.4%と最も多くなっている。

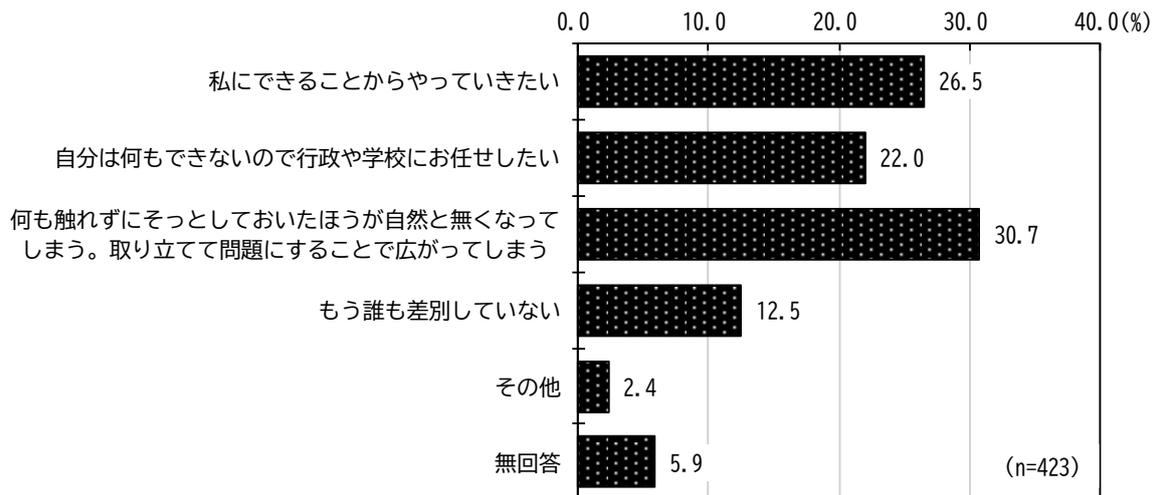
【人権研修会の参加状況別】



問15 同和問題（部落差別問題）の解決に向けて、あなたの考えにもっとも近いもの1つに○をつけてください。

「何も触れずにそっとしておいたほうが自然と無くなってしまふ。取り立てて問題にすることで広がってしまう」が30.7%（130件）と最も多く、次いで「私にできることからやっていきたい」が26.5%（112件）、「自分は何もできないので行政や学校にお任せしたい」が22.0%（93件）と続いている。

【全体】



回答数：423

年代別では、10歳代、60歳代は「私にできることからやっていきたい」が、20歳代、50歳代は「自分は何もできないので行政や学校にお任せしたい」が、その他の年代は「何も触れずにそっとしておいたほうが自然と無くなってしまふ。取り立てて問題にすることで広がってしまう」が最も多くなっている。

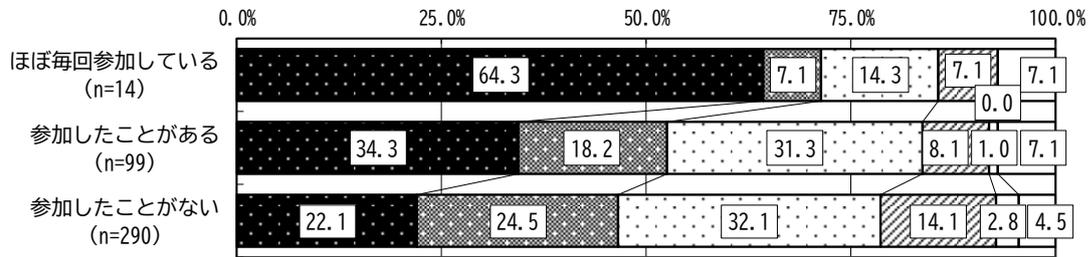
【年代別】

(): 回答数 ※太字は上位3つ（「その他」・「無回答」を除く）、下線は最上位

	全体 (423)	10歳代 (15)	20歳代 (26)	30歳代 (36)	40歳代 (48)	50歳代 (51)	60歳代 (79)	70歳代 (97)	80歳代 以上 (69)
私にできることからやっていきたい	26.5	40.0	11.5	16.7	29.2	27.5	35.4	28.9	18.8
自分は何もできないので行政や学校にお任せしたい	22.0	33.3	30.8	22.2	22.9	31.4	27.8	15.5	11.6
何も触れずにそっとしておいたほうが自然と無くなってしまふ。取り立てて問題にすることで広がってしまう	30.7	20.0	26.9	33.3	33.3	29.4	25.3	30.9	37.7
もう誰も差別していない	12.5	6.7	23.1	13.9	6.3	7.8	7.6	16.5	15.9
その他	2.4	0.0	3.8	8.3	8.3	2.0	1.3	0.0	0.0
無回答	5.9	0.0	3.8	5.6	0.0	2.0	2.5	8.2	15.9

人権研修会の参加状況別では、人権研修会へよく参加している人は「私にできることからやっていきたい」の割合が高くなっている。参加したことがない人は「何も触れずにそっとしておいたほうが自然と無くなってしまふ。取り立てて問題にすることで広がってしまう」が32.1%と最も多くなっている。

【人権研修会の参加状況別】



- 私にできることからやっていきたい
- 自分は何もできないので行政や学校にお任せしたい
- 何も触れずにそっとしておいたほうが自然と無くなってしまふ。取り立てて問題にすることで広がってしまう
- もう誰も差別していない
- その他
- 無回答

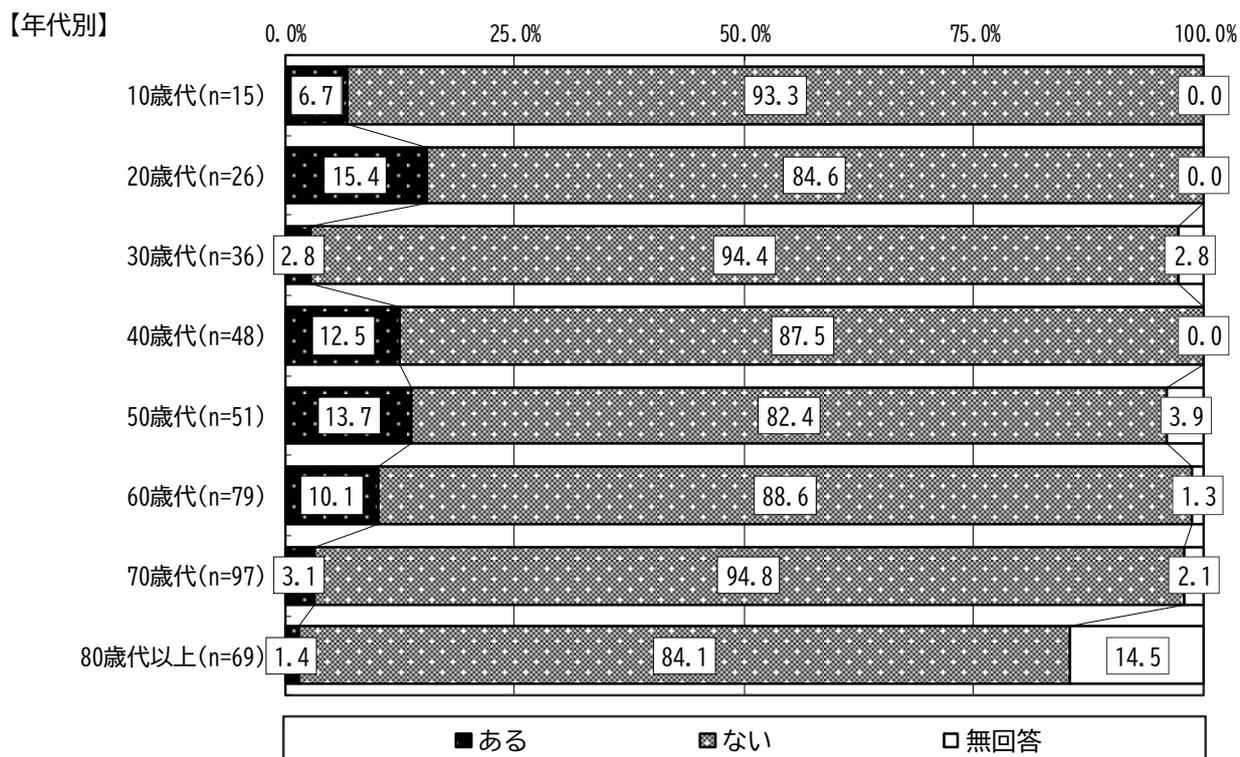
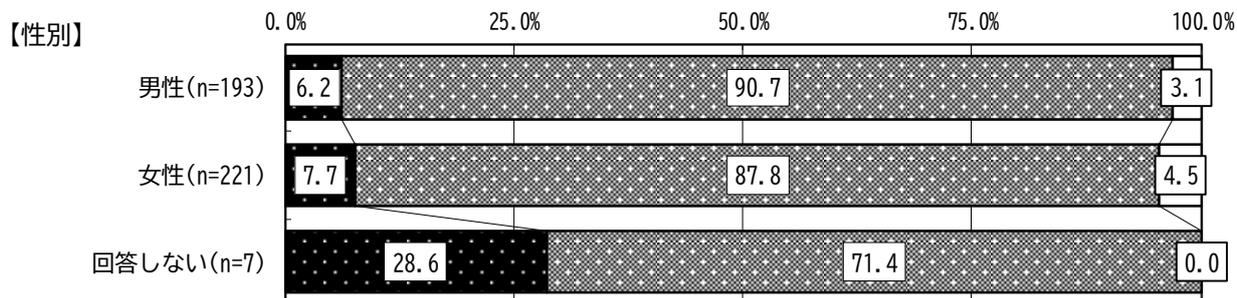
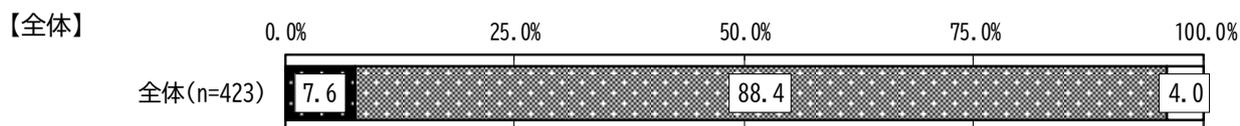
4 人権侵害の経験について

問16 この3年以内に、あなたご自身が人権侵害を受けたことはありますか。

「ある」と答えた割合が7.6%、「ない」が88.4%となっている。

性別では、男性は「ある」が6.2%、「ない」が90.7%、女性は「ある」が7.7%、「ない」が87.8%、回答しないは「ある」が28.6%、「ない」が71.4%となっている。

年代別では、20歳代、40歳代から60歳代で「ある」と答えた割合が1割を超えており、20歳代が15.4%と最も多くなっている。

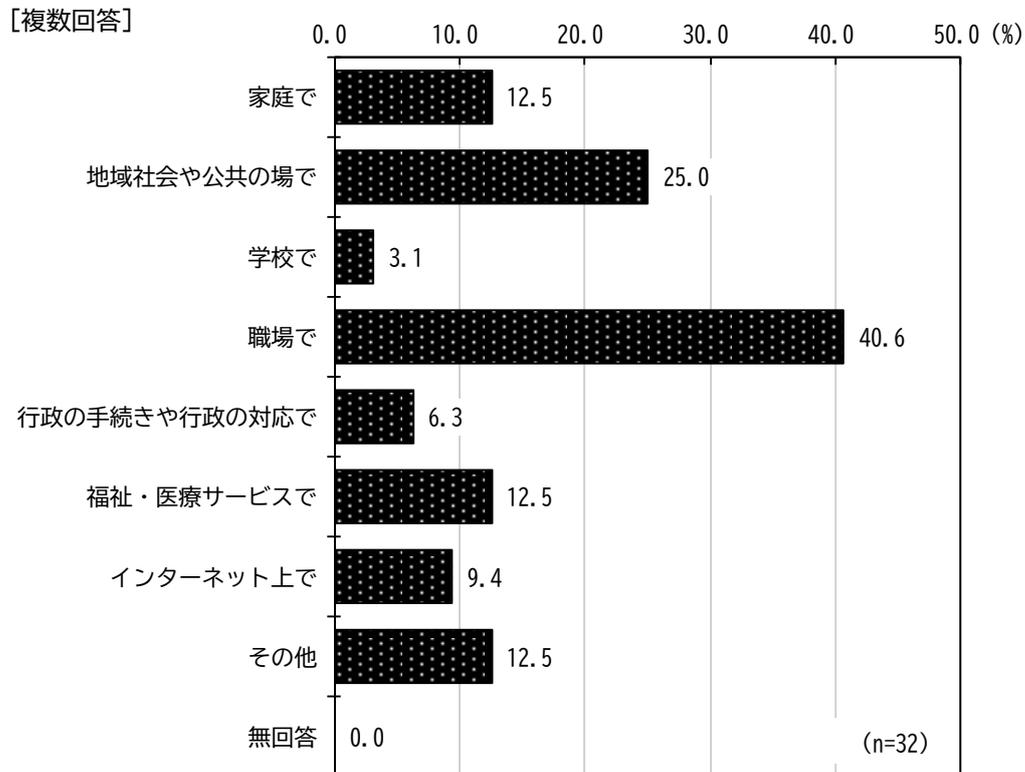


問16-1 問16で、「ある」に○をつけた方のみお答えください。

あなたが受けた人権侵害はどのような場面ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「職場で」が40.6%（13件）と最も多く、次いで「地域社会や公共の場で」が25.0%（8件）と続いている。

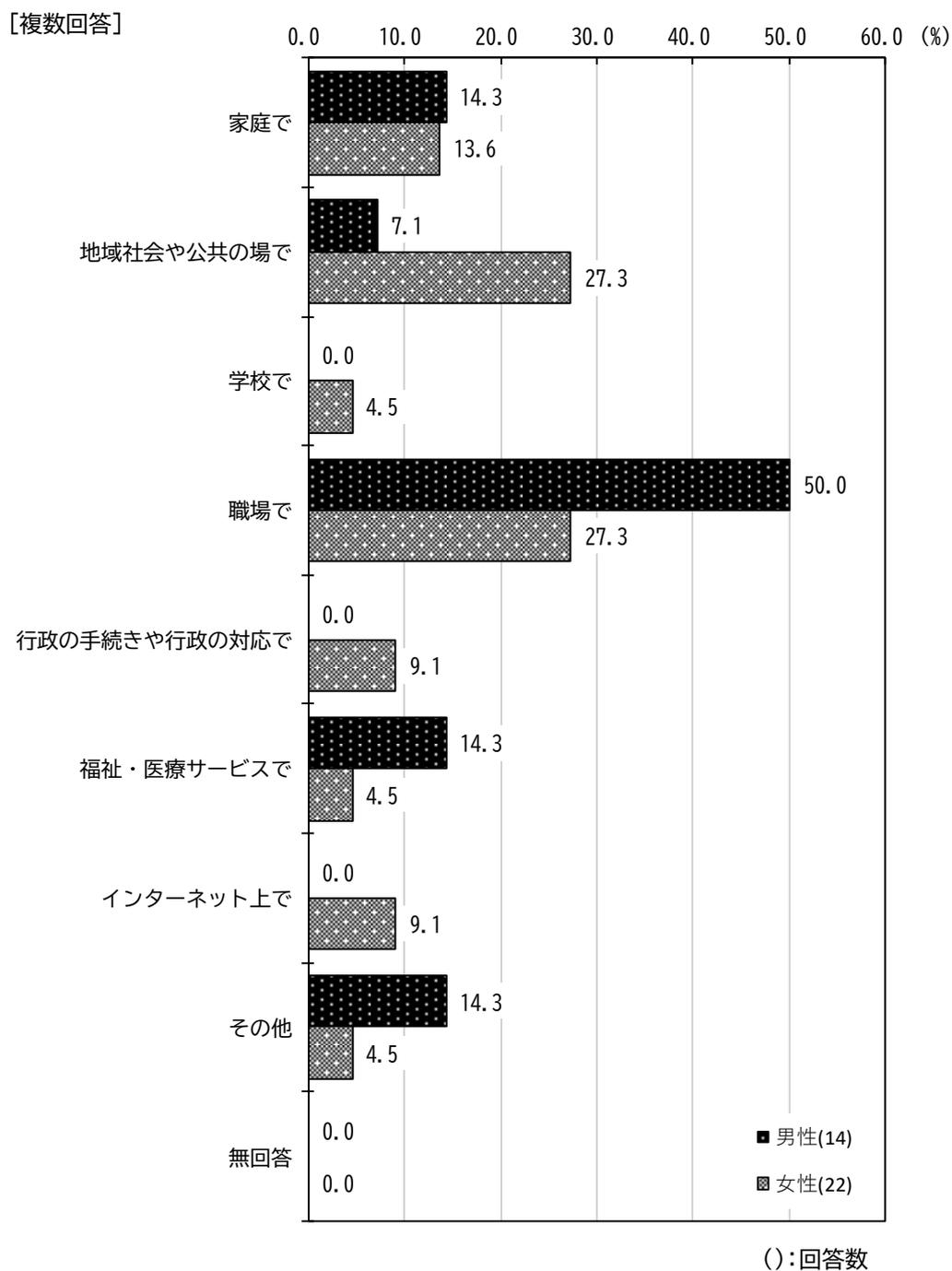
【全体】



回答数：40

性別では、男性は「職場で」が50.0%、女性は「地域社会や公共の場で」「職場で」ともに27.3%と最も多くなっている。

【性別】



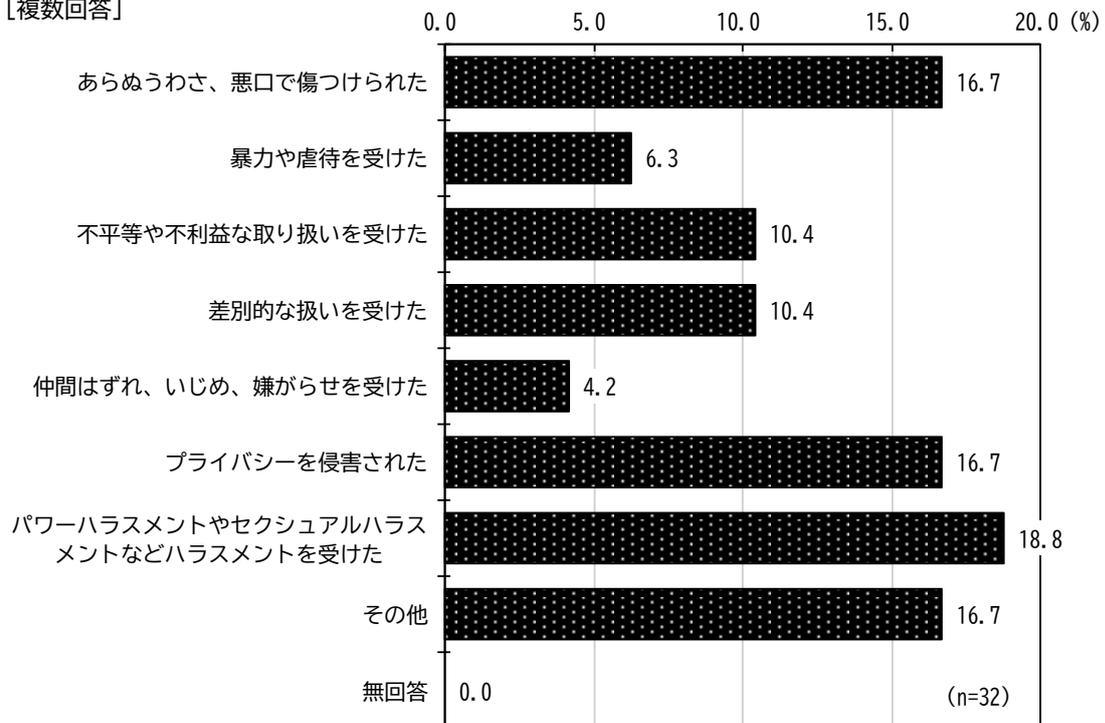
問16-2 問16で、「ある」に○をつけた方のみお答えください。

あなたが受けた人権侵害はどのような内容ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「パワーハラスメントやセクシュアルハラスメントなどハラスメントを受けた」が18.8%（9件）と最も多くなっている。

【全体】

〔複数回答〕

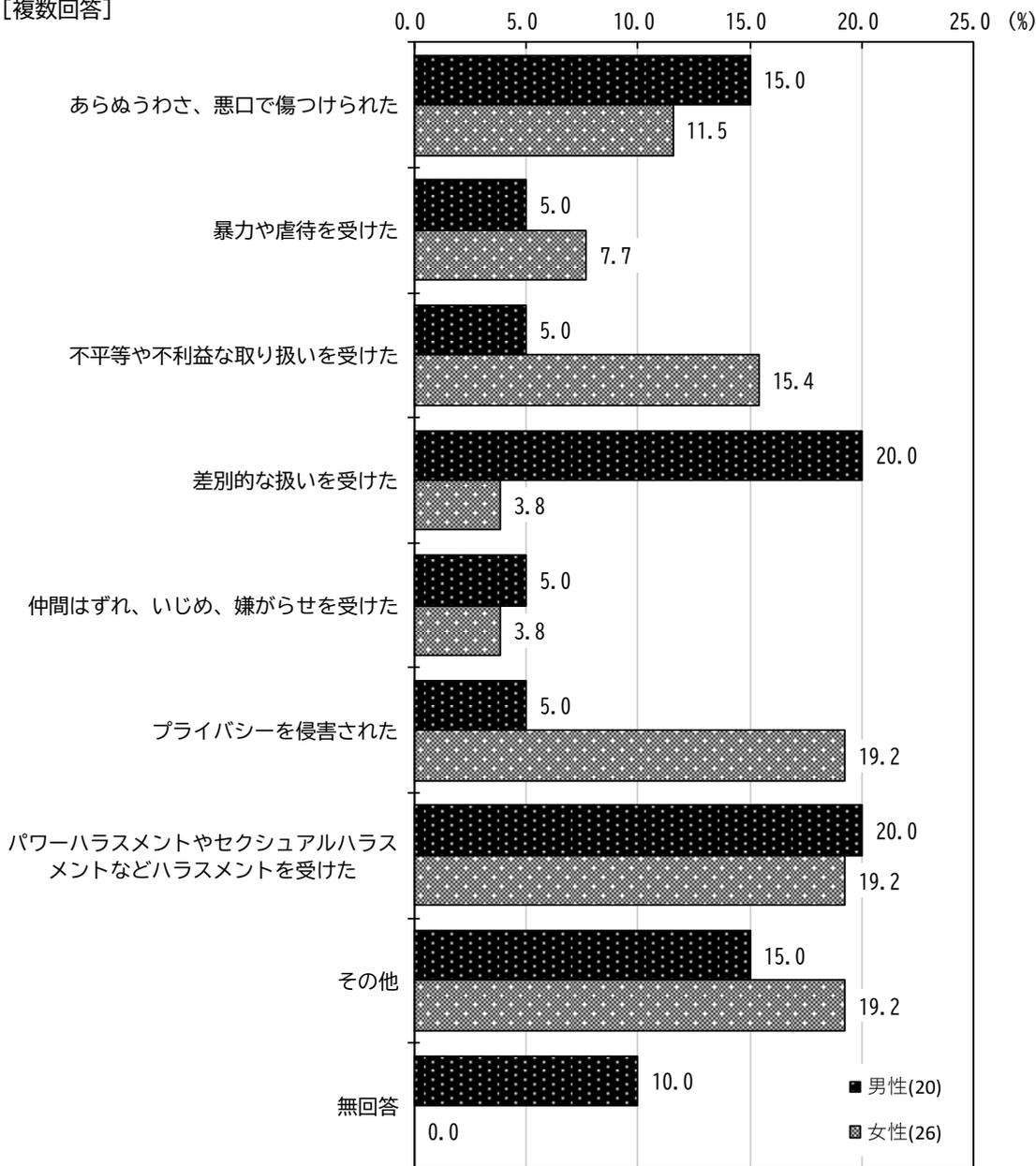


回答数：48

性別では、男性は「差別的な扱いを受けた」「パワーハラスメントやセクシュアルハラスメントなどハラスメントを受けた」が20.0%、女性は「プライバシーを侵害された」「パワーハラスメントやセクシュアルハラスメントなどハラスメントを受けた」「その他」が19.2%と最も多くなっている。

【性別】

[複数回答]



(): 回答数

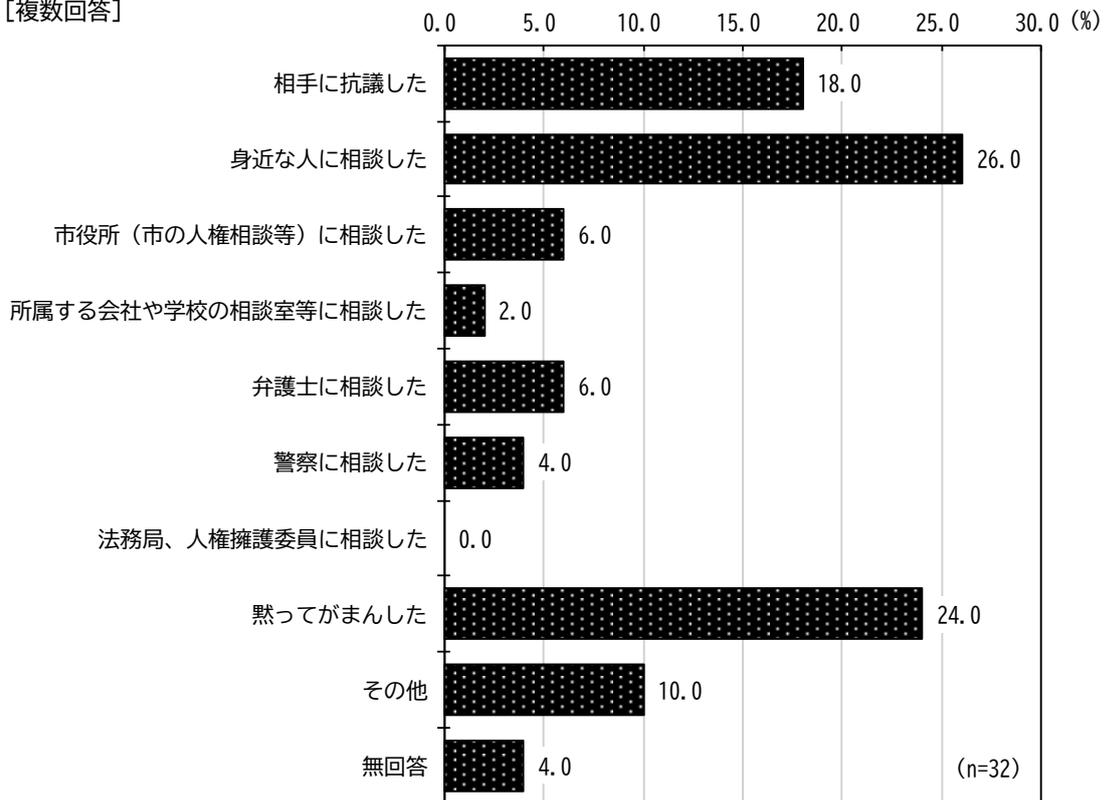
問16-3 問16で、「ある」に○をつけた方のみお答えください。

あなたは、人権侵害を受けたときどのような態度をとりましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「身近な人に相談した」が26.0%（13件）と最も多く、次いで「黙ってがまんした」が24.0%（12件）、「相手に抗議した」が18.0%（9件）と続いている。

【全体】

〔複数回答〕

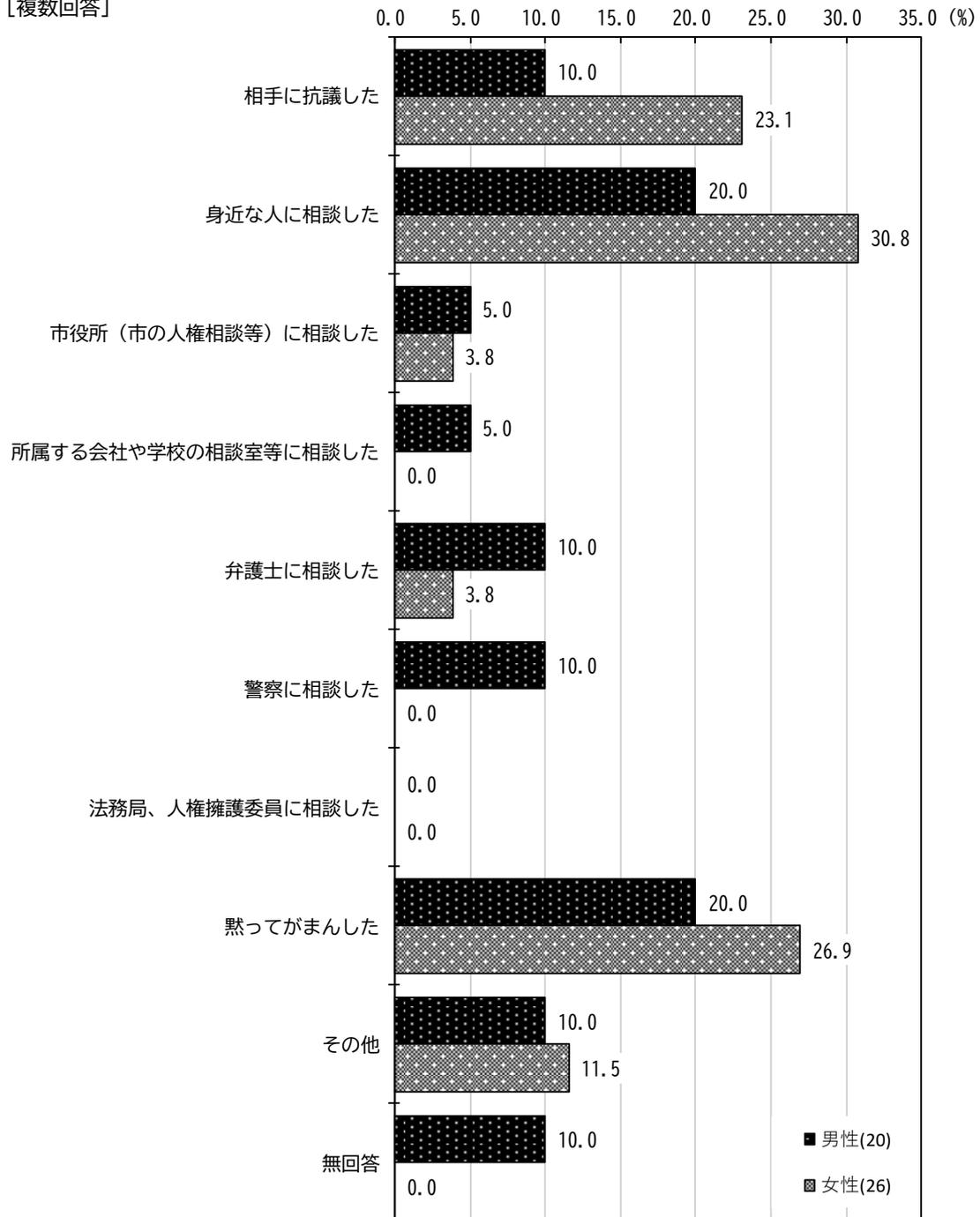


回答数：50

性別では、男性は「身近な人に相談した」「黙ってがまんした」が20.0%、女性は「身近な人に相談した」が30.8%と最も多くなっている。

【性別】

[複数回答]



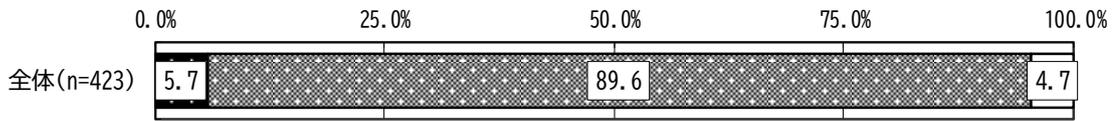
(): 回答数

問17 この3年以内に、あなたご自身が他人の人権を侵害したと思ったことはありますか。

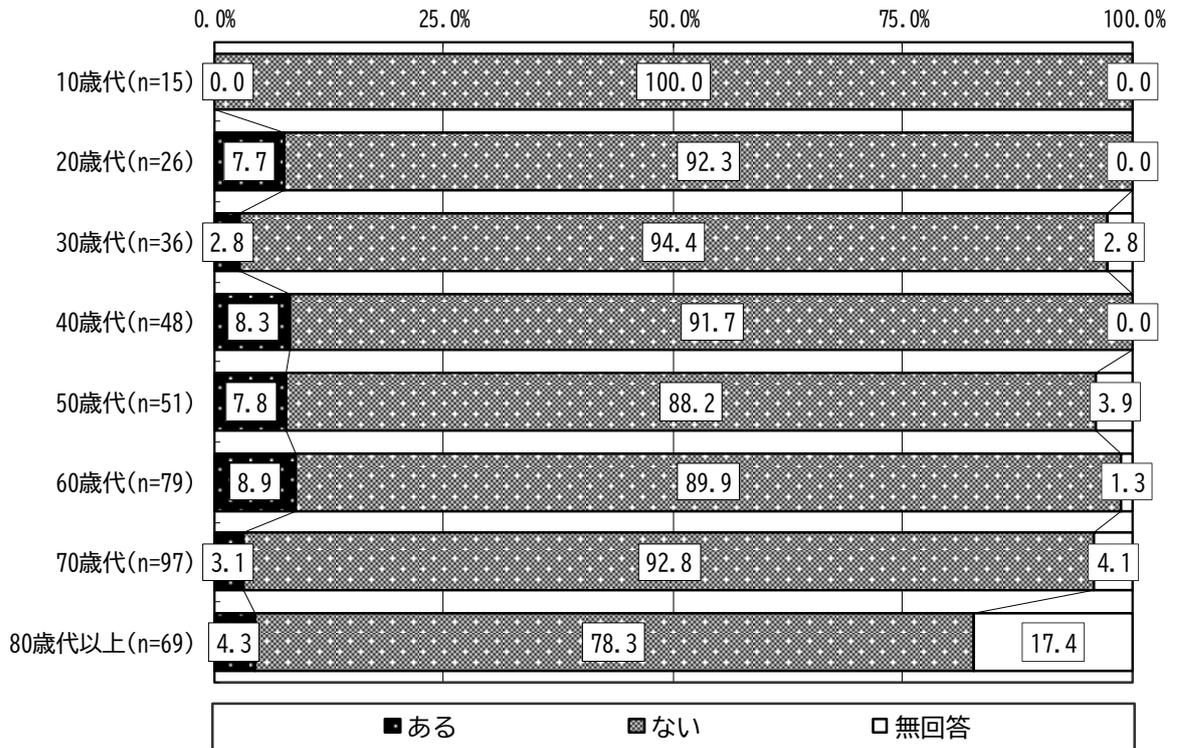
「ある」が5.7%、「ない」が89.6%となっている。

年代別では、どの年代も概ね全体と同様の傾向となっている。

【全体】



【年代別】



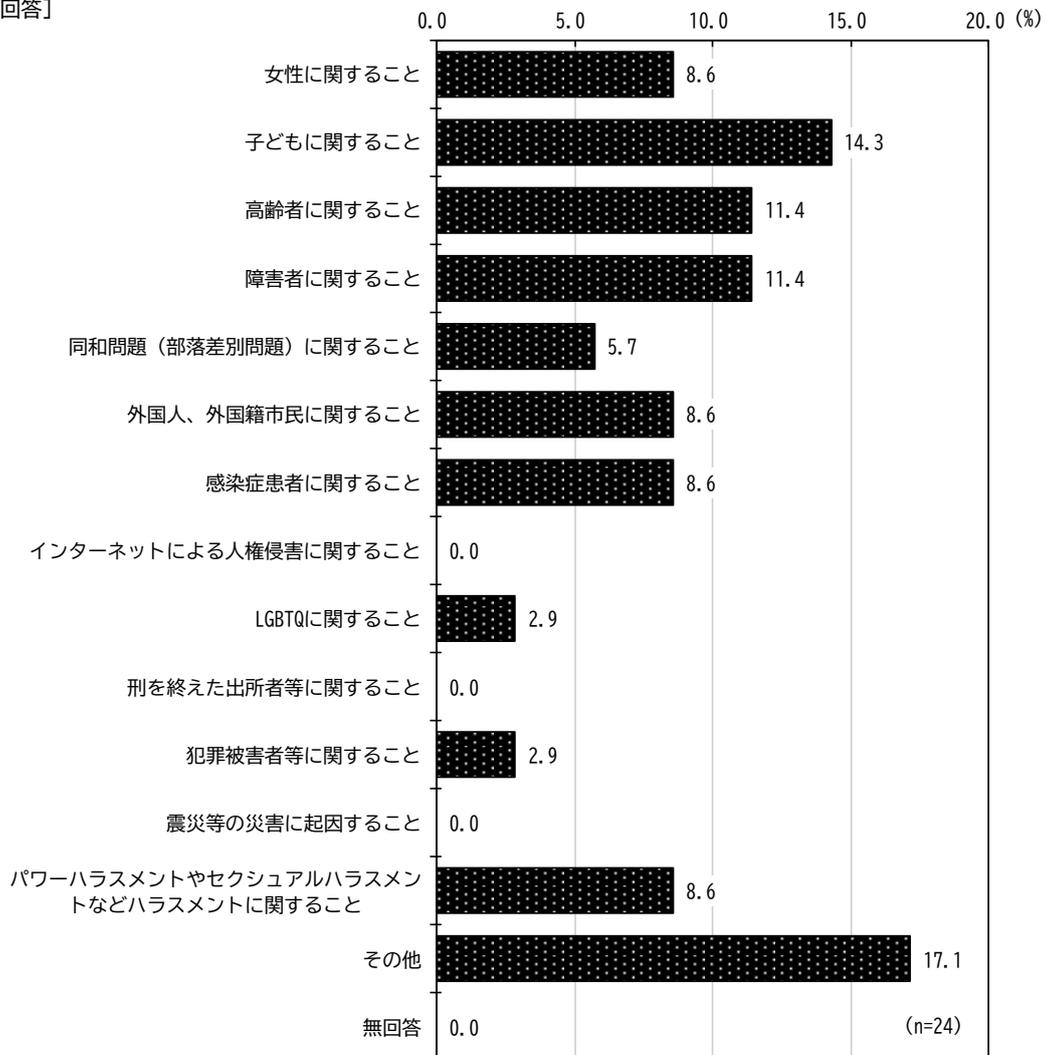
問17-1 問17で、「ある」に○をつけた方のみお答えください。

あなたは、どのような人権侵害をしたと思われますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「その他」が17.1%（6件）と最も多く、次いで「子どもに関すること」が14.3%（5件）と続いている。

【全体】

【複数回答】

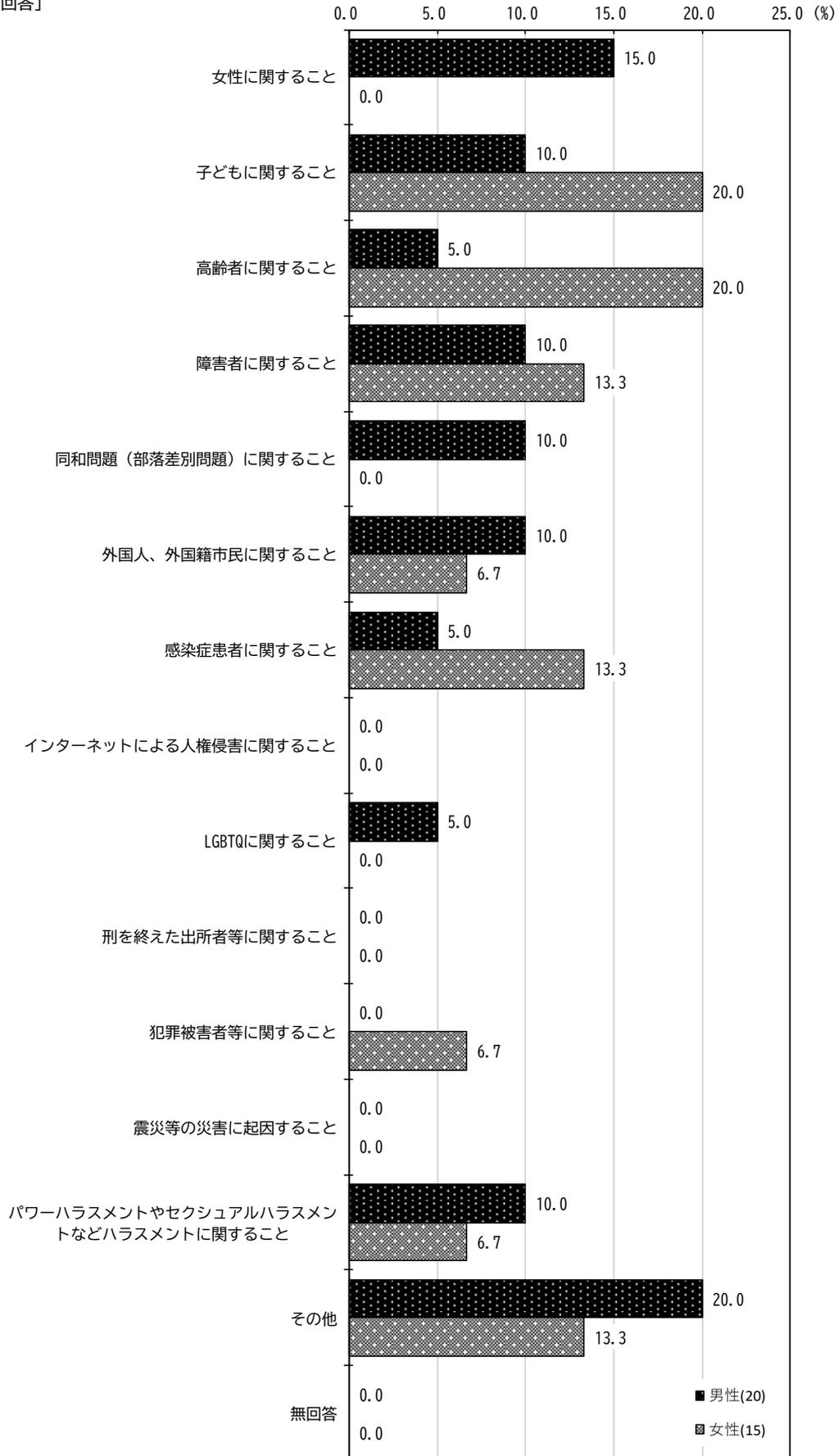


回答数：35

性別では、男性は「その他」が20.0%、女性は「子どもに関すること」「高齢者に関すること」が20.0%と最も多くなっている。

【性別】

[複数回答]



(): 回答数

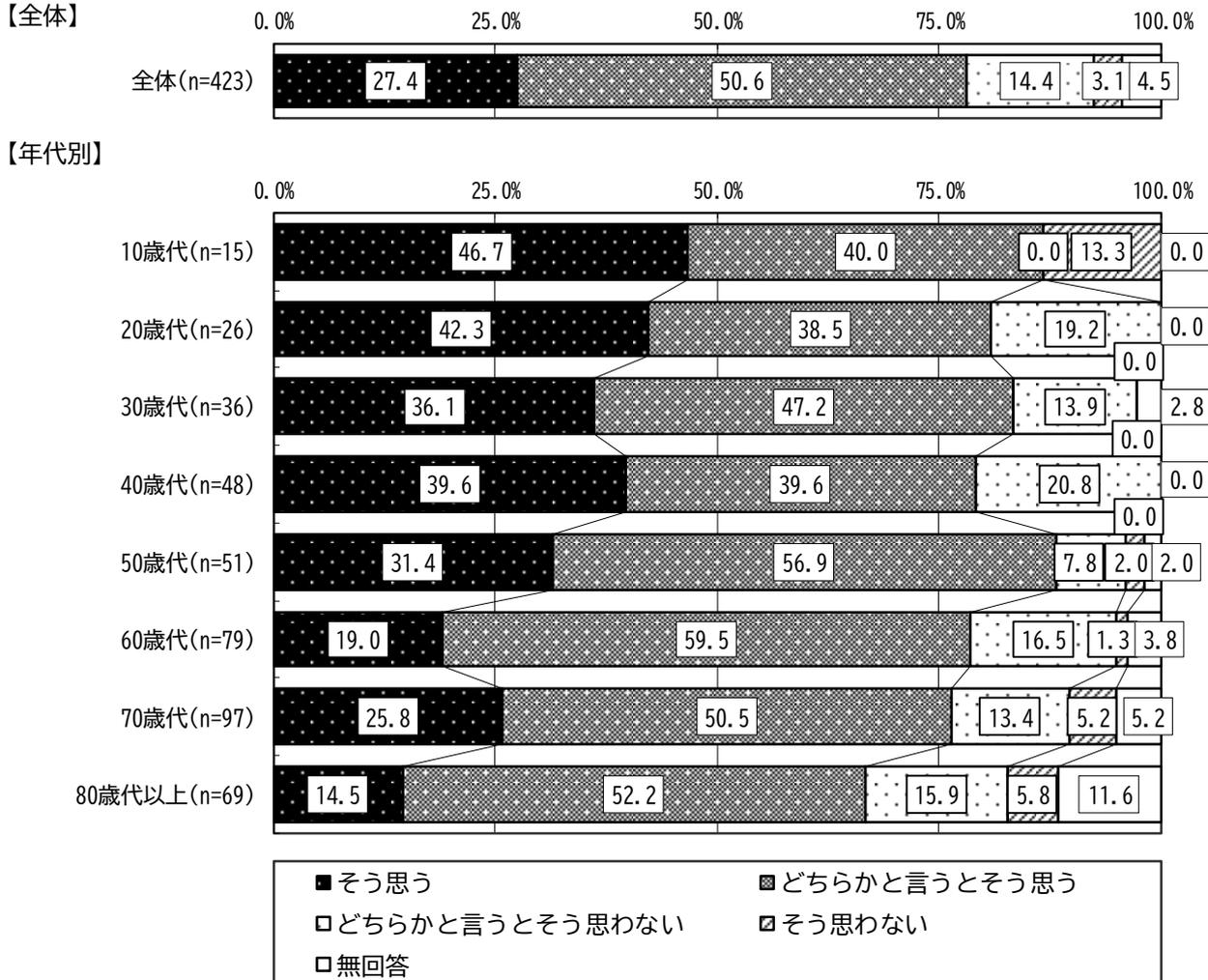
5 人権を守るために大切なことについて

問18 あなたはご自身のことを、どう思いますか。(○はそれぞれ1つ)

① 自分には、よいところがあると思う

「どちらかと言うとそう思う」と答えた割合が 50.6%と最も高く、次いで「そう思う」が 27.4%、「どちらかと言うとそう思わない」が 14.4%、「そう思わない」が 3.3%となっている。

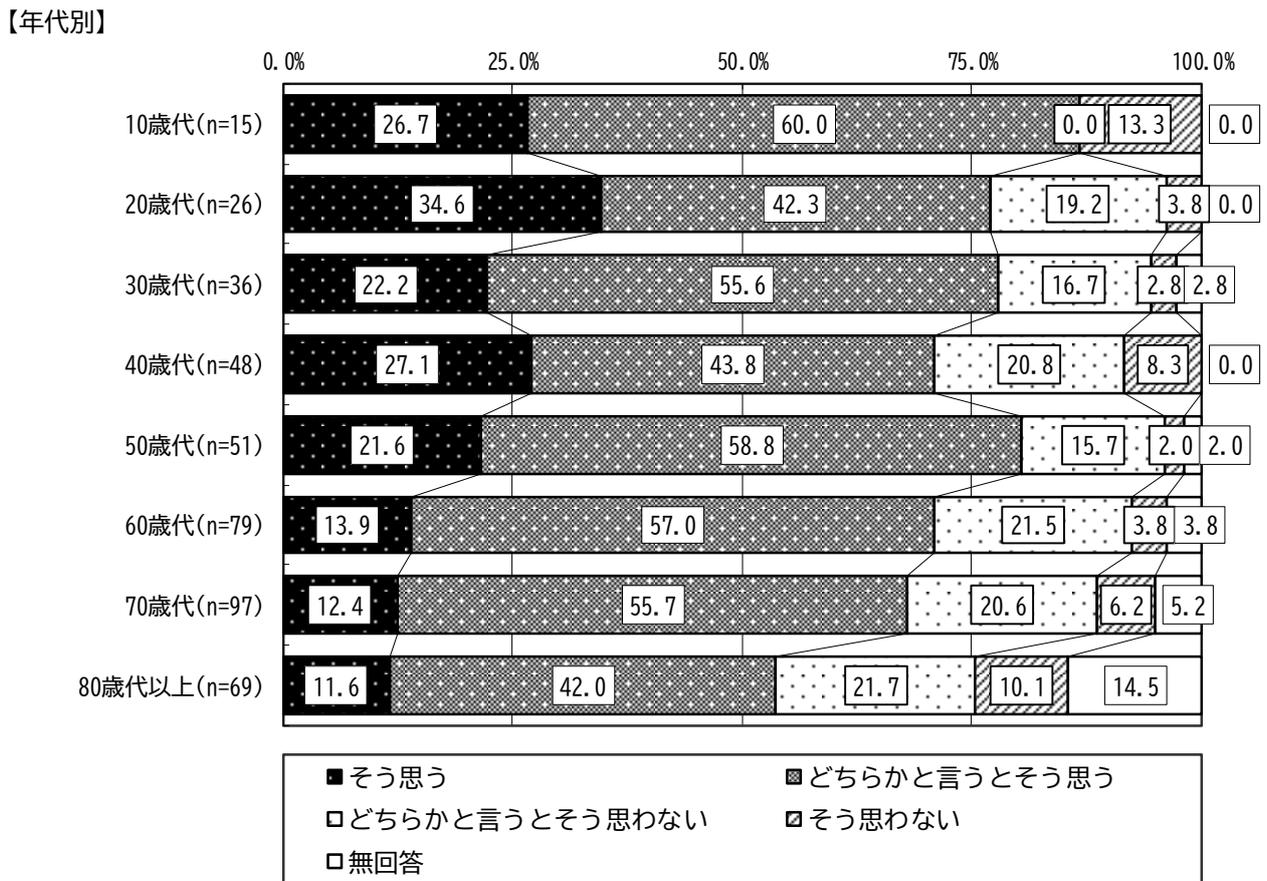
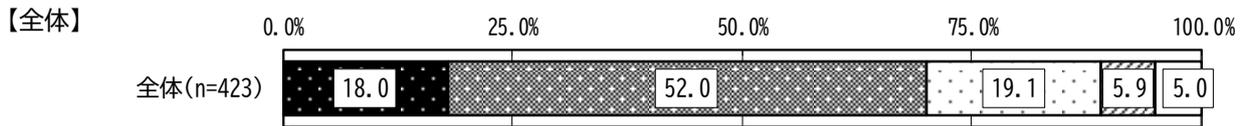
年代別では、10歳代、20歳代、40歳代は「そう思う」と答えた割合が最も高くなっている。(40歳代は「どちらかと言うとそう思う」と同率)



② 自分は、周りの人に役立っていると思う

「どちらかと言うとそう思う」と答えた割合が 52.0%と最も高く、次いで「どちらかと言うとそう思わない」が 19.1%、「そう思う」が 18.0%、「そう思わない」が 5.9%となっている。

年代別では、どの年代も「どちらかと言うとそう思う」と答えた割合が最も高く、次いで 50 歳代以下は「そう思う」が、60 歳代以上は「どちらかと言うとそう思わない」が高くなっている。

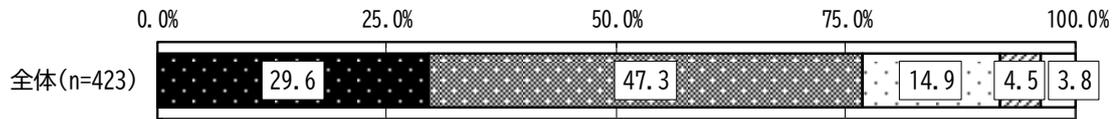


③ 自分には、信頼できる人が周りにたくさんいると思う

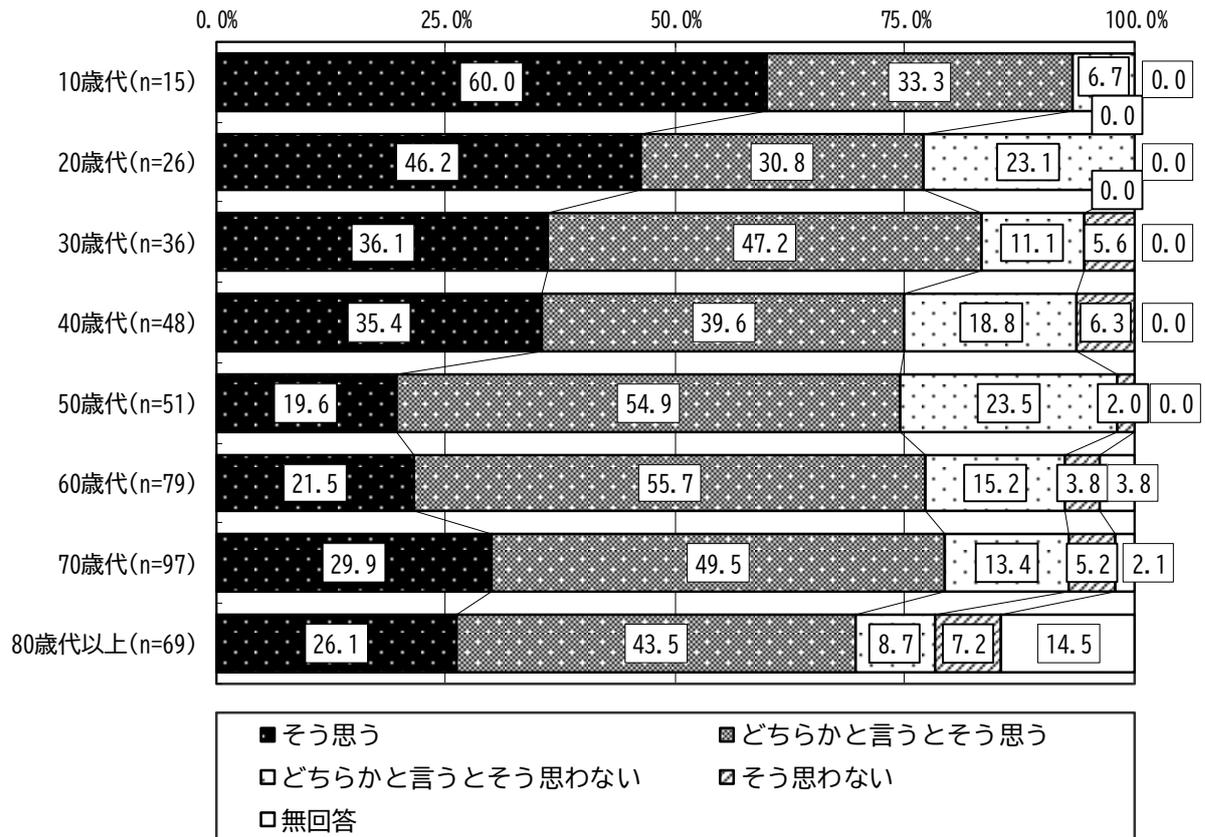
「どちらかと言うとそう思う」と答えた割合が 47.3%と最も高く、次いで「そう思う」が 29.6%、「どちらかと言うとそう思わない」が 14.9%、「そう思わない」が 4.5%となっている。

年代別では、10歳代、20歳代は「そう思う」が、その他の年代は「どちらかと言うとそう思う」と答えた割合が最も高くなっている。

【全体】



【年代別】



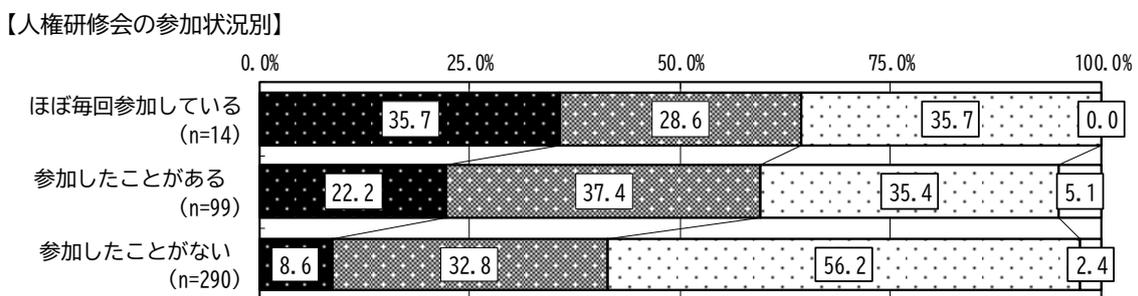
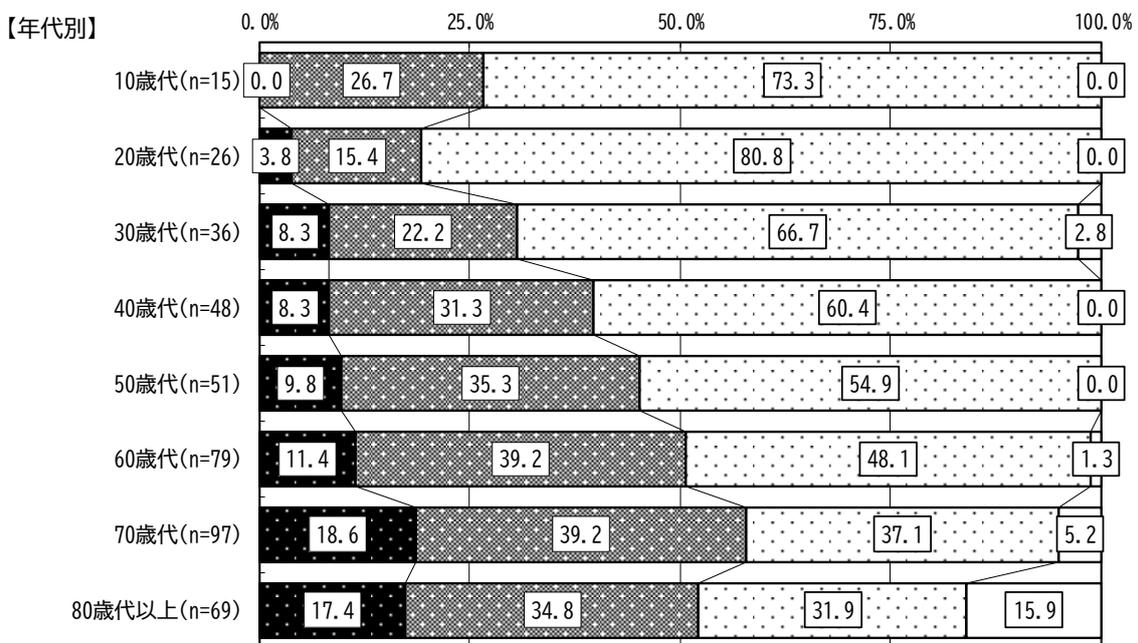
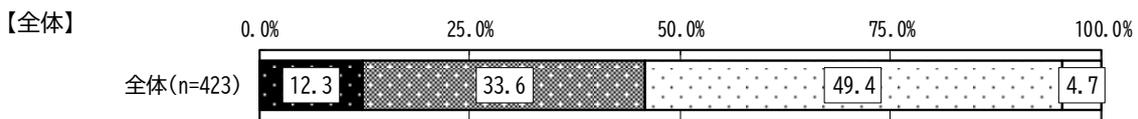
問19 私たちの人権を守る取り組みが進められています。あなたは、①～⑦までの人権にかかわる法律等についてご存知ですか。(〇はそれぞれ1つ)

① 同和対策審議会答申(この答申で、部落差別の解消は「国民的な課題であり」、「国の責務である」と明記された。)

「知らない」と答えた割合が49.4%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが内容までは知らない」が33.6%、「知っている」が12.3%となっている。

年代別では、60歳代以下は「知らない」が、70歳代以上は「聞いたことはあるが内容までは知らない」と答えた割合が最も高くなっている。

人権研修会の参加状況別では、「知っている」と答えた割合は、「ほぼ毎回参加している」人では35.7%、「参加したことがない」人では8.6%となっている。



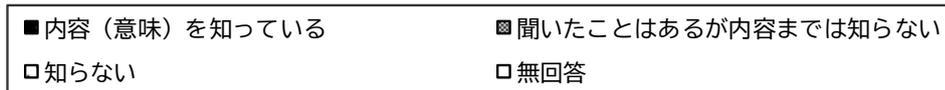
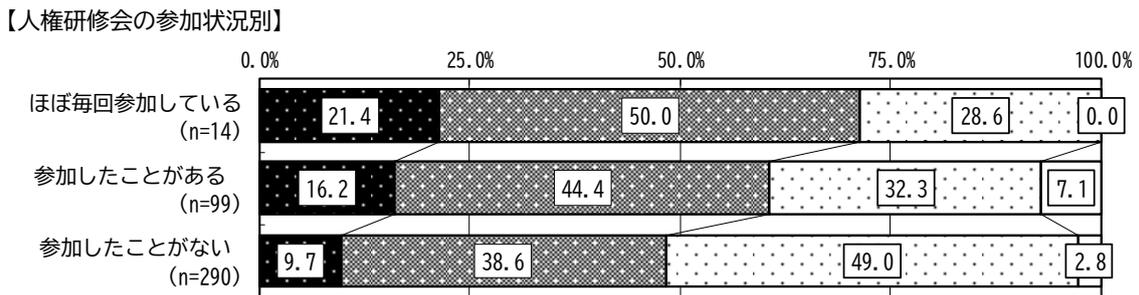
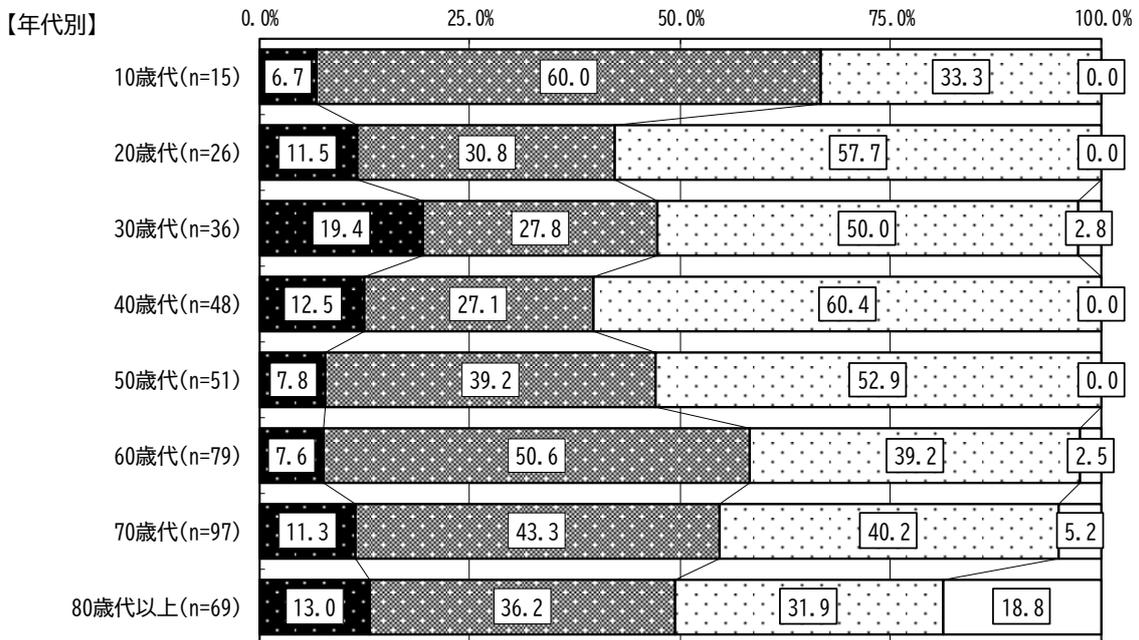
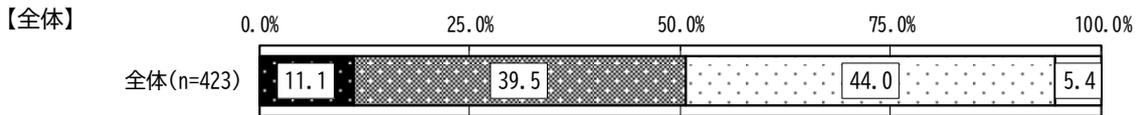
■ 内容(意味)を知っている ■ 聞いたことはあるが内容までは知らない
 □ 知らない □ 無回答

② 障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）

「知らない」と答えた割合が 44.0%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが内容までは知らない」が 39.5%、「知っている」が 11.1%となっている。

年代別では、10 歳代、60 歳代以上は「聞いたことはあるが内容までは知らない」が、その他の年代は「知らない」と答えた割合が最も高くなっている。

人権研修会の参加状況別では、「知っている」と答えた割合は、「ほぼ毎回参加している」人では 21.4%、「参加したことがない」人では 9.7%となっている。

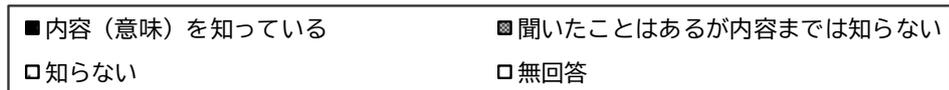
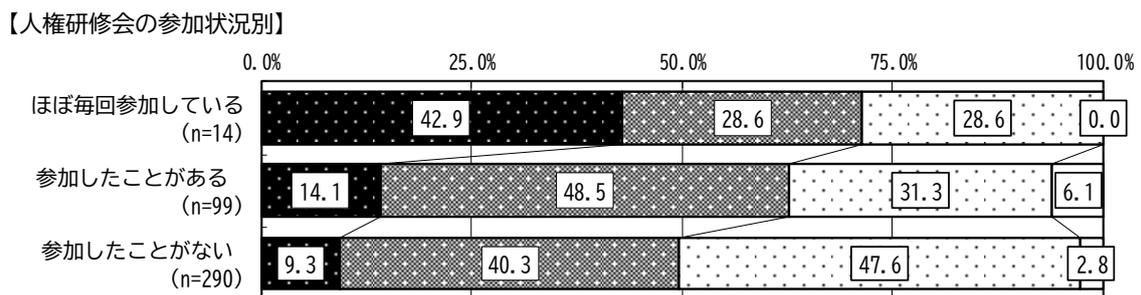
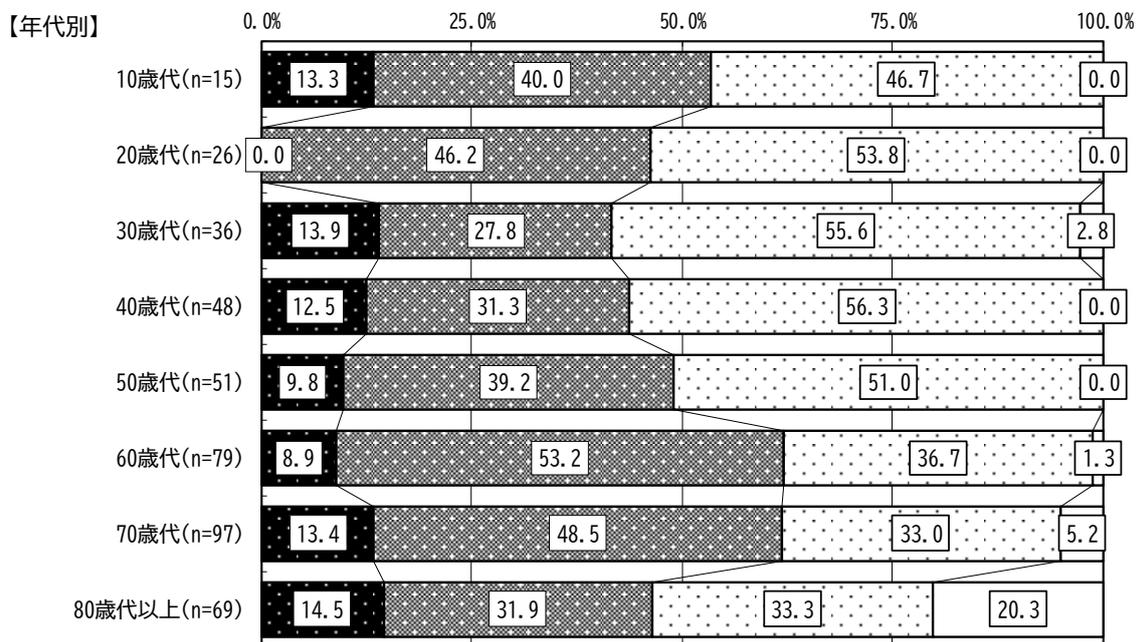
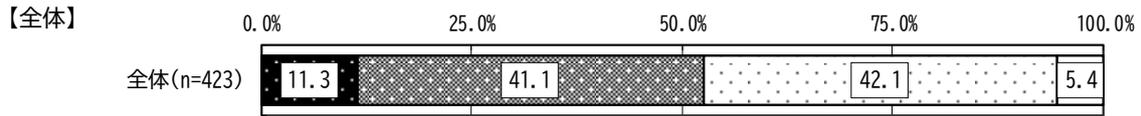


③ ハイトスピーチ解消法（本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律）

「知らない」と答えた割合が 42.1%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが内容までは知らない」が 41.1%、「知っている」が 11.3%となっている。

年代別では、60 歳代、70 歳代は「聞いたことはあるが内容までは知らない」が、その他の年代は「知らない」と答えた割合が最も高くなっている。

人権研修会の参加状況別では、「知っている」と答えた割合は、「ほぼ毎回参加している」人では 42.9%、「参加したことがない」人では 9.3%となっている。

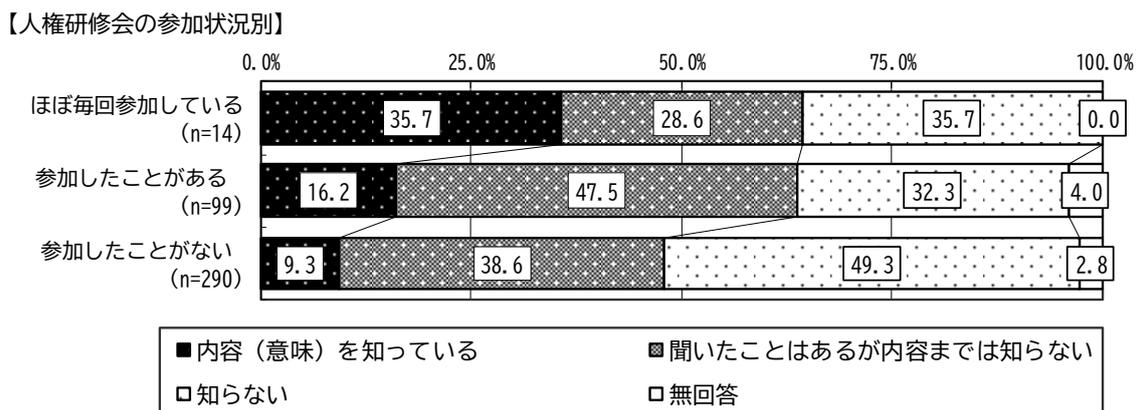
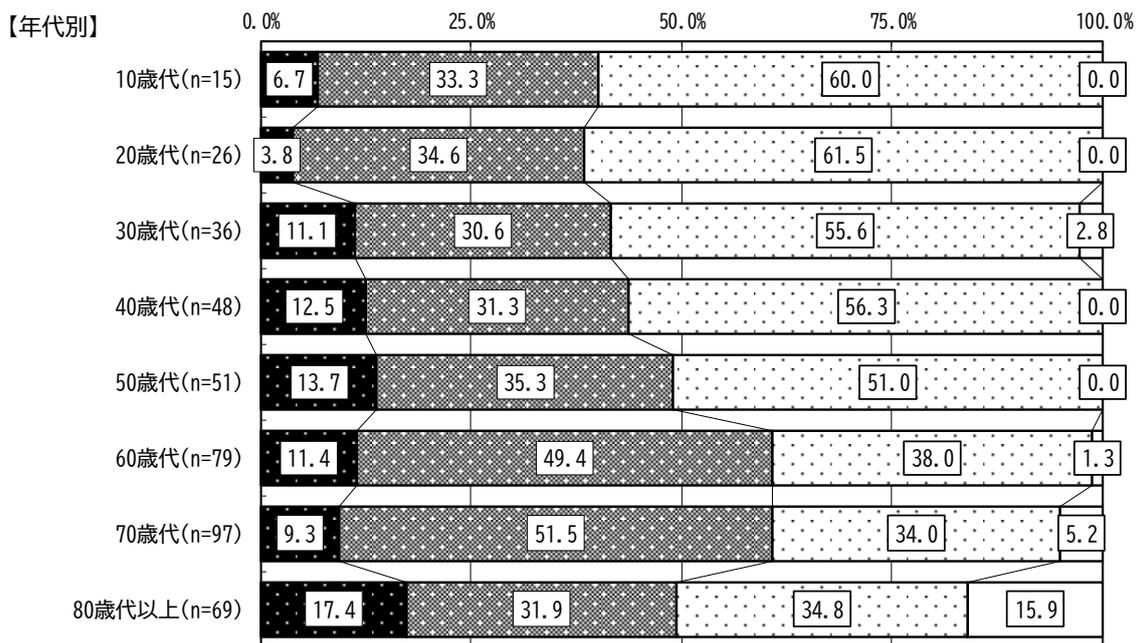
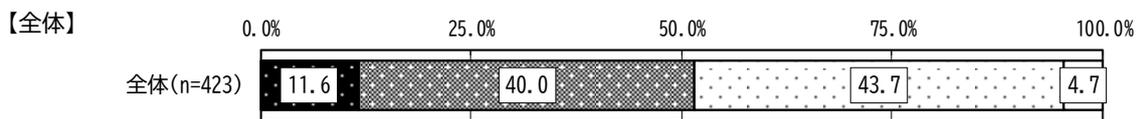


④ 部落差別解消推進法(部落差別の解消の推進に関する法律)

「知らない」と答えた割合が 43.7%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが内容までは知らない」が40.0%、「知っている」が11.6%となっている。

年代別では、60歳代、70歳代は「聞いたことはあるが内容までは知らない」が、その他の年代は「知らない」と答えた割合が最も高くなっている。

人権研修会の参加状況別では、「知っている」と答えた割合は、「ほぼ毎回参加している」人では35.7%、「参加したことがない」人では9.3%となっている。

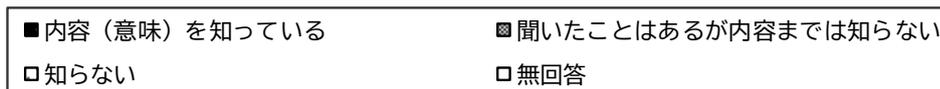
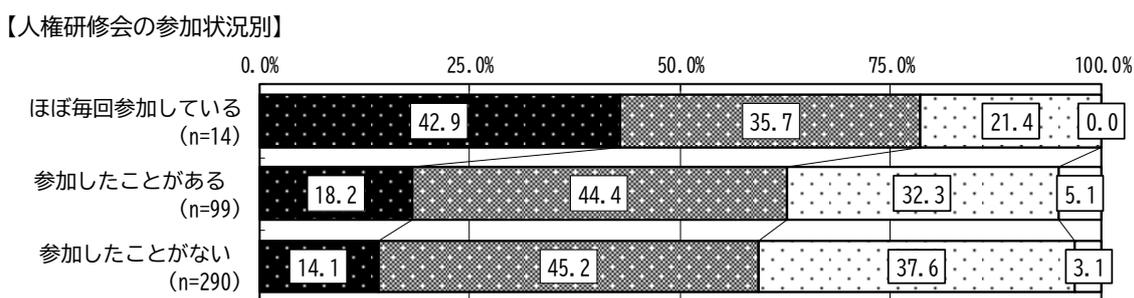
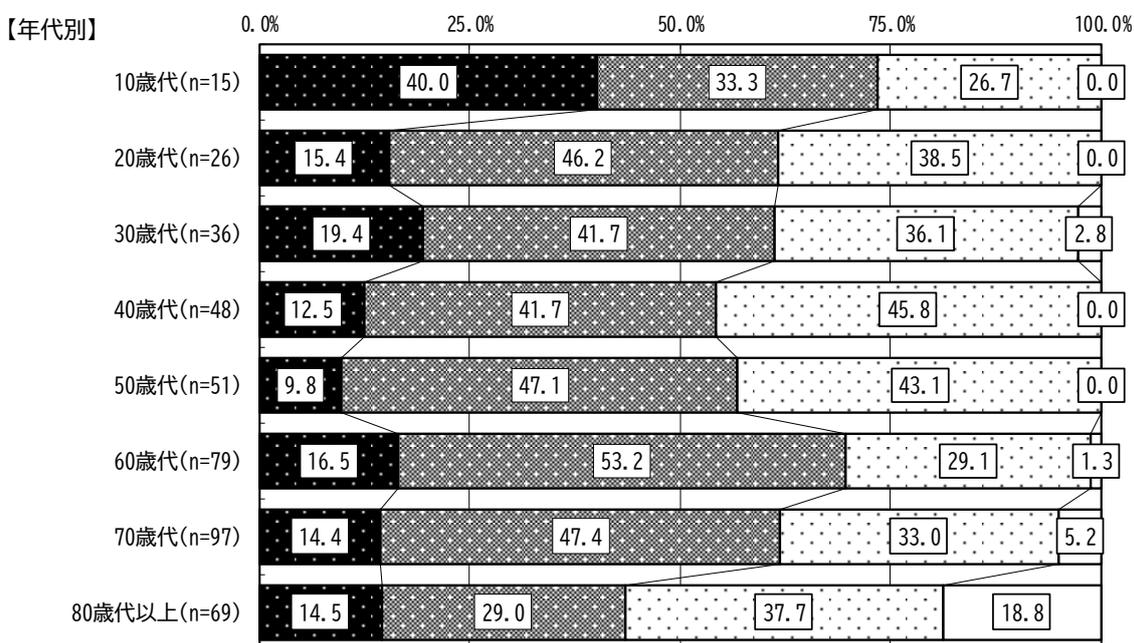
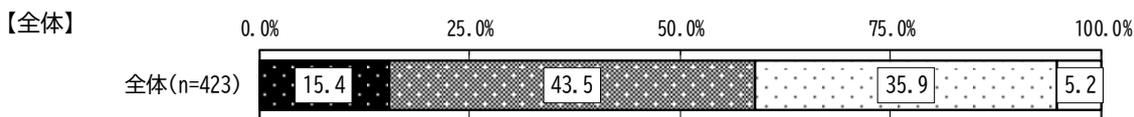


⑤ LGBT 理解増進法（性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律）

「聞いたことはあるが内容までは知らない」と答えた割合が 43.5%と最も高く、次いで「知らない」が 35.9%、「知っている」が 15.4%となっている。

年代別では、10 歳代は「知っている」が、40 歳代、80 歳代は「知らない」が、その他の年代は「聞いたことはあるが内容までは知らない」と答えた割合が最も高くなっている。

人権研修会の参加状況別では、「知っている」と答えた割合は、「ほぼ毎回参加している」人では 42.9%、「参加したことがない」人では 14.1%となっている。

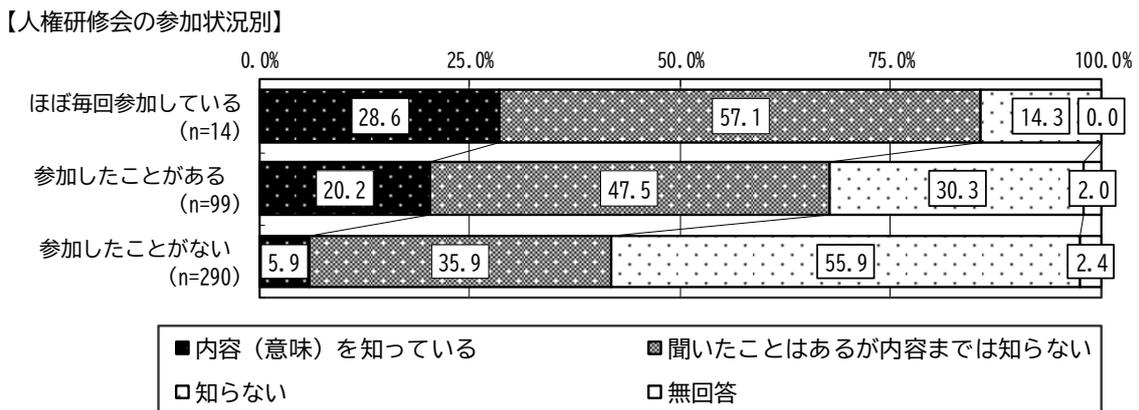
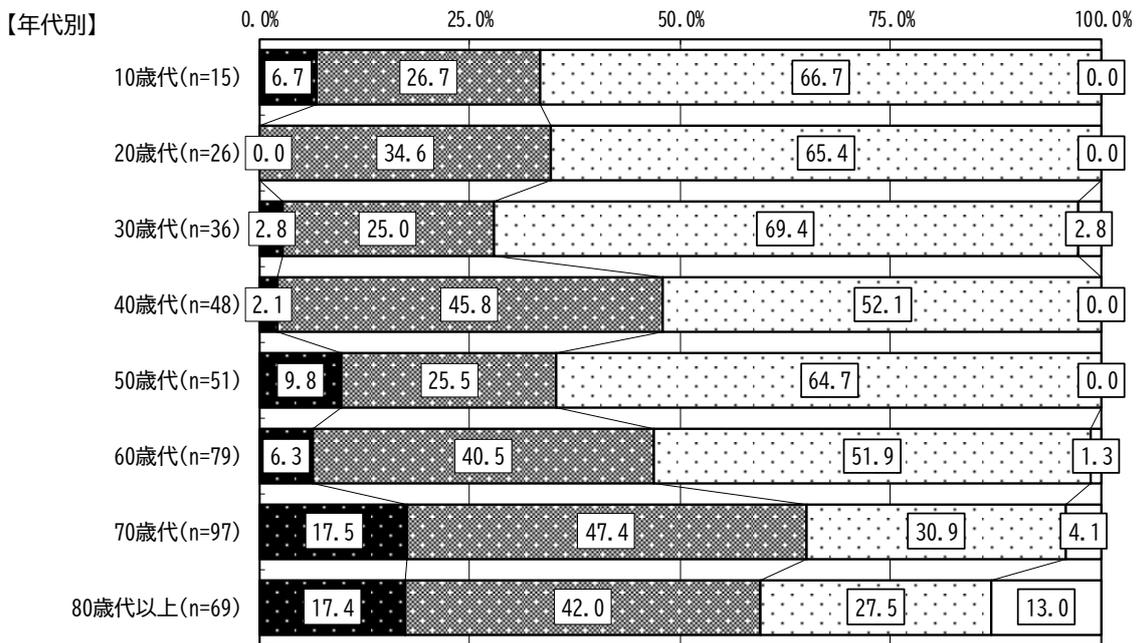
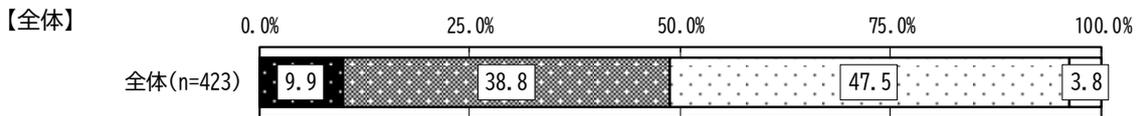


⑥ 守山市人権尊重のまちづくり条例

「知らない」と答えた割合が 47.5%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが内容までは知らない」が 38.8%、「知っている」が 9.9%となっている。

年代別では、60歳代以下は「知らない」が、70歳代以上は「聞いたことはあるが内容までは知らない」と答えた割合が最も高くなっている。

人権研修会の参加状況別では、「知っている」と答えた割合は、「ほぼ毎回参加している」人では 28.6%、「参加したことがない」人では 5.9%となっている。

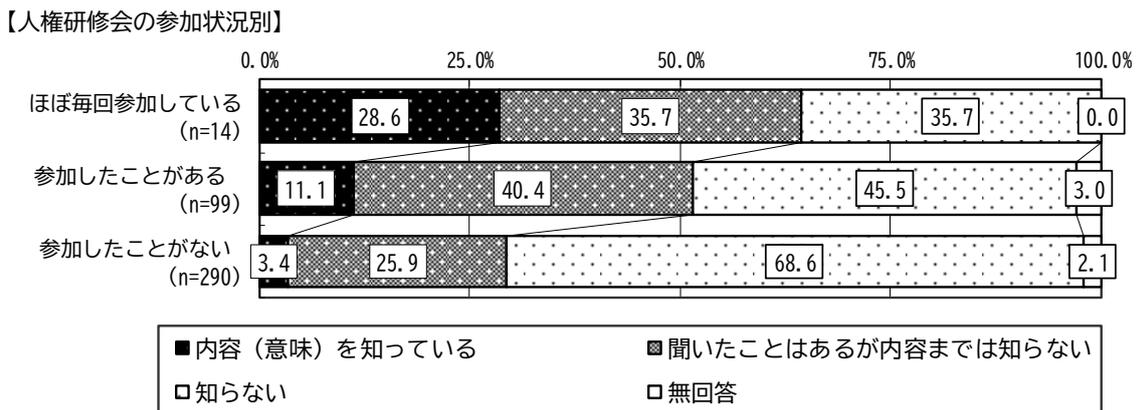
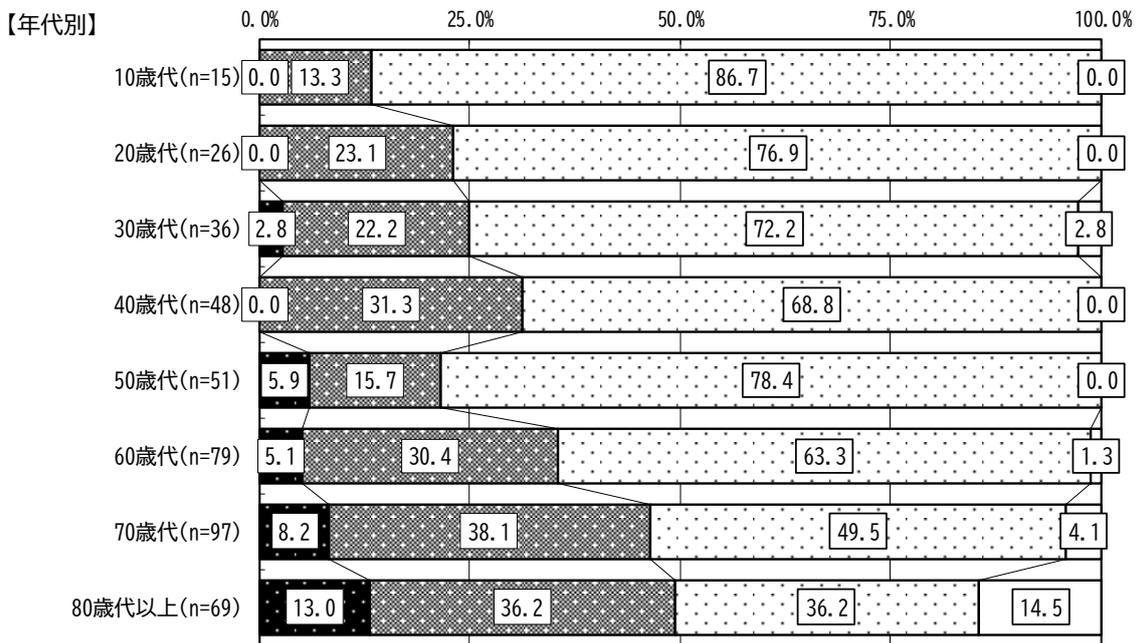
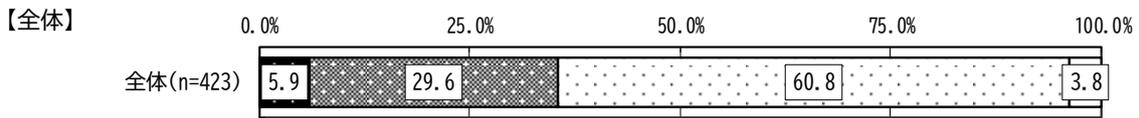


⑦ 第4次守山市人権尊重のまちづくり総合推進計画

「知らない」と答えた割合が 60.8%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが内容までは知らない」が 29.6%、「知っている」が 5.9%となっている。

年代別では、どの年代も「知らない」と答えた割合が最も高くなっている。(80歳代以上は「聞いたことはあるが内容までは知らない」と同率)

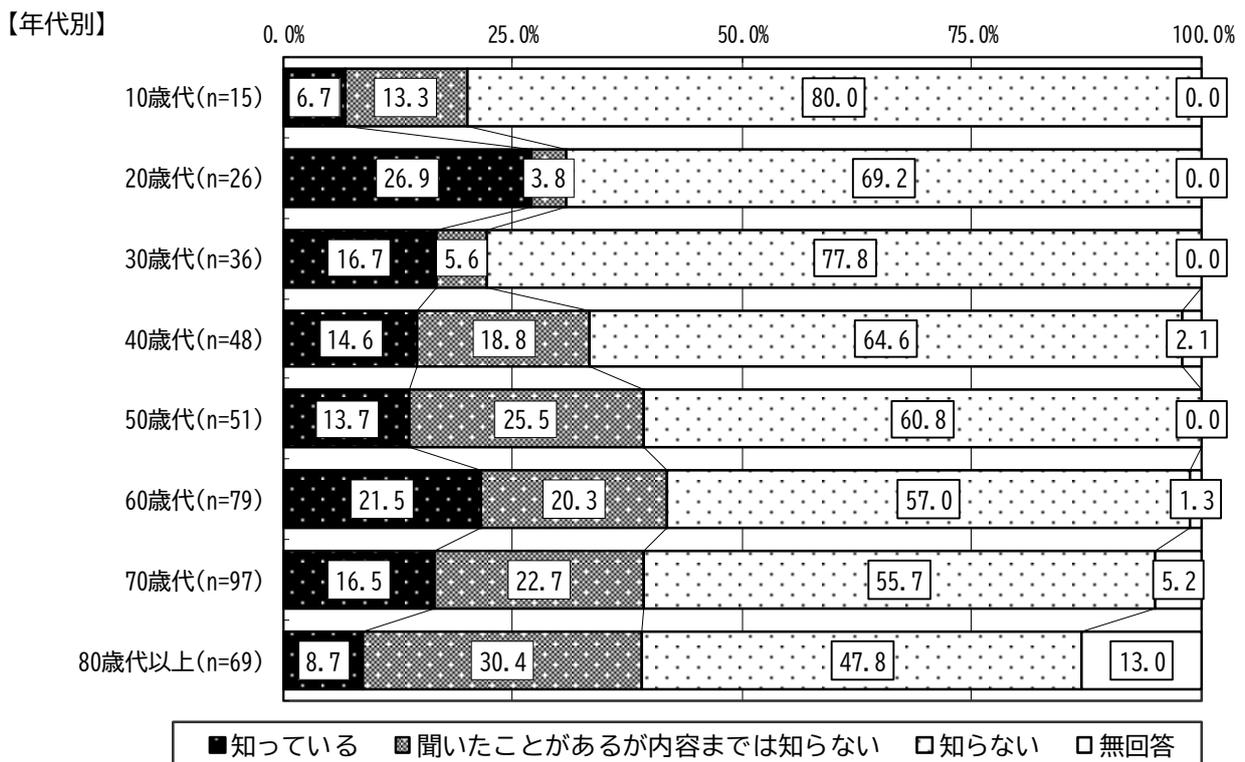
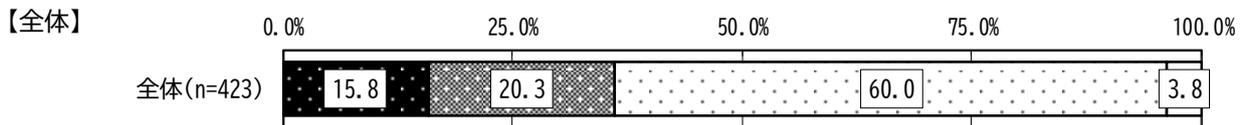
人権研修会の参加状況別では、「知っている」と答えた割合は、「ほぼ毎回参加している」人では 28.6%、「参加したことがない」人では 3.4%となっている。



問20 あなたは、住民票や戸籍簿等の情報が無断で代理人や第三者に不正取得されることを抑止することを目的に、事前に登録した方に交付した事実を通知する「事前登録型本人通知制度」が本市にもあることを知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

「知らない」が60.0%と最も多く、次いで「聞いたことがあるが内容までは知らない」が20.3%、「知っている」が15.8%となっている。

年代別では、どの年代も「知らない」が最も多くなっている。また、「知っている」は20歳代が26.9%と最も多く、次いで60歳代が21.5%と多くなっている。

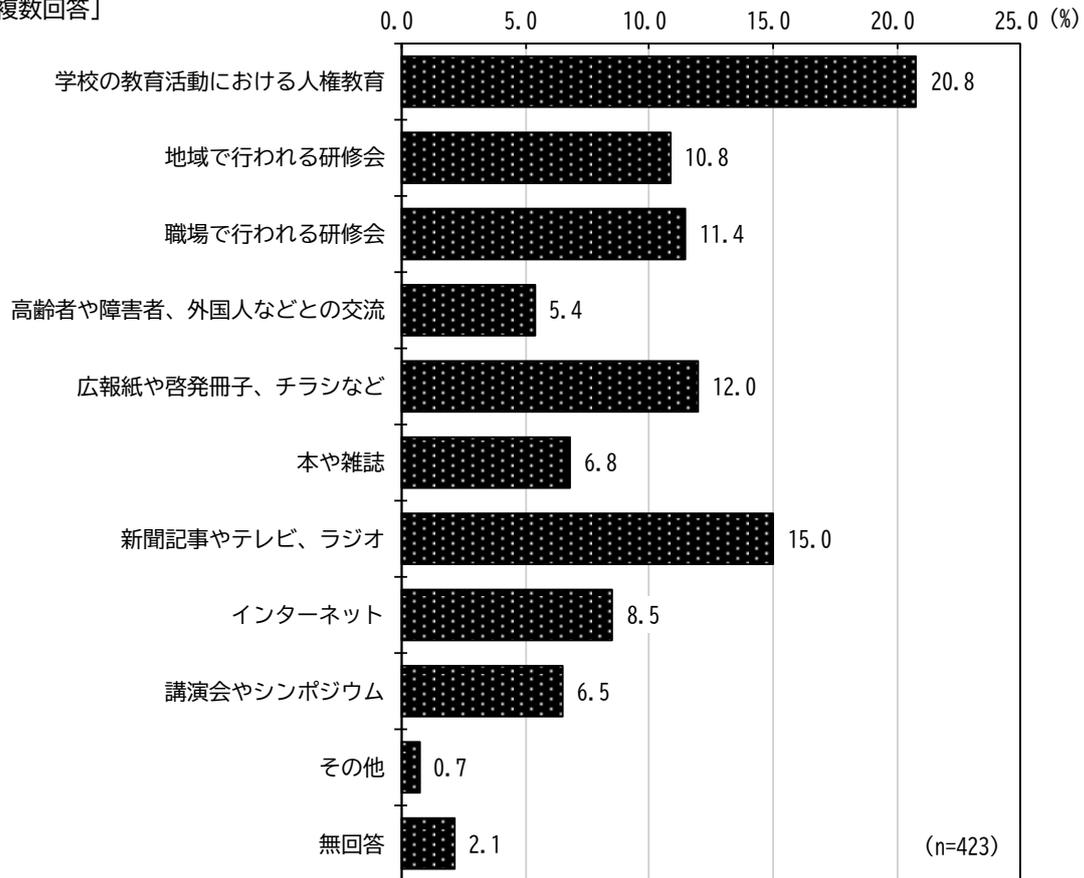


問21 あなたにとって、人権についての理解を深めるのに、次のうち何が役立ちましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「学校の教育活動における人権教育」が20.8%（205件）と最も多く、次いで「新聞記事やテレビ、ラジオ」が15.0%（148件）、「広報紙や啓発冊子、チラシなど」が12.0%（118件）と続いている。

【全体】

〔複数回答〕



回答数：987

年代別では、50歳代以下は「学校の教育活動における人権教育」が、60歳代、70歳代は「新聞記事やテレビ、ラジオ」、80歳代以上は「地域で行われる研修会」が最も多くなっている。

【年代別】

(): 回答数 ※太字は上位3つ（「その他」・「無回答」を除く）、下線は最上位

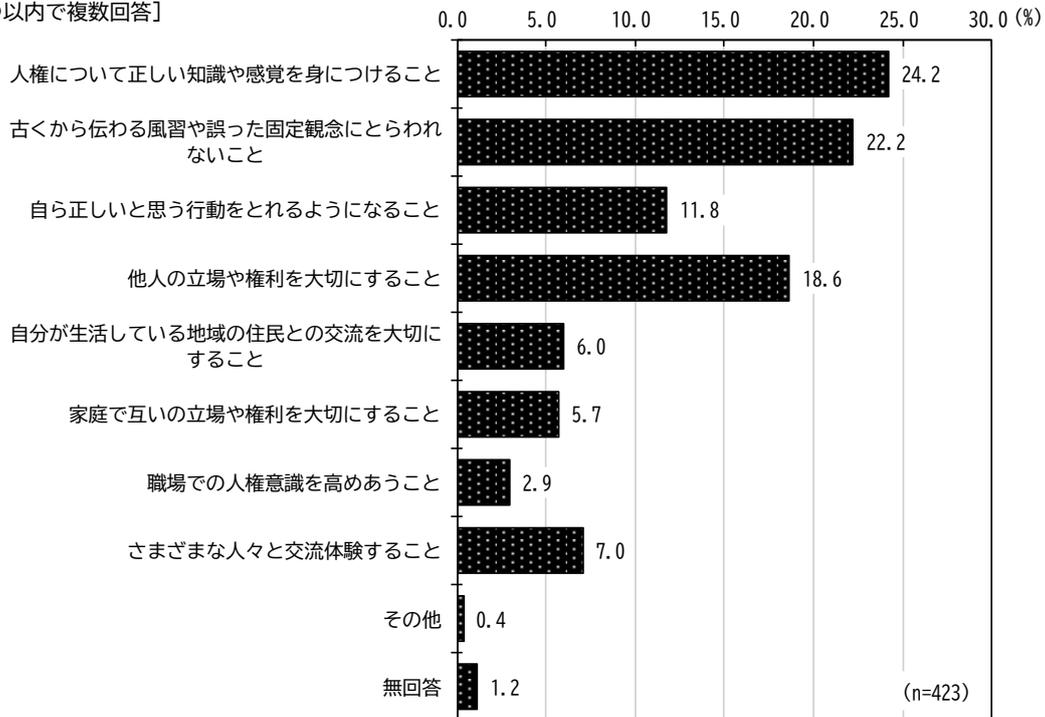
[複数回答]	全体 (987)	10歳代 (35)	20歳代 (56)	30歳代 (71)	40歳代 (108)	50歳代 (126)	60歳代 (196)	70歳代 (213)	80歳代 以上 (178)
学校の教育活動における人権教育	20.8	37.1	39.3	33.8	26.9	22.2	15.3	14.6	15.2
地域で行われる研修会	10.8	2.9	0.0	1.4	5.6	9.5	13.8	13.6	16.9
職場で行われる研修会	11.4	2.9	7.1	16.9	15.7	13.5	13.3	10.8	7.3
高齢者や障害者、外国人などとの交流	5.4	2.9	3.6	7.0	6.5	5.6	4.1	6.1	5.6
広報紙や啓発冊子、チラシなど	12.0	8.6	1.8	4.2	5.6	11.1	14.3	16.0	15.7
本や雑誌	6.8	8.6	8.9	8.5	8.3	6.3	4.1	7.5	6.7
新聞記事やテレビ、ラジオ	15.0	8.6	14.3	9.9	12.0	12.7	16.8	18.3	15.7
インターネット	8.5	20.0	17.9	14.1	12.0	14.3	8.7	2.3	2.2
講演会やシンポジウム	6.5	8.6	7.1	1.4	5.6	4.0	7.7	7.5	7.9
その他	0.7	0.0	0.0	2.8	0.9	0.0	0.0	0.9	1.1
無回答	2.1	0.0	0.0	0.0	0.9	0.8	2.0	2.3	5.6

問22 市民一人ひとりが人権を尊重しあうために、心がけたり行動したりすることとして、あなたはどのようなことが必要だと思えますか。特に必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

「人権について正しい知識や感覚を身につけること」が24.2% (271件) と最も多く、次いで「古くから伝わる風習や誤った固定観念にとらわれないこと」が22.2% (249件)、「他人の立場や権利を大切にすること」が18.6% (209件) と続いている。

【全体】

[3つ以内で複数回答]



回答数：1,121

年代別では、60歳代以下は「人権について正しい知識や感覚を身につけること」が、70歳代、80歳代は「古くから伝わる風習や誤った固定観念にとらわれないこと」が最も多くなっている。

【年代別】

(): 回答数 ※太字は上位3つ(「その他」・「無回答」を除く)、下線は最上位

[3つ以内で複数回答]	全体 (1,121)	10歳代 (42)	20歳代 (65)	30歳代 (91)	40歳代 (130)	50歳代 (134)	60歳代 (215)	70歳代 (263)	80歳代 以上 (178)
人権について正しい知識や感覚を身につけること	24.2	28.6	27.7	26.4	24.6	23.9	25.6	22.4	21.3
古くから伝わる風習や誤った固定観念にとらわれないこと	22.2	26.2	21.5	19.8	20.8	20.1	23.3	22.8	23.6
自ら正しいと思う行動をとれるようになること	11.8	16.7	12.3	9.9	10.0	14.9	11.2	13.3	8.4
他人の立場や権利を大切にすること	18.6	21.4	20.0	19.8	16.9	19.4	20.0	18.3	16.9
自分が生活している地域の住民との交流を大切にすること	6.0	0.0	1.5	2.2	6.2	0.7	6.0	8.4	11.2
家庭で互いの立場や権利を大切にすること	5.7	2.4	4.6	7.7	5.4	6.7	6.0	5.7	5.1
職場での人権意識を高めあうこと	2.9	2.4	3.1	6.6	4.6	3.0	3.3	1.5	1.7
さまざまな人々と交流体験すること	7.0	2.4	9.2	7.7	10.8	10.4	4.2	5.7	7.3
その他	0.4	0.0	0.0	0.0	0.8	0.7	0.0	0.4	0.6
無回答	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	1.5	3.9

Ⅲ. 自由回答記述について

人権・同和教育および啓発に関して、ご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

最後に、人権・同和教育問題についてご意見・ご要望を自由記述方式でたずねたところ、以下のとおりとなっている。

性別	年代	自由記述
男性	20歳代	自分が今まで部落差別の話了他のひとと講習会以外で互いにしたこともないので、若い人は特に気にしておらず、歳を取っている人ほどそういう考えを持っているのかもしれない。いずれ消えると思う。
男性	40歳代	特になし。
男性	60歳代	特にありません。
男性	60歳代	川崎市等、人権を大切にしている具体的な条例（ヘイト禁止、LGBT推進、部落差別禁止法etc）を設置している自治体を参考に守山市ならではの先進的な条例を考えていただきたい。
男性	60歳代	人は単純に暮し得る生活を複雑にしている。行政もそうだ。困難が起きると安易なものに逃避したがる。だが、それと真正面から取り組まなければ希望は生れない。生きている以上、不安や恐怖から免れることは不可能だから、迷信に共感を抱いているとしても、人生の災難的事態には、合理的・方法的制覇よりほか道はないのだろう。思い込みと無駄な煩悩が情熱を妨げているのでは？
男性	70歳代	男女共同参画に関する調査もそうだが設問が多く、2つの調査で1時間以上もかかった。高齢者にとっては大変であり、今後協力しない方が増えるのではないか。行政としては、あれもこれも聞きたい調査したいと思うが、協力する人の気持ちも考えるべき。もっと設問を精選し、核心的な設問のみにすべきである。
男性	70歳代	アンケートの質問項目の数や選択数が多すぎる。もっと手短かで集約された項目が良いのでは？（アンケートに応じる人の権利を考えないと…）10項目ぐらいが妥当！（時間がかかり過ぎる）
男性	70歳代	普段から問題にしない事他人の事は話題にしない会話を心掛ける事
男性	70歳代	同和教育問題と言うのは昔の話で、今の若い人にはわからないと思う。昔の知らない話をむしかえすようなことは言わない方が良いと思う。
男性	70歳代	「いじめ」防止に関する行政上のしくみづくり。
男性	80歳代以上	現役時代企業の人権同和教育窓口担当者を30年経験、定年後は行政の同和教育問題啓発講師で10年経験、当時とずいぶん変っていると思う。当時はいろんな問題を体験してきた。歴史に残るような体験をした。
男性	80歳代以上	同和教育は、永遠に続くのか。地域によっては全く知らない人（私もそうだった）がいることを良く考えて下さい。「全く知らない人」がなぜそうなったかを、良く考えてみましょう。知らなきゃ、それでなにもないのです。親が「そうしなさい」と入れ知恵をするのです。親が子供に無を話さなければ、何もありません。少なくとも部落問題は「問題」とならないでしょう。

男性	80歳代以上	同和問題は関東では殆んど目にしない表現で、関西では本来の目的から離れ、教員OBの利権事業的観があり、現代の生活ではインターネットの方が悪影響が強く、同和を知らない人に差別教育になっていないか？
男性	80歳代以上	普段から特に意識しないこと、又何故意意識するのか？スポーツ等、趣味等を通じ方向を一緒にすること。意識すれば必ず反映する。本調査等は意識の最たるものでは？
女性	40歳代	滋賀に来てから「人権」という言葉を目にするようになりました。差別を受けている地域があるのは教科書で学習しましたが、身近になく周囲との会話で「人権」が話題になった事はありません。「弱いものいじめ」「偏見」「差別」とわかりやすい言葉で表現してもらえた方が、子供から大人まで人を大事にする意識がめばえるのではないのでしょうか。
女性	40歳代	差別問題は他人事ではなく、自分自身の生き方の問題である。自分の中にある差別心と向き合い、いろいろな角度から物事を見て、傷つく人がいないかを常に考えながら発言したり行動したりできるように、これからも学んでいきたいです。だれもが生きやすい社会をつくるために、自分から学び変わっていきたく思います。
女性	50歳代	人権教育をしたところで学校のいじめがなくなるわけではない。あまり意味がない。ギスギスした社会でネットによる仲間意識が強くなってきている。人に会うこと、人と話をするのが少なくなり、色々なトラブルが発生してしまう。1人1人の心に余裕がなく、人を傷つけてしまうのではないかと思う。
女性	50歳代	同和を人権学習にわざわざpickupするのではなく、人権を正しく理解し学べば、全てを網羅できるのではと思ったりします。この特別視する感覚が、誤解や偏見を生むような気もします。同和地区の方々に対しても、逆に特別感を与えるような…、すみません、上手く表現できませんが。
女性	50歳代	人権を守ることはとても大切なことですが、その風潮に乗っかり、権利ばかり主張する厄介な人たちが増えているのも実態としてあり、非常にストレスを感じます。何ごともしすぎはいけないとつくづく思います。
女性	60歳代	自分にとって身近な問題ではない事には気付かない。
女性	60歳代	各人の意識と経験によって差別に対する考え方は変わってくると思うが、誰もが弱い部分を抱えた人間だと理解し、弱点とみなされていることを正しく理解し合い、お互いを守ろうと思う気持ちが大切だと感じる。”弱いものを守る”という意識は、万物にあてはまる美意識として実行されていくべきだと考える。
女性	70歳代	現在は逆差別になっている部分もある。優遇されておられるように思う。そんな境界線がなくなると差別もなくなる。
女性	70歳代	年を取り、一人生活であまりくわしい事はわかりません。申し訳ない事です。
女性	70歳代	学区制という物を無くせば、小中での「いじめ」問題は減少のするのでは。地域で親が口八丁手八丁の子はなぜか、重宝がられ仲間が多く、何をしても許されてしまう。もっと自由に子供が成長出来る（市）町になるのでは。
女性	70歳代	相手の立場を自身で確認し納得の上尊重し、思いやりをもって柔軟に対処していく事が大切だと思います。（慈しみの真心を持って）
女性	70歳代	子供の頃は平等でない？対当でない？場面を何度か目の前にしましたが、今は、あまりありません！！スルーできます。自分の好む事をして、楽しい日々を皆さんと笑顔で過ごしています。

女性	70 歳代	人権問題では特に最近、ネットでの誹謗中傷に依り尊い生命が失われる事は、正しく人権問題を見逃した行動に憤りを感じられずにはいられず対策を願わずにはいられません。同和問題では時間の都合つかず参加出来てませんが、私も含め固定観念にとらわれていた人が何度も何度も研修等で学び解消に進んでいるはずが、同和問題に携わってこられた方々の努力も虚しく、時代が進化する中、未だ間違った知識で差別問題が解消されずに根強く今なお、周知され、事例が有り知る度残念でなりません。
女性	80 歳代以上	本人は高齢者の為、このアンケートに答える力がありません...
女性	80 歳代以上	同和と云う言葉をあまり声高に云わない方がいいと思います。私の学校の同級生にもいますし、立派な人格の持主で親しい友人です。人は親や環境をえらんで生まれることは出来ませんから。
女性	80 歳代以上	世界中どこの国の人類でも人間としてこの世に生を受けた人は、皆平等で自由で自分らしく暮らせる平和な日々でありたいと希む気持ちです。
女性	80 歳代以上	人は家庭関係が色々違いますので、その人の立場を良く理解してあげる事、人の話は良く聞いてあげる事。
女性	80 歳代以上	同和で何も知らぬ事です同じ人間です。私も知らぬままに息子の結婚に反対しました。息子は同和教育を受けてきます息子はなぜ同和の人とは結婚出来ないのと、その時は私も、同じ人間でおかしいと答えましたが、問の13を選びました。息子も選んでくれました。申し解けませんでした事です。
男性	20 歳代	自分が今まで部落差別の話了他の人と講習会以外で互いにしたこともないので、若い人は特に気にしておらず、歳を取っている人ほどそういう考えを持っているのかもしれない。いずれ消えると思う。

IV. 考察

◇人権問題への取組み

多くの市民に、行政をはじめ自治会、企業、学校、あらゆる場で人権問題に関する正しい知識を学び、理解を深め、社会で実践することが大切である。また、今まで関心がない、学んだことがない人や差別と気づいていない人へのアプローチも必要と言える。

- | |
|--|
| 課題 ¹⁵⁾ ・人権教育ならびに啓発の推進（学校教育、学習会の実施、指導者の育成） <ul style="list-style-type: none">・社会全体の意識改革（多様な価値観を認めあい人権尊重の差別のないまちづくり）・情報発信と発信方法（広報紙や啓発冊子・チラシの配布、新聞・TV・ラジオ・SNS活用等）・学習機会の提供（参加しやすい学習会の企画・運営）・人権侵害の取組（行政サービスの充実、支援等） |
|--|

◇部落差別（同和問題）解決に向けた取組

結婚差別や差別発言といった部落差別は依然として存在する。今回調査で同和問題（部落差別問題）の関心度、認知度、理解度、判断力等を総合的に考察すると、こういった問題を解決するには、市民と行政が協働して取り組む必要がある。

そのためには、引き続き教育ならびに啓発の推進、一人一人が正しい知識を持って、自分にできることを考えてもらうこと大切である。自分だけは差別するのをやめようとする人が、一人でも増えれば、同和問題（部落差別問題）解決に向かうことができる。

- | |
|--|
| 課題 ¹⁵⁾ ・同和問題学習ならびに啓発の推進（学校教育、学習会の実施等） <ul style="list-style-type: none">・社会全体の意識改革（そっとしておけば自然消滅する？）・情報発信と発信方法（広報紙や啓発冊子・チラシの配布、新聞・TV・ラジオ・SNS活用等）・インターネットによる人権侵害の取組（誹謗中傷や個人の権利侵害への対策） |
|--|

人権・同和問題に関する 市民意識調査

調査ご協力をお願い

市民の皆さまには、日頃から市政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

守山市では、市民が互いに認め支えあい、誰もが平等に参加できる社会の実現を目指して、様々な取り組みを進めています。

このたび、「第4次守山市人権尊重のまちづくり総合推進計画」の2025年度から5年間の方向性を定め、「人権をおもんじ 信頼しあえるまち」を目指すため、市内にお住まいの18歳以上の方の中から2,000人を無作為に選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。調査票は無記名で、お答えは、すべて統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。また、この調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年(2024年)7月 守山市

ご回答にあたってのお願い

- この調査は無記名式です。ご記入いただいた内容はすべて統計的に処理いたしますので、個人が特定されること、他の目的に使用されることは一切ありません。
- 封筒のあて名の方、ご本人がお答えください。(代筆は可能です)
- 回答の方法については、①インターネットまたは②調査票に記入して返信用封筒で郵送のいずれかをお願いいたします。
 - スマートフォン、タブレット、パソコンからインターネットで回答する。
インターネットで回答いただくとQUOカード Pay※100円分プレゼント!
※スマートフォンで使えるデジタルギフト
…詳しくは次ページをご覧ください。
 - 調査票(紙)に回答を記入し、同封の封筒で郵送する。
(返信用封筒に、切手や差出人の記載は不要です)
…詳しくは次ページをご覧ください。
- 令和6年7月22日(月)までに回答いただきますようお願いいたします。**
※郵送は、**令和6年7月22日(月)まで(消印有効)**

【調査に関するお問い合わせ先】

守山市 総合政策部 人権政策課
〒524-8585 守山市吉身二丁目5番22号
電話：077-582-1116(直) FAX：077-582-0539
E-Mail jinkenseisaku@city.moriyama.lg.jp

【市民意識調査のご説明】

○この調査は無記名式です。ご回答いただいたことにより、個人のお名前やご住所、回答内容が特定されることはありません。

○ご回答いただいた内容は、調査目的以外に使用せず、調査終了後、守山市が責任をもって処分いたします。

スマートフォン、タブレット、パソコンからインターネットで回答する方

①右の QR コードを読み取りまたは以下の URL へアクセス
<回答用 URL>

<https://logoform.jp/form/hYti/580644>



②右の調査票 No (数字 6 桁) を回答の一番初めに入力 (必須) して、
回答してください。

※調査票 No は郵送との重複回答を防ぐために無作為にふられた
番号です。個人を特定する番号ではございません。

調査票 No.

③専用フォームから回答送信

インターネットによる回答をいただいた方には、**郵送経費相当(100円分)の QUO カード Pay** をお送りします。QUO カード Pay の受け取りには、スマートフォン等の **e-mail アドレスが必要**となります。

プレゼント進呈時期は、**9月上旬**を予定しています。

【周知事項】

※市民意識調査の回答内容と e-mail アドレスとは切り離しており、個人は特定されません。

※e-mail アドレスを万が一、間違えて入力されますと、QUO カード Pay の受け取りができなくなりますので、ご注意ください。

※スマートフォンで使えるデジタルギフト

詳細は、<https://www.quocard.com/pay/>



郵送 で回答する方

①本調査票 (紙) に回答を直接ご記入下さい。

②本調査票を同封の返信用封筒 (切手不要) に入れて、郵便ポストに投函願います。

○ご回答の期限

令和 6 年 **7 月 22 日 (月) まで (消印有効)**

人権・同和問題に関することについて

人権意識と教育啓発についておたずねします。

問1 あなたは、人権に関する次のような意見について、どう思いますか。(○はそれぞれ1つ)

	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない
① 今の社会では、個人の考え方や生き方が大切にされている	1	2	3
② 人権問題は一部の人の問題ではなく、すべての市民の問題である	1	2	3
③ 自分の権利を主張して、他人の迷惑を考えない人が増えている	1	2	3

問2 あなたは、人権問題として次の項目に関心がありますか。(○はそれぞれ1つ)

	関心がある	どちらでもない	関心がない
① 女性にかかわる問題(※1)	1	2	3
② 子どもにかかわる問題(※2)	1	2	3
③ 高齢者にかかわる問題(※3)	1	2	3
④ 障害者にかかわる問題(※4)	1	2	3
⑤ 同和問題(部落差別問題)(※5)	1	2	3
⑥ 外国人、外国籍市民にかかわる問題(※6)	1	2	3
⑦ 感染症患者にかかわる問題(※7)	1	2	3
⑧ インターネットによる人権侵害にかかわる問題(※8)	1	2	3
⑨ LGBTQ(性的マイノリティ)にかかわる問題(※9)	1	2	3
⑩ 刑を終えた出所者等にかかわる問題(※10)	1	2	3
⑪ 犯罪被害者等にかかわる問題(※11)	1	2	3
⑫ 震災等の災害に起因する人権にかかわる問題(※12)	1	2	3
⑬ ハラスメントにかかわる問題(パワーハラスメント、セクシュアルハラスメント)(※13)	1	2	3

その他の問題があれば具体的に記入してください。

()

※1：女性にかかわる問題…夫から妻へのドメスティック・バイオレンス(DV)、男性から女性への性的嫌がらせ、賃金格差など女性であることを理由として受ける人権上の不利益のこと。

※2：子どもにかかわる問題…いじめ、体罰、児童虐待、児童ポルノの横行などのこと。
この調査の「子ども」とは18歳未満の者全てを指す。

- ※ 3：高齢者にかかわる問題…高齢者虐待、介護放棄、高齢者を狙った悪徳商法などのこと。
- ※ 4：障害者にかかわる問題…虐待、誤った偏見、物理的な障壁のみならず障害のある人の社会参加を制約しうる制度・慣行・観念その他一切のこと。
- ※ 5：同和問題(部落差別問題)…インターネット上での差別的な書き込み、戸籍不正取得、身元調査など。
- ※ 6：外国人、外国籍市民にかかわる問題…賃金格差、アパートなどへの入居拒否、誤った偏見など。
- ※ 7：感染症患者にかかわる問題…診察拒否、採用拒否、誤った偏見など。
- ※ 8：インターネットによる人権侵害にかかわる問題…他人への誹謗中傷、差別的な書き込み、個人のプライバシーの侵害など。
- ※ 9：LGBTQ（性的マイノリティ）にかかわる問題…レズビアン（女性の同性愛者）、ゲイ（男性の同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー（生まれたときの法的・社会的性別とは違う性別で生きる人、生きたいと思う人）、クエスチョニング（自分の性別や性的指向を探している状態の人）のこと。それぞれの頭文字をとってLGBTQという。
- ※ 10：刑を終えた出所者等にかかわる問題…地域社会からの拒否的な感情による社会復帰が厳しい状況にあること。
- ※ 11：犯罪被害者等にかかわる問題…生命、身体、財産上の直接的な被害に加え、精神的ショックや失業・転職などの経済的困窮、裁判・証人出廷などの精神的・時間的負担、無責任なうわさやプライバシー侵害にもつながる執拗な取材・報道など。
- ※ 12：震災等の災害に起因する人権にかかわる問題…災害発生時において、不確かな情報により他人を不当に取り扱ったり、偏見・差別やSNS・インターネット等による風評被害等を助長するような情報を発信したりすること。
- ※ 13：ハラスメントにかかわる問題…相手に対して言葉や行動などでいやがらせを行うこと。
 パワーハラスメント…社会的な地位の高いものによる、自らの権力や立場を利用した嫌がらせのこと。
 セクシュアルハラスメント…相手の意に反する性的言動により、相手方に不快感や苦痛を与える行為。

問 3 人権についての研修会への参加についておたずねします。

あなたは、この3年以内で市役所、自治会等で行われる講演会や研修会（市人権・同和教育研究大会、自治会人権学習会、地域総合センター人権講座等）に参加したことはありますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 ほぼ毎回参加している → 問3-2へお進みください
- 2 参加したことがある → 問3-2へお進みください
- 3 参加したことがない

問 3-1 【問3で、「3 参加したことがない」に○をつけた方のみお答えください。】

その理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 研修会の開催を知らなかった 2 内容に興味や関心が持てなかった
- 3 仕事や家事などで、時間の都合がつかなかった
- 4 人権問題のことはわかっているので、参加の必要を感じない
- 5 その他（具体的に： _____)

問6 障害者に関する事柄で、あなたが人権尊重の観点から問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

- 1 就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける
- 2 賃貸住宅への入居が難しい・断られる
- 3 障害者が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり・住宅づくりが進んでいない
- 4 障害者の意思が尊重されない
- 5 家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする
- 6 病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける
- 7 障害があることを理由に、周囲から結婚を反対される
- 8 店や施設の利用、タクシーの乗車などサービスの提供を拒否される
- 9 じろじろ見られたり、避けられたりする
- 10 障害があることを理由に、差別的な言動を受ける
- 11 スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できない
- 12 特に感じない
- 13 その他（具体的に： _____)

問7 外国人・外国籍市民に関する事柄で、あなたが人権尊重の観点から問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

- 1 就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける
- 2 賃貸住宅への入居が難しい・断られる
- 3 国籍を理由に、周囲から結婚を反対される
- 4 店や施設の利用、タクシーの乗車などサービスの提供を拒否される
- 5 じろじろ見られたり、避けられたりする
- 6 本名を名乗ることで差別や不利益を受けることがあるため、やむなく通称名を使う人が多い
- 7 言葉や習慣、文化が違うために、地域社会に受け入れられにくい
- 8 公共施設などで外国語の案内表示や情報提供が十分でない
- 9 外国人の子どもが日本語の内容を理解しにくいことにより、学校教育を十分に受けられない
- 10 外国人であることを理由に差別的な言動（いわゆる「ヘイトスピーチ」）を受けている
- 11 特に感じない
- 12 その他（具体的に： _____)

問8 感染症患者に関する事柄で、あなたが人権尊重の観点から問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

- 1 就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける
- 2 感染症患者であることを理由に差別的な言動を受ける
- 3 病院での治療や入院を断られる
- 4 病気を理由に、周囲から結婚を反対される
- 5 本人の了解を得ず、感染したことを第三者に言いふらす
- 6 宿泊や施設の利用を断られる
- 7 特に感じない
- 8 その他（具体的に： _____)

問9 インターネット（「SNS」含む）に関する事柄で、あなたが人権尊重の観点から問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

- 1 根拠のない悪口で、他人の名誉を傷つける表現を掲載する
- 2 差別を助長する表現を掲載する
- 3 捜査の対象になっている未成年者の実名や顔写真を掲載する
- 4 インターネットを利用したいじめが発生している
- 5 ネット上にわいせつな画像や残虐な画像などの有害情報を掲載する
- 6 個人情報の不正な取り扱い（横流しや流出等）が発生している
- 7 特に感じない
- 8 その他（具体的に： _____)

問10 あなたは、LGBTQ（性的マイノリティ）ということばを知っていますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 言葉も意味も知っている
- 2 聞いたことはあるが、意味は知らない
- 3 聞いたことがないし、意味も知らない → 問11へお進みください

問10-1 【問10で、「1 言葉も意味も知っている」または「2 聞いたことはあるが、意味は知らない」に○をつけた方のみお答えください。】

LGBTQ（性的マイノリティ）に関する事柄で、人権尊重の観点から問題があると思うのはどのようなことですか。あなたが特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

- 1 就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける
- 2 LGBTQであることを理由に差別的な言動を受ける
- 3 社会的理解が低く、LGBTQが好奇や偏見の目で見られる
- 4 トイレ、更衣室など、男女の別が少なく、バリアフリーとなっていない
- 5 法律やパートナーシップ制度等が不十分であったり、整備されていなかったりする
- 6 本人の了解を得ず、その人の性的指向や性自認を第三者に明らかにする行為（アウトティング）が行われる
- 7 特に感じない
- 8 その他（具体的に： _____)

問10-2 【問10-1を回答いただいた方のみお答えください。】

LGBTQ（性的マイノリティ）などの人が住みやすい社会にするためには、あなたが特に必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

- 1 人権意識が高まるような教育
- 2 多様な価値観を認めあう意識づくり
- 3 多様な価値観が活かされる社会環境づくり
- 4 理解を深める啓発や情報発信
- 5 当事者などに対する相談・支援の充実
- 6 特に感じない
- 7 その他（ _____)

問14 あなたは、次の話を読んで、Aさん、Bさんそれぞれの発言についてどう思いましたか。
(○はそれぞれ1つ)

ふだん仲のよい近所の人たちが数人、なごやかに立ち話をしていました。そんな時、Aさんが「昨日、うちの子どもが遊びに連れてきた子、とてもいい子でね。住んでいるところを聞くと、同和地区なの。とてもあの地区の子とは思えなかったわ。」と言いました。するとBさんが「でも、あの地区には、遊びに行かせないほうが、いいわよ。なにかトラブルがあったら、たいへんよ。」と言い、ほかの人も「ほんとにねえ。」とあいづちをうっていました。

	そう思う	そう思わない	わからない
① Aさんの発言は差別である	1	2	3
② Bさんの発言は差別である	1	2	3

- ③ あなたがもし、その場にいたとすると、どういう態度をとると思いますか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。
- 1 発言の間違っている点を、その場で指摘するだろう
 - 2 その場の雰囲気をごわさないために、あとでそれとなく注意するだろう
 - 3 おかしいと思うが、注意すると気まずくなるので、黙っているだろう
 - 4 「そんなものかなあ」と思って、黙っているだろう
 - 5 Bさんに同意して、あいづちをうつだろう
 - 6 わからない
 - 7 その他（具体的に： _____)

- 問15 同和問題(部落差別問題)の解決に向けて、あなたの考えにもっとも近いもの1つに○をつけてください。
- 1 私にできることからやっていきたい
 - 2 自分は何もできないので行政や学校にお任せしたい
 - 3 何も触れずにそっとしておいたほうが自然と無くなってしまふ。取り立てて問題にすることで広がってしまう
 - 4 もう誰も差別していない
 - 5 その他（具体的に： _____)

人権侵害の経験についておたずねします。

- 問16 この3年以内に、あなたご自身が人権侵害を受けたことはありますか。
- 1 ある
 - 2 ない → 問17へお進みください

問16-1 【問16で、「1 ある」に○をつけた方のみお答えください。】

あなたが受けた人権侵害はどのような場面ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 家庭で | 2 地域社会や公共の場で |
| 3 学校で | 4 職場で |
| 5 行政の手続きや行政の対応で | 6 福祉・医療サービスで |
| 7 インターネット上で | 8 その他（具体的に) |

問16-2 【問16で、「1 ある」に○をつけた方のみお答えください。】

あなたが受けた人権侵害はどのような内容ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------------|----------------|
| 1 あらぬうわさ、悪口で傷つけられた | 2 暴力や虐待を受けた |
| 3 不平等や不利益な取り扱いを受けた | 4 差別的な扱いを受けた |
| 5 仲間はずれ、いじめ、嫌がらせを受けた | 6 プライバシーを侵害された |
| 7 パワーハラスメントやセクシュアルハラスメントなどハラスメントを受けた | |
| 8 その他（具体的に : |) |

問16-3 【問16で、「1 ある」に○をつけた方のみお答えください。】

あなたは、人権侵害を受けたときどのような態度をとりましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------------|-----------------------|-------------------|
| 1 相手に抗議した | 2 身近な人に相談した | |
| 3 市役所（市の人権相談等）に相談した | 4 所属する会社や学校の相談室等に相談した | |
| 5 弁護士に相談した | 6 警察に相談した | 7 法務局、人権擁護委員に相談した |
| 8 黙ってがまんした | 9 その他（具体的に : |) |

問17 この3年以内に、あなたご自身が他人の人権を侵害したと思っことはありますか。

- | |
|--------------------|
| 1 ある |
| 2 ない → 問18へお進みください |

問17-1 【問17で、「1 ある」に○をつけた方のみお答えください。】

あなたは、どのような人権侵害をしたと思われますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---|------------------------|
| 1 女性に関すること | 2 子どもに関すること |
| 3 高齢者に関すること | 4 障害者に関すること |
| 5 同和問題（部落差別問題）に関すること | 6 外国人、外国籍市民に関すること |
| 7 感染症患者に関すること | 8 インターネットによる人権侵害に関すること |
| 9 LGBTQに関すること | 10 刑を終えた出所者等に関すること |
| 11 犯罪被害者等に関すること | 12 震災等の災害に起因すること |
| 13 パワーハラスメントやセクシュアルハラスメントなどハラスメントに関すること | |
| 14 その他（具体的に : |) |

人権を守るために大切なことについておたずねします。

問18 あなたはご自身のことを、どう思いますか。(○はそれぞれ1つ)

	そう思う	どちらか と言うと そう思う	どちらか と言うと そう思わ ない	そう思わ ない
① 自分には、よいところがあると思う	1	2	3	4
② 自分は、周りの人に役立っていると思う	1	2	3	4
③ 自分には、信頼できる人が周りにたくさん いると思う	1	2	3	4

問19 私たちの人権を守る取り組みが進められています。あなたは、①～⑦までの人権にかかわる法律等についてご存知ですか。(○はそれぞれ1つ)

	内容(意味) を知っている	聞いたことはあるが内容 までは知らない	知らない
① 同和对策審議会答申(この答申で、部落差別の解消は「国民的な課題であり」、「国の責務である」と明記された。)	1	2	3
② 障害者差別解消法(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)	1	2	3
③ ヘイトスピーチ解消法(本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律)	1	2	3
④ 部落差別解消推進法(部落差別の解消の推進に関する法律)	1	2	3
⑤ LGBT理解増進法(性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律)	1	2	3
⑥ 守山市人権尊重のまちづくり条例	1	2	3
⑦ 第4次守山市人権尊重のまちづくり総合推進計画	1	2	3

問20 あなたは、住民票や戸籍簿等の情報が無断で代理人や第三者に不正取得されることを抑止することを目的に、事前に登録した方に交付した事実を通知する「事前登録型本人通知制度」が本市にもあることを知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 知っている 2 聞いたことがあるが内容までは知らない
3 知らない

問 21 あなたにとって、人権についての理解を深めるのに、次のうち何が役立ちましたか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 学校の教育活動における人権教育 | 2 地域で行われる研修会 |
| 3 職場で行われる研修会 | 4 高齢者や障害者、外国人などとの交流 |
| 5 広報紙や啓発冊子、チラシなど | 6 本や雑誌 |
| 7 新聞記事やテレビ、ラジオ | 8 インターネット |
| 9 講演会やシンポジウム | |
| 10 その他（具体的に | ） |

問22 市民一人ひとりが人権を尊重しあうために、心がけたり行動したりすることとして、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。特に必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

- 1 人権について正しい知識や感覚を身につけること
- 2 古くから伝わる風習や誤った固定観念にとらわれないこと
- 3 自ら正しいと思う行動をとれるようになること
- 4 他人の立場や権利を大切にすること
- 5 自分が生活している地域の住民との交流を大切にすること
- 6 家庭で互いの立場や権利を大切にすること
- 7 職場での人権意識を高めあうこと
- 8 さまざまな人々と交流体験すること
- 9 その他（具体的に：

人権・同和教育および啓発に関して、ご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

— ご協力ありがとうございました —

守山市人権・同和問題に関する市民意識調査
報告書

令和 年（ 年） 月

守山市総合政策部人権政策課

〒524 - 8585滋賀県守山市吉身二丁目5番22号

TEL : (077) 582 - 1116 FAX : (077) 582 - 0539
